

「DPC データを用いた心疾患における医療の質に関する事業」 報告書

(2023 年度 JROAD_DPC)

ご挨拶

我が国における診療行為の実態を可視化することにより医療の質の向上を目指すことを目的として、2014 年度より DPC（診断群分類包括評価）データを用いた心疾患における医療の質に関する事業（JROAD_DPC）を開始しております。各施設の循環器医療に関する DPC 情報を収集することにより診断名、重症度、処方、処置、治療、退院時予後などの患者個人レベルの情報を収集する事業であり、JROAD に登録している循環器専門研修施設・研修関連施設のうち約 70%の施設にご参加いただいております。2023 年度は、860 施設において 1,542,727 例を収集し、2014 年度からの収集データ合計：14,379,891 例のデータベースを構築することができました。

2015 年度より学会員の先生方に対し、①JROAD（施設情報）、②JROAD-DPC で収集したデータの研究利用の公募を開始しており、採択論文数：83 本、国内外の学会発表など多くの研究成果が発表されております。また、データの可視化という観点から、診療状況を把握できるよう、参加施設へ QI 指標の報告をおこなう予定としております。

今後とも、引き続き本事業へのご協力および格別のご高配を賜りましたら幸いです。

2024 年 6 月 12 日

一般社団法人日本循環器学会 循環器疾患診療実態調査

日本循環器学会代表理事 平田 健一

IT/Database 部会 部会長 的場 聖明

循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

一般社団法人 日本循環器学会組織

代表理事 平田 健一 神戸大学大学院医学研究科

<IT データベース部会>

循環器疾患診療実態調査組織

IT/Database 部会 部会長 的場 聖明 京都府立医科大学大学院医学研究科

委員	石原 正治	兵庫医科大学循環器科・腎透析内科学講座
委員	香坂 俊	慶應義塾大学医学部
委員	片村 真紀	医療法人弘英会琵琶湖大橋病院
委員	中山 雅晴	東北大学大学院医学系研究科
委員	西 真宏	京都府立医科大学病院循環器内科
委員	野出 孝一	佐賀大学医学部内科学講座
委員	坂東 泰子	名古屋大学医学部附属病院
委員	平尾 木綿	京都府立医科大学附属病院
委員	福田 恵一	慶應義塾大学医学部
委員	的場 哲哉	九州大学病院
委員	宮本 恵宏	国立循環器病研究センターオープンイノベーションセンター (OIC)

(50 音順)

循環器疾患診療実態調査事務局 (JROAD 事務局)： 国立循環器病研究センター内

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6 番 1 号

TEL：06-6170-1070 (内線：40315)

E-mail：j-circdb@ml.ncvc.go.jp

事務局 岩永 善高 国立循環器病研究センター

事務局 金岡 幸嗣朗 国立循環器病研究センター

事務局 住田 陽子 国立循環器病研究センター

事務局 薄元 志帆 国立循環器病研究センター

事務局： 一般社団法人日本循環器学会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-13 内神田中央ビル 6 階

TEL: 03-6775-9113

E-mail：ITdatabase@j-circ.or.jp

目次

1. 背景	4
2. 目的	4
3. 方法	4
3.1. 対象施設	4
3.2. 調査期間	4
3.3. 収集症例	4
3.4 対象患者の抽出	5
3.5. DPC データの収集方法	5
3.6. データの分析方法	5
4. 結果を見る上での注意点	13
5. 変更点	14
6. JROAD-DPC フィードバックデータ・グラフ	14
6.1 症例数	14
6.2 重症度別分類	28
6.3 心不全患者の特徴/急性心筋梗塞発症時期	29
6.4 治療別件数	58
6.5 処方割合	63

「DPC データを用いた心疾患における医療の質に関する事業」

(JROAD-DPC)報告書

【報告書の転載・利用等について】

- ※1 学術目的の場合には、ホームページ上の出典を明らかにしてご利用下さい。
- ※2 学術目的以外の場合には、使用目的・使用用途を明らかにして
下記問い合わせ先メールにて許諾申請を必ず行って下さい。
- ※3 出典を明らかにしない転載引用は、これを禁じます。

※ この調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

(宛先・問い合わせ)

(一社)日本循環器学会事務局

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-13 内神田中央ビル 6 階

E-mail: ITdatabase@j-circ.or.jp

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

1. 背景

2004 年より循環器科、心臓血管外科を標榜する施設を対象として実施する循環器疾患診療実態調査（以下 JROAD）参加施設を対象として、DPC（Diagnosis Procedure Combination：診断群分類）対象施設で循環器疾患診療の中核病院の ACS（Acute Coronary Syndrome）、心不全患者、心房細動患者、先天性心疾患患者など循環器疾患を中心に、入院から退院までの一貫したデータベースを構築する。

データベース構築にあたり、病名、医療行為内容、DPC 様式 1 に含まれる短期予後、入院時 NYHA（New York Heart Association）分類、Killip 分類（Killip's classification）などの重症度評価情報を外来、入院の DPC 情報を用いることで、参加施設に対して調査の負担なく精度の高い全国的な診療データベースの構築が可能である。

2. 目的

DPC の情報をもとに、循環器疾患についての包括的データベースを構築する。JROAD において検討している情報（施設情報として急性心筋梗塞患者数、心不全患者数、急性心不全患者数、慢性心不全患者数、急性心筋梗塞院内死亡数、急性大動脈解離患者数、急性大動脈解離院内死亡数、緊急 PCI 件数、待機的 PCI 件数、ステント（BMS・DES）件数、急性心筋梗塞に対する緊急 PCI 件数、PTA 件数、PTAV 件数、TAVI 件数、補助循環器治療の IABP 件数、PCPS 件数、LVAD 件数、不整脈治療の PM 植込み術件数、ICD 植込み術件数、CRT・CRT-D 件数、カテーテルアブレーション件数、心臓・大血管手術の on-pump CABG、off-pump CABG、弁置換術件数、弁形成術件数、胸部大動脈手術件数、大動脈ステントグラフト件数など）について、DPC 病名、EF ファイルによる診療行為、薬剤投与情報などにより、記述的統計情報を抽出し、各施設よりの報告も合わせて検討する。

3. 方法

3.1. 対象施設

当研究では、第一段階として、日本循環器学会が実施する JROAD 調査結果より DPC 対象施設：1,254 施設を抽出する。第二段階として上記調査の対象施設の中から、DPC 情報提供に関する参加意向を募り、DPC 情報の提供に同意した施設：860 施設よりデータを収集した。

3.2. 調査期間

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の期間に入院治療、退院した症例

3.3. 収集症例

1,542,727 例（男性：944,789 例 女性：597,938 例）

3.4. 対象患者の抽出

上記施設、調査期間内の症例でかつ下記の①、②の基準の内少なくとも一つ以上に該当する患者データとする。

- ① DPC 様式1上の、主傷病名、入院の契機となった傷病名、最も医療資源を投入した傷病名のいずれかに「循環器疾患コードに関連する病名」の少なくとも一つを含む。
- ② 上記に関連した手技・診療行為

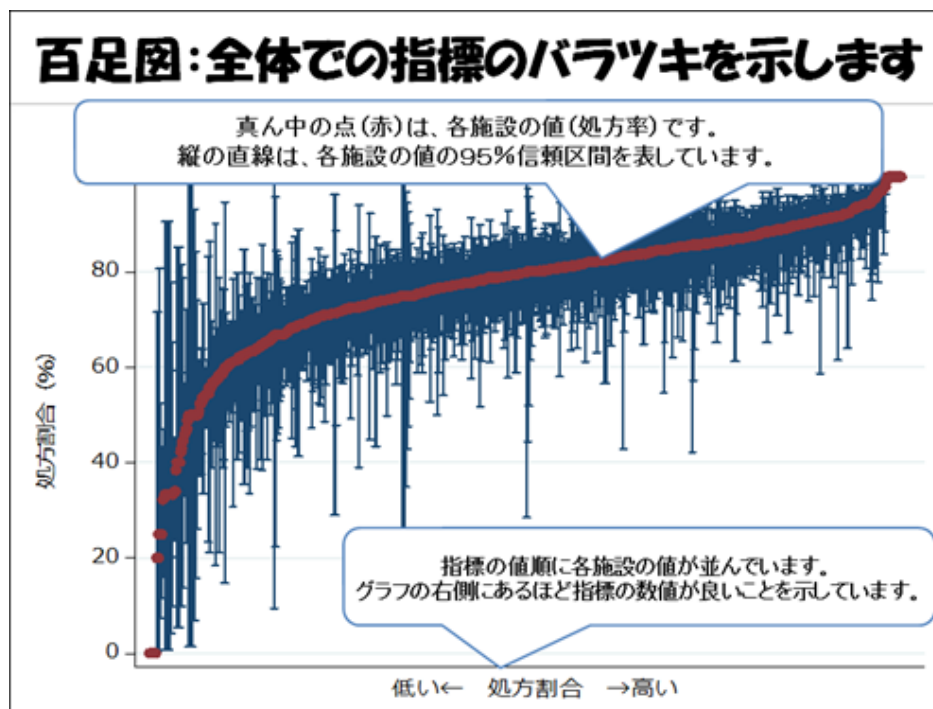
3.5. DPC データの収集方法

各施設で匿名化した DPC 調査形式データより上記基準による対象に DPC データ収集ツールを利用し、提供データを作成し、作成されたデータは、オンライン又は CD-R、MO などの媒体にて JROAD 事務局宛へ提供する。

3.6. データの分析方法

各数値の算出方法を表1に示す。治療実施率は、入院から処方され、退院時に処方せず、次回外来にて対応する症例を考慮し、入退院で計算している。治療実施率に関しては、他施設との位置関係を示す百足図、および全体平均値との比較を示すファンネルプロットの二種類のグラフに変更した。グラフの読み方を、図1に示す。百足図では右側に行くほど診療実績が良いことを示すようにしており、同じ値の場合は症例数が多い施設がより値の誤差が少ないと考え右側に来るようにしている。ファンネルプロットでは、全体平均とその信頼区間が示されており、信頼区間の外側にある施設は全体平均値から外れていることを示す。

図1. グラフの見方



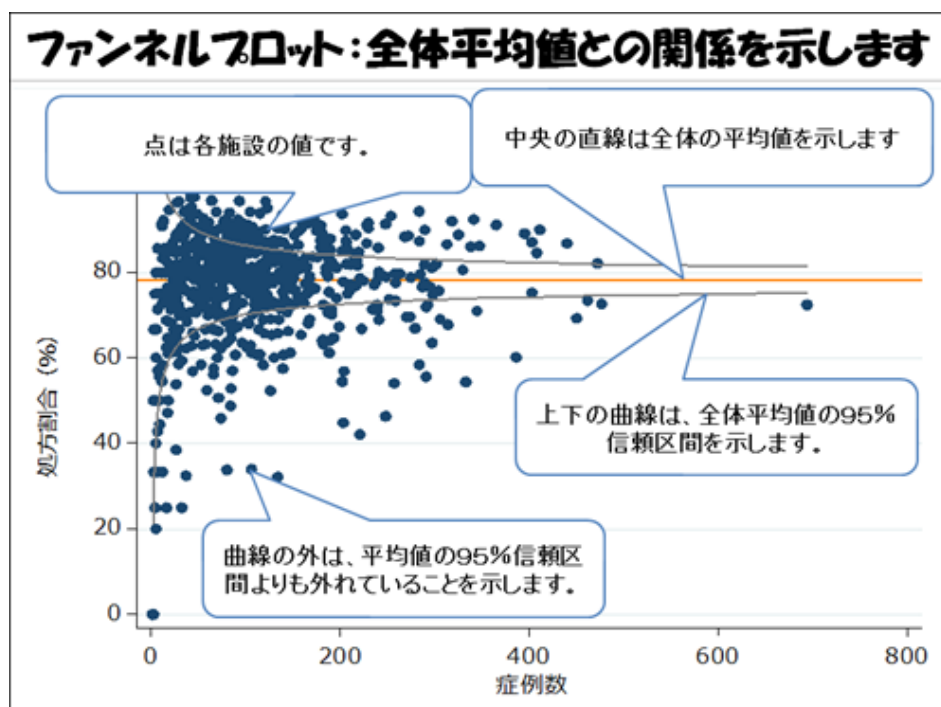


表 1. データの算出方法

全施設 DPC データ分析プロトコール

項目	項目 No.	分母	分子
疾患別症例数	狭心症	症例数 1	割合でないため省略
	不安定狭心症 (ICD コード)	症例数 2_1	割合でないため省略
	不安定狭心症 (DX コード)	症例数 2_2	割合でないため省略
	急性心筋梗塞	症例数 3	割合でないため省略
	心房細動及び粗動	症例数 4	割合でないため省略
	心房細動	症例数 5	割合でないため省略

算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I20\$ に該当
層別要因：
病床区分（99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上）
年齢区分、男女別（-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-）

算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I20.0 に該当
層別要因：
病床区分（99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上）
年齢区分、男女別（-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-）

算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの傷病名コードが、不安定狭心症 4139026 に該当
層別要因：
病床区分（99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上）
年齢区分、男女別（-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-）

算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I21\$ に該当
層別要因：
病床区分（99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上）
年齢区分、男女別（-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-）

算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I48 に該当
層別要因：
病床区分（99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上）
年齢区分、男女別（-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-）

算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの傷病名コードが、心房細動 4273006

循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

		め省略	頻拍型心房細動 4273011 慢性心房細動 4273014 徐脈性心房細動 8844493 家族性心房細動 8846503 孤立性心房細動 8846608 持続性心房細動 8846694 非弁膜症性心房細動 8846906 弁膜症性心房細動 8846941 発作性心房細動 8846942 永続性心房細動 8847735 術後心房細動 8847772 非弁膜症性発作性心房細動 8847814 頻脈性心房細動 8847815 発作性頻脈性心房細動 8847818 に該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
心筋症	症例数 6	割合で ないため 省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I42\$に 該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
心不全	症例数 7	割合で ないため 省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I50\$に 該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
急性心不全	症例数 8	割合で ないため 省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I50\$に 該当し、病名付加コード 30101、30102 に該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
大動脈解離	症例数 9	割合で ないため 省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I71.0 に 該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
急性大動脈解離	症例数 10	割合で ないため 省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの傷病名コードが、 急性大動脈解離 4411007 急性大動脈解離 D e B a k e y I 842477 急性大動脈解離 D e B a k e y I I 8842478 急性大動脈解離 D e B a k e y I I I a 8842479、 急性大動脈解離 D e B a k e y I I I b 8842480 急性大動脈解離 S t a n f o r d A 8842481 急性大動脈解離 S t a n f o r d B 8842482 に該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
急性大動脈解離 (StanfordA)	症例数 11	割合で ないため 省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの傷病名コードが、 急性大動脈解離 D e B a k e y I 842477 急性大動脈解離 D e B a k e y I I 8842478 急性大動脈解離 S t a n f o r d A 8842481 に該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
急性大動脈解離 (StanfordB)	症例数 12	割合で ないため 省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの傷病名コードが、 急性大動脈解離 D e B a k e y I I I a 8842479

循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

			め省略	急性大動脈解離DeBakey I 8842480 急性大動脈解離Stanford B 8842482 に該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
	大動脈破裂	症 例 数 13	割 合 で ないた め省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが I71.1,I71.3, I71.5,I71.8 に該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
	心停止	症 例 数 14	割 合 で ないた め省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I46\$に 該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
	肺塞栓症	症 例 数 15	割 合 で ないた め省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I26.0,I26.9 に該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
	原発性肺高血 圧	症 例 数 16	割 合 で ないた め省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I27.0 に 該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
	ファロー四徴 症	症 例 数 17	割 合 で ないた め省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、Q21.3 に 該当 層別要因： 病床区分 (99 以下,100-199,200-299,300-449,450-749,750 以上) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)
	COVID19 合併 症	症 例 数 18	割 合 で ないた め省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名、医療資源 2 番目に投入した病名の いずれかの傷病名コードが、8833876： コロナウイルス感染症 (B342) ま たは 8850104： COVID19 (U071) に該当 月別入院症例数
	COVID19	症 例 数 19	割 合 で ないた め省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名、医療資源 2 番目に投入した病名、入 院時併存所 (1-10)、入院後合併症 (1-10) のいずれかの傷病名コードが、 8833876： コロナウイルス感染症(B342) または 8850104： COVID19(U071) に該当 層別要因： 記述統計 (男女別患者数、死亡数、人工呼吸器導入数、PCPS・IABP 挿入数、 平均年齢、平均在院日数) 年齢区分、男女別 (-29,30-39,40-49,50-59,60-69,70-79,80-89,90-)

項目	項目 No.	分母	分子
重症 度別 症例	狭心症 症例数 1	割 合 で ないた め省略	算入：最大資源病名の ICD コードが、I20\$に該当 層別要因： 様式 1：入院時 CCS 分類による重症度分類 (CCS1,CCS2,CCS3,CCS4,分類不能, 症状なし)

循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

数	不安定狭心症	症例数 2_1	割合でないため省略	算入：最大資源病名の ICD コードが、I20.0 に該当 層別要因： 様式 1：入院時 CCS 分類による重症度分類 (CCS1,CCS2,CCS3,CCS4,分類不能,症状なし)
	不安定狭心症	症例数 2_2	割合でないため省略	算入：最大資源病名の傷病名コードいずれかが、不安定狭心症 4139026 に該当 層別要因： 様式 1：入院時 CCS 分類による重症度分類 (CCS1,CCS2,CCS3,CCS4,分類不能,症状なし)
	急性心筋梗塞	症例数 3	割合でないため省略	算入：最大資源病名の ICD10 コードが、I21\$,I22\$,I24\$に該当 層別要因： 様式 1：入院時 Killip 分類による重症度分類 (Killip1,Killip2,Killip3,Killip4,分類不能)
	心不全	症例数 4	割合でないため省略	算入：最大資源病名の ICD10 コードが、I50\$に該当 層別要因： 様式 1：入院時 NYHA 分類による重症度分類 (NYHA1,NYHA2,NYHA3,NYHA4,分類不能)

項目	項目 No.	分母	分子
急性心不全患者	収縮期 血圧	割合でないため省略	算入：最大資源病名の ICD コードが、I50\$に該当し、病名付加コードが 30101 (急性心不全)、30102 (慢性心不全の急性増悪) の場合 収縮期血圧 1：100mmHg 未満 2：100mmHg 以上、140mmHg 以下 3：140mmHg 超
急性心筋梗塞の発症時期※	発症 時期	割合でないため省略	算入：最大資源病名の ICD コードが、I21\$, I22\$, I24\$に該当 1：急性 (1 週間未満) 2：亜急性 (1 週間以上 4 週間未満) 3：慢性 (4 週間以上) 4：無症候性 (発症日なし)
心不全患者の入院時左室駆出率※	左 室 駆 出 率	割合でないため省略	算入：最大資源病名の ICD コードが、I50\$に該当 0：分類不能、不明 1：LVEF40%未満 (HFrEF) 2：LVEF40%以上、50%未満 (HFmrEF) 3：LVEF50%以上 (HFpEF)

項目	項目 No.	分母	分子
手術種類別件数	手術数 1	割合でないため省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I20\$に該当 AND 次のいずれかの手術を実施 (手術ごとにカウント) ・ K546\$+ K547+ K548\$+ K549\$+ K550\$ 経皮的冠動脈インターベンション ・ K546\$ 経皮的冠動脈形成術 ・ K549\$ 経皮的冠動脈ステント留置術 ・ K552\$ 冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺使用) ・ K552-2\$ 冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺不使用)

循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

急性心筋梗塞	手術数 2	割合でないため省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I21\$該当 AND 次のいずれかの手術を実施（手術ごとにカウント） ・ K546\$+ K547+ K548\$+ K549\$+K550\$, K5461・K5491 経皮的冠動脈インターベンション、経皮的冠動脈形成・ステント留置術（急性心筋梗塞 door to balloon90 分以内） ・ K546\$, K5461 経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈形成置術 ・ K549\$, K5491 経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的冠動脈形成術 ・ K552\$ 冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺使用） ・ K552-2\$ 冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺不使用）
心房細動および粗動	手術数 3	割合でないため省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I48 に該当 AND 次のいずれかの手術を実施（手術ごとにカウント） ・ K5951 経皮的カテーテル心筋焼灼術（心房中隔穿刺、心外膜アプローチ） ・ K5952 経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）
心房細動	手術数 4	割合でないため省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの傷病名コードが、心房細動 4273006 頻拍型心房細動 4273011 慢性心房細動 4273014 徐脈性心房細動 8844493 家族性心房細動 8846503 孤立性心房細動 8846608 持続性心房細動 8846694 非弁膜症性心房細動 8846906 弁膜症性心房細動 8846941 発作性心房細動 8846942 永続性心房細動 8847735 術後心房細動 8847772 非弁膜症性発作性心房細動 8847814 頻脈性心房細動 8847815 発作性頻脈性心房細動 8847818 に該当 AND 次のいずれかの手術を実施（手術ごとにカウント） ・ K5951 経皮的カテーテル心筋焼灼術（心房中隔穿刺、心外膜アプローチ） ・ K5952 経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）
心不全	手術数 5	割合でないため省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの ICD コードが、I50\$に該当 AND 次のいずれかの手術を実施（手術ごとにカウント） ・ K598 両心室ペースメーカー移植術 ・ K598 両心室ペースメーカー交換術 ・ K599-3 両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術 ・ K599-4 両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術
急性大動脈解離	手術数 6	割合でないため省略	算入：入院契機、主病名、最大資源病名のいずれかの傷病名コードが、急性大動脈解離 4411007 急性大動脈解離 DeBakey I 842477 急性大動脈解離 DeBakey II 8842478 急性大動脈解離 DeBakey IIIa 8842479 急性大動脈解離 DeBakey IIIb 8842480 急性大動脈解離 Stanford A 8842481 急性大動脈解離 Stanford B 8842482 に該当 AND 次のいずれかの手術を実施（手術ごとにカウント） ・ 大動脈瘤切除術（K5601a、K5601b、K5601c、K5601d、K5602、K5603a、K5603b、K5603c、K5603d、K5604、K5605、K5606、K5607） ・ オープン型ステントグラフト内挿術（K56021、K560-22a、K560-22b、K560-22c、K560-22d、K560_23） ・ ステントグラフト内挿術（K5611、K5612、K5613）

循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

項目		項目 No.	分母	分子
入院中又は退院時処方および心臓リハビリ施行割合	ACS/AMI に対する入院中または退院時にアスピリンを処方した割合	退院時 処方 1	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I21\$, I22\$, I24\$ (050030 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞)、I200 (不安定狭心症) のいずれかに該当 AND ・退院日に使用回数>1 (処方日数に相当) の内服薬 (データ区分=21) の処方がある患者 ・入院期間中に使用回数>1 (処方日数に相当) の内服薬 (データ区分=21) の処方がある患者 除外 (OR 条件)： ・退院時転帰=6 (最も医療資源を投入した傷病による死亡) - OR 退院時転帰=7 (最も医療資源を投入した傷病以外による死亡) ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中または退院時にアスピリンを処方された患者
	ACS/AMI に対する入院中または退院時に ACE 阻害薬、ARB を処方した割合	退院時 処方 2	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I21\$, I22\$, I24\$ (050030 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞)、I200 (不安定狭心症) のいずれかに該当 AND ・退院日に使用回数>1 (処方日数に相当) の内服薬 (データ区分=21) の処方がある患者 ・入院期間中に使用回数>1 (処方日数に相当) の内服薬 (データ区分=21) の処方がある患者 除外 (OR 条件)： ・退院時転帰=6 (最も医療資源を投入した傷病による死亡) - OR 退院時転帰=7 (最も医療資源を投入した傷病以外による死亡) ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中または退院時に ACE 阻害薬、ARB を処方された患者
	ACS/AMI に対する入院中または退院時にスタチンを処方した割合	退院時 処方 3	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I21\$, I22\$, I24\$ (050030 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞)、I200 (不安定狭心症) のいずれかに該当 AND ・退院日に使用回数>1 (処方日数に相当) の内服薬 (データ区分=21) の処方がある患者 ・入院期間中に使用回数>1 (処方日数に相当) の内服薬 (データ区分=21) の処方がある患者 除外 (OR 条件)： ・退院時転帰=6 (最も医療資源を投入した傷病による死亡) - OR 退院時転帰=7 (最も医療資源を投入した傷病以外による死亡) ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中または退院時にスタチンを処方された患者
	ACS/AMI に対する入院中または退院時に P2Y12 阻害薬を処方した割合※	退院時 処方 4	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I21\$, I22\$, I24\$ (050030 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞)、I200 (不安定狭心症) のいずれかに該当 AND ・退院日に使用回数>1 (処方日数に相当) の内服薬 (データ区分=21) の処方がある患者 ・入院期間中に使用回数>1 (処方日数に相当) の内服薬 (データ区分=21) の処方がある患者 除外 (OR 条件)： ・退院時転帰=6 (最も医療資源を投入した傷病による死亡) - OR 退院時転帰=7 (最も医療資源を投入した傷病以外による死亡) ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中または退院時に P2Y12 阻害薬を処方された患者

循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

	ACS/AMI に対する入院中 心臓リハビリ テーション施 行割合※	施行割 合 5	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I21\$、I22\$、I24\$（050030 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞）、I200（不安定狭心症）のいずれかに該当 AND ・入院期間中に実施回数＞1 の施行がある患者 除外（OR 条件）： ・退院時転帰=6（最も医療資源を投入した傷病による死亡） OR 退院時転帰=7（最も医療資源を投入した傷病以外による死亡） ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中に心臓リハビリ テーションを施行した患者
入院中又は退院時処方および心臓リハビリ施行割合	心不全に対する入院中または退院時に ACE 阻害薬、ARB、ARNI を処方した割合※	退院時 処方 6	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I50\$（050130 心不全）に該当 AND ・退院日に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分=21）の処方がある患者 ・入院期間中に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分=21）の処方がある患者 除外（OR 条件）： ・退院時転帰=6（最も医療資源を投入した傷病による死亡） OR 退院時転帰=7（最も医療資源を投入した傷病以外による死亡） ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中または退院時に ACE 阻害薬または ARB、ARNI を処方された患者
	心不全に対する入院中または退院時に β 遮断薬を処方した割合	退院時 処方 7	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I50\$（050130 心不全）に該当 AND ・退院日に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分=21）の処方がある患者 ・入院期間中に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分=21）の処方がある患者 除外（OR 条件）： ・退院時転帰=6（最も医療資源を投入した傷病による死亡） OR 退院時転帰=7（最も医療資源を投入した傷病以外による死亡） ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中または退院時に β 遮断薬を処方された患者
	心不全に対する入院中または退院時に MRA を処方した割合※	退院時 処方 8	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I50\$（050130 心不全）に該当 AND ・退院日に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分=21）の処方がある患者 ・入院期間中に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分=21）の処方がある患者 除外（OR 条件）： ・退院時転帰=6（最も医療資源を投入した傷病による死亡） OR 退院時転帰=7（最も医療資源を投入した傷病以外による死亡） ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中または退院時に MRA を処方された患者
	心不全に対する入院中または退院時に SGLT2 を処方した割合※	退院時 処方 9	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I50\$（050130 心不全）に該当 AND ・退院日に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分=21）の処方がある患者 ・入院期間中に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分=21）の処方がある患者 除外（OR 条件）： ・退院時転帰=6（最も医療資源を投入した傷病による死亡） OR 退院時転帰=7（最も医療資源を投入した傷病以外による死亡） ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中または退院時に SGLT2 を処方された患者

	心不全に対する入院中心臓リハビリテーション施行割合※	退院時 処方 10	算入： ・最大資源病名の ICD10 が、I50\$（050130 心不全）に該当 AND ・退院日に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分＝21）の処方がある患者 ・入院期間中に使用回数＞1（処方日数に相当）の内服薬（データ区分＝21）の処方がある患者 除外（OR 条件）： ・退院時転帰＝6（最も医療資源を投入した傷病による死亡） - OR 退院時転帰＝7（最も医療資源を投入した傷病以外による死亡） ・入院日が 2022 年 4 月 1 日より前	算入：入院中に心臓リハビリテーションを施行した患者
--	----------------------------	--------------	--	---------------------------

4. 結果を見る上での注意点

今回の結果を解釈する上で、特に DPC データの特性による限界には注意が必要である。

4.1 他院での診療行為がカバーされていない。

今回のデータは各施設から個別に収集されており、同一施設で行われた診療行為が電子化・コード化されており、別の施設での診療情報は全く含まれていない。例えば入院前に内服加療が行われていた症例に関して、持参薬でアスピリンなどの今回の分析に関する薬剤がある場合にはこれらの情報は反映されていない。これが処方割合に対してどの程度影響されるのかは不明であるが、治療患者の多くが紹介で来院する病院では、見かけ上の処方割合は低く出る。そのため、データの施設間比較はあくまで参考であることに注意する必要がある。

4.2 標準を実施しなかった理由など、臨床的判断の過程が不明である。

標準診療は臨床における科学的エビデンスに基づく専門家の合意により多くの患者に有効であるとして診療方針の原則となっているものであるが、実際の患者によっては併存症や生理的機能の低下のため投薬を避けた方が良い場合や、標準診療を患者が望まない場合などもあり得る。データに含まれている診療行為はこのような臨床判断の結果でしかなく、その過程はそこからは必ずしも明らかではない場合がある。これはコード化された電子データの限界であり、その解決のためには前述の他院診療も含めて診療録から検討する以外にない。

4.3 診療行為コード体系に診療実態把握に必要な臨床情報が不足していることがある。

今回利用した DPC 調査のデータは診療報酬請求のコードで行われた、病名、診療行為を表している。コードの目的が請求であるため臨床的に必要な情報がとらえきれないことがある。DPC 調査のデータ自体は直接報酬に関係しないが、データが必ずしも診療行為を全てとらえていない可能性についても注意しなければならない。

4.4 データにエラーが存在している可能性がある。

DPC データは、標準化された診療情報データであり、データの活用と共にその精度も向上してきている。しかし、算定・請求漏れ、コーディングエラーの可能性は依然存在するため、標準診療が未実施とカウントされた患者の中には、実際は標準診療が実施されたもののデータ上に上がってこない場合もあることに注意しておく必要がある。今後もデータの活用が続けば、より精度は向上してくると思われる。

以上の限界のため、今回の方法による診療実態の把握は完全な方法ではない。参加いただいた施設は、自施設の結果を WEB ページにて確認していただくことが可能となっており、今回の結果は自施設のデータの正確性および診療実態を把握するきっかけとしていただき、継続的な診療の改善に活用していただければと考える。

5. 変更点

- ・急性心筋梗塞発症時期の頻度
- ・心不全患者の入院時左室駆出率の頻度
- ・ACS/AMI の入院中・退院時処方（P2Y12 阻害薬）
- ・ACS/AMI の入院中心臓リハビリ施行割合
- ・心不全患者の入院中・退院時処方（ACE/ARB に ARNI を追加、MRA、SGLT2）
- ・心不全患者の入院中心臓リハビリ施行割合

を追加（※）

6. JROAD-DPC フィードバックデータ・グラフ

6.1 症例数

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
狭心症	症例数 1	全体	全施設平均症例数	210.4
			全施設合計症例数	180,967
		病床区分別	症例数_99 床以下	3,334
			症例数_100~199 床	16,110
			症例数_200~299 床	16,330
			症例数_300~449 床	55,907
			症例数_450~749 床	69,674
			症例数_750 床以上	19,612
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	145
			症例数_30~39 歳	712
			症例数_40~49 歳	5,182
			症例数_50~59 歳	16,983
			症例数_60~69 歳	30,536
			症例数_70~79 歳	52,308
			症例数_80~89 歳	25,702
			症例数_90 歳以上	1,507
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	68
			症例数_30~39 歳	208
			症例数_40~49 歳	1,125
			症例数_50~59 歳	3,295

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

			症例数_60~69 歳	7,291
			症例数_70~79 歳	19,288
			症例数_80~89 歳	15,013
			症例数_90 歳以上	1,604

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
不安定狭心症（ICD コード）	症例数 2_1	全体	全施設平均症例数	37.48
			全施設合計症例数	32,235
		病床区分別	症例数_99 床以下	560
			症例数_100~199 床	2,175
			症例数_200~299 床	3,051
			症例数_300~449 床	9,789
			症例数_450~749 床	12,646
			症例数_750 床以上	4,014
		年齢区分別 （男性）	症例数_29 歳以下	8
			症例数_30~39 歳	149
			症例数_40~49 歳	1,179
			症例数_50~59 歳	3,384
			症例数_60~69 歳	5,238
			症例数_70~79 歳	8,372
			症例数_80~89 歳	4,725
			症例数_90 歳以上	483
		年齢区分別 （女性）	症例数_29 歳以下	5
			症例数_30~39 歳	21
			症例数_40~49 歳	229
			症例数_50~59 歳	594
			症例数_60~69 歳	1,233
			症例数_70~79 歳	3,119
			症例数_80~89 歳	2,951
			症例数_90 歳以上	545

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
不安定狭心症（DX コード）	症例数 2_2	全体	全施設平均症例数	35.33
			全施設合計症例数	30,380
		病床区分別	症例数_99 床以下	541
			症例数_100~199 床	2,089
			症例数_200~299 床	2,878
			症例数_300~449 床	9,386

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

			症例数_450~749 床	12,031
			症例数_750 床以上	3,455
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	8
			症例数_30~39 歳	142
			症例数_40~49 歳	1,142
			症例数_50~59 歳	3,214
			症例数_60~69 歳	4,920
			症例数_70~79 歳	7,815
			症例数_80~89 歳	4,447
			症例数_90 歳以上	474
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	5
			症例数_30~39 歳	20
			症例数_40~49 歳	220
			症例数_50~59 歳	558
			症例数_60~69 歳	1,179
			症例数_70~79 歳	2,917
			症例数_80~89 歳	2,803
			症例数_90 歳以上	534

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
急性心筋梗塞	症例数 3	全体	全施設平均症例数	67.53
			全施設合計症例数	58,080
		病床区分別	症例数_99 床以下	662
			症例数_100~199 床	2,758
			症例数_200~299 床	5,075
			症例数_300~449 床	17,682
			症例数_450~749 床	23,937
			症例数_750 床以上	7,966
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	60
			症例数_30~39 歳	377
			症例数_40~49 歳	2,851
			症例数_50~59 歳	7,047
			症例数_60~69 歳	9,123
			症例数_70~79 歳	13,059
			症例数_80~89 歳	8,262
			症例数_90 歳以上	1,429
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	15
			症例数_30~39 歳	64

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

			症例数_40~49 歳	373
			症例数_50~59 歳	859
			症例数_60~69 歳	1,689
			症例数_70~79 歳	4,662
			症例数_80~89 歳	5,757
			症例数_90 歳以上	2,453

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
心房細動及び粗動	症例数 4	全体	全施設平均症例数	105.3
			全施設合計症例数	90,546
		病床区分別	症例数_99 床以下	1,070
			症例数_100~199 床	6,013
			症例数_200~299 床	5,502
			症例数_300~449 床	20,878
			症例数_450~749 床	39,370
			症例数_750 床以上	17,713
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	234
			症例数_30~39 歳	723
			症例数_40~49 歳	3,041
			症例数_50~59 歳	8,789
			症例数_60~69 歳	16,108
			症例数_70~79 歳	21,861
			症例数_80~89 歳	8,041
			症例数_90 歳以上	845
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	61
			症例数_30~39 歳	132
			症例数_40~49 歳	559
			症例数_50~59 歳	1,968
			症例数_60~69 歳	5,225
			症例数_70~79 歳	13,164
			症例数_80~89 歳	7,960
			症例数_90 歳以上	1,835

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
心房細動	症例数 5	全体	全施設平均症例数	99.97
			全施設合計症例数	85,974
		病床区分別	症例数_99 床以下	1,028
			症例数_100~199 床	5,765

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

			症例数_200~299 床	5,189
			症例数_300~449 床	19,777
			症例数_450~749 床	37,436
			症例数_750 床以上	16,779
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	179
			症例数_30~39 歳	670
			症例数_40~49 歳	2,900
			症例数_50~59 歳	8,441
			症例数_60~69 歳	15,336
			症例数_70~79 歳	20,481
			症例数_80~89 歳	7,341
			症例数_90 歳以上	784
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	37
			症例数_30~39 歳	104
			症例数_40~49 歳	510
			症例数_50~59 歳	1,879
			症例数_60~69 歳	5,075
			症例数_70~79 歳	12,826
			症例数_80~89 歳	7,642
			症例数_90 歳以上	1,769

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
心筋症	症例数 6	全体	全施設平均症例数	9.19
			全施設合計症例数	7,906
		病床区分別	症例数_99 床以下	73
			症例数_100~199 床	313
			症例数_200~299 床	400
			症例数_300~449 床	1,494
			症例数_450~749 床	3,062
			症例数_750 床以上	2,564
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	384
			症例数_30~39 歳	326
			症例数_40~49 歳	692
			症例数_50~59 歳	993
			症例数_60~69 歳	995
			症例数_70~79 歳	995
			症例数_80~89 歳	423
			症例数_90 歳以上	52

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	289
			症例数_30~39 歳	140
			症例数_40~49 歳	249
			症例数_50~59 歳	390
			症例数_60~69 歳	476
			症例数_70~79 歳	839
			症例数_80~89 歳	549
			症例数_90 歳以上	114

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
心不全	症例数 7	全体	全施設平均症例数	203.0
			全施設合計症例数	174,588
		病床区分別	症例数_99 床以下	1,962
			症例数_100~199 床	13,370
			症例数_200~299 床	18,287
			症例数_300~449 床	57,876
			症例数_450~749 床	63,495
			症例数_750 床以上	19,598
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	415
			症例数_30~39 歳	780
			症例数_40~49 歳	2,568
			症例数_50~59 歳	6,112
			症例数_60~69 歳	10,638
			症例数_70~79 歳	25,031
			症例数_80~89 歳	35,155
			症例数_90 歳以上	13,020
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	259
			症例数_30~39 歳	312
			症例数_40~49 歳	879
			症例数_50~59 歳	1,757
			症例数_60~69 歳	3,407
			症例数_70~79 歳	13,407
			症例数_80~89 歳	34,321
			症例数_90 歳以上	26,186

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
急性心不全	症例数 8	全体	全施設平均症例数	136.40
			全施設合計症例数	117,314

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

		病床区分別	症例数_99床以下	1,356
			症例数_100~199床	8,707
			症例数_200~299床	12,751
			症例数_300~449床	40,187
			症例数_450~749床	42,651
			症例数_750床以上	11,662
		年齢区分別 (男性)	症例数_29歳以下	209
			症例数_30~39歳	475
			症例数_40~49歳	1,609
			症例数_50~59歳	3,819
			症例数_60~69歳	6,699
			症例数_70~79歳	16,177
			症例数_80~89歳	23,763
			症例数_90歳以上	9,257
		年齢区分別 (女性)	症例数_29歳以下	110
			症例数_30~39歳	173
			症例数_40~49歳	533
			症例数_50~59歳	1,088
			症例数_60~69歳	2,238
			症例数_70~79歳	8,615
			症例数_80~89歳	23,677
			症例数_90歳以上	18,872

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
大動脈解離	症例数 9	全体	全施設平均症例数	24.27
			全施設合計症例数	20,876
		病床区分別	症例数_99床以下	230
			症例数_100~199床	756
			症例数_200~299床	1,302
			症例数_300~449床	5,599
			症例数_450~749床	9,312
			症例数_750床以上	3,675
		年齢区分別 (男性)	症例数_29歳以下	25
			症例数_30~39歳	184
			症例数_40~49歳	954
			症例数_50~59歳	2,189
			症例数_60~69歳	2,521
			症例数_70~79歳	3,470

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

			症例数_80~89 歳	2,051
			症例数_90 歳以上	417
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	20
			症例数_30~39 歳	43
			症例数_40~49 歳	168
			症例数_50~59 歳	551
			症例数_60~69 歳	1,218
			症例数_70~79 歳	2,998
			症例数_80~89 歳	3,057
			症例数_90 歳以上	1,000

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
急性大動脈解離	症例数 10	全体	全施設平均症例数	19.20
			全施設合計症例数	16,509
		病床区分別	症例数_99 床以下	183
			症例数_100~199 床	633
			症例数_200~299 床	983
			症例数_300~449 床	4,429
			症例数_450~749 床	7,482
			症例数_750 床以上	2,799
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	15
			症例数_30~39 歳	145
			症例数_40~49 歳	734
			症例数_50~59 歳	1,635
			症例数_60~69 歳	1,905
			症例数_70~79 歳	2,546
			症例数_80~89 歳	1,636
			症例数_90 歳以上	364
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	11
			症例数_30~39 歳	28
			症例数_40~49 歳	123
			症例数_50~59 歳	426
			症例数_60~69 歳	968
			症例数_70~79 歳	2,468
			症例数_80~89 歳	2,623
			症例数_90 歳以上	882

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
急性大動脈解離 (Stanford A)	症例数 11	全体	全施設平均症例数	9.13
			全施設合計症例数	7,850
		病床区分別	症例数_99 床以下	102
			症例数_100~199 床	225
			症例数_200~299 床	437
			症例数_300~449 床	2,046
			症例数_450~749 床	3,543
			症例数_750 床以上	1,397
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	5
			症例数_30~39 歳	81
			症例数_40~49 歳	381
			症例数_50~59 歳	827
			症例数_60~69 歳	743
			症例数_70~79 歳	887
			症例数_80~89 歳	501
			症例数_90 歳以上	119
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	2
			症例数_30~39 歳	11
			症例数_40~49 歳	60
			症例数_50~59 歳	196
			症例数_60~69 歳	561
			症例数_70~79 歳	1,502
			症例数_80~89 歳	1,484
			症例数_90 歳以上	484

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
急性大動脈解離 (Stanford B)	症例数 12	全体	全施設平均症例数	7.12
			全施設合計症例数	6,124
		病床区分別	症例数_99 床以下	68
			症例数_100~199 床	206
			症例数_200~299 床	408
			症例数_300~449 床	1,764
			症例数_450~749 床	2,713
			症例数_750 床以上	965
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	8
			症例数_30~39 歳	51
			症例数_40~49 歳	275

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

			症例数_50~59 歳	637
			症例数_60~69 歳	900
			症例数_70~79 歳	1,290
			症例数_80~89 歳	842
			症例数_90 歳以上	147
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	6
			症例数_30~39 歳	14
			症例数_40~49 歳	46
			症例数_50~59 歳	174
			症例数_60~69 歳	286
			症例数_70~79 歳	605
			症例数_80~89 歳	663
			症例数_90 歳以上	180

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
大動脈破裂	症例数 13	全体	全施設平均症例数	4.28
			全施設合計症例数	3,678
		病床区分別	症例数_99 床以下	29
			症例数_100~199 床	146
			症例数_200~299 床	200
			症例数_300~449 床	941
			症例数_450~749 床	1,806
			症例数_750 床以上	556
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	3
			症例数_30~39 歳	7
			症例数_40~49 歳	30
			症例数_50~59 歳	101
			症例数_60~69 歳	313
			症例数_70~79 歳	859
			症例数_80~89 歳	911
			症例数_90 歳以上	255
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	0
			症例数_30~39 歳	1
			症例数_40~49 歳	7
			症例数_50~59 歳	17
			症例数_60~69 歳	50
			症例数_70~79 歳	283
			症例数_80~89 歳	513

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

			症例数_90 歳以上	328
--	--	--	------------	-----

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
心停止	症例数 14	全体	全施設平均症例数	59.97
			全施設合計症例数	51,577
		病床区分別	症例数_99 床以下	21
			症例数_100~199 床	1428
			症例数_200~299 床	2478
			症例数_300~449 床	11,605
			症例数_450~749 床	24,544
			症例数_750 床以上	11,501
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	912
			症例数_30~39 歳	580
			症例数_40~49 歳	1,411
			症例数_50~59 歳	2,788
			症例数_60~69 歳	3,892
			症例数_70~79 歳	8,010
			症例数_80~89 歳	9,314
			症例数_90 歳以上	3,099
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	556
			症例数_30~39 歳	356
			症例数_40~49 歳	662
			症例数_50~59 歳	1,192
			症例数_60~69 歳	1,561
			症例数_70~79 歳	4,314
			症例数_80~89 歳	7,673
			症例数_90 歳以上	5,244

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
肺塞栓	症例数 15	全体	全施設平均症例数	10.71
			全施設合計症例数	9,214
		病床区分別	症例数_99 床以下	37
			症例数_100~199 床	424
			症例数_200~299 床	803
			症例数_300~449 床	2,640
			症例数_450~749 床	3,840
			症例数_750 床以上	1,470

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	77
			症例数_30~39 歳	135
			症例数_40~49 歳	278
			症例数_50~59 歳	619
			症例数_60~69 歳	891
			症例数_70~79 歳	1,205
			症例数_80~89 歳	691
			症例数_90 歳以上	153
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	124
			症例数_30~39 歳	165
			症例数_40~49 歳	337
			症例数_50~59 歳	414
			症例数_60~69 歳	688
			症例数_70~79 歳	1,459
			症例数_80~89 歳	1,497
			症例数_90 歳以上	481

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
原発性肺高血 圧症	症例数 16	全体	全施設平均症例数	6.70
			全施設合計症例数	5,764
		病床区分別	症例数_99 床以下	17
			症例数_100~199 床	104
			症例数_200~299 床	317
			症例数_300~449 床	965
			症例数_450~749 床	2,358
			症例数_750 床以上	2,003
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	393
			症例数_30~39 歳	107
			症例数_40~49 歳	135
			症例数_50~59 歳	187
			症例数_60~69 歳	329
			症例数_70~79 歳	686
			症例数_80~89 歳	330
			症例数_90 歳以上	35
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	480
			症例数_30~39 歳	325
			症例数_40~49 歳	388
			症例数_50~59 歳	413

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

			症例数_60~69 歳	580
			症例数_70~79 歳	867
			症例数_80~89 歳	448
			症例数_90 歳以上	61

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
ファロー四徴症	症例数 17	全体	全施設平均症例数	2.29
			全施設合計症例数	1,970
		病床区分別	症例数_99 床以下	0
			症例数_100~199 床	33
			症例数_200~299 床	211
			症例数_300~449 床	302
			症例数_450~749 床	635
			症例数_750 床以上	789
		年齢区分別 (男性)	症例数_29 歳以下	940
			症例数_30~39 歳	40
			症例数_40~49 歳	43
			症例数_50~59 歳	18
			症例数_60~69 歳	16
			症例数_70~79 歳	2
			症例数_80~89 歳	0
			症例数_90 歳以上	0
		年齢区分別 (女性)	症例数_29 歳以下	756
			症例数_30~39 歳	50
			症例数_40~49 歳	50
			症例数_50~59 歳	38
			症例数_60~69 歳	11
			症例数_70~79 歳	5
			症例数_80~89 歳	1
			症例数_90 歳以上	0

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
COVI19 合併症	症例数 18	月別	1 月	944
			2 月	794
			3 月	717
			4 月	1,931
			5 月	2,876
			6 月	1,325

循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

		7 月	1,135
		8 月	2,174
		9 月	3,185
		10 月	2,536
		11 月	820
		12 月	279

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
COVID19	症例数 19	全体	全施設合計症例数	797,903
		性別	症例数_男性	498,235
			症例数_女性	299,688
		死亡数	症例数	59,766(死亡率 7.49%)
		年齢	平均±標準偏差	72.11±17.64
		年齢区分 (男性)	症例数_29 歳以下	13,888
			症例数_30~39 歳	5,699
			症例数_40~49 歳	19,706
			症例数_50~59 歳	46,779
			症例数_60~69 歳	78,769
			症例数_70~79 歳	144,486
			症例数_80~89 歳	112,592
			症例数_90 歳以上	24,634
		年齢区分 (女性)	症例数_29 歳以下	11,042
			症例数_30~39 歳	4,374
			症例数_40~49 歳	9,715
			症例数_50~59 歳	18,397
			症例数_60~69 歳	30,834
			症例数_70~79 歳	76,371
			症例数_80~89 歳	100,215
			症例数_90 歳以上	47,322
		人工呼吸器	症例数	80,959
		IABP,PCPS 挿入件数	症例数	8,753
		在院日数	平均±標準偏差	16.20±19.43

循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

6.2 重症度別分類

分析項目	項目 No	層別要員	分類	2022 年度_値
狭心症_重症度分類別	症例数-1	CCS 分類	CCS1	60,890
			CCS2	59,071
			CCS3	19,570
			CCS4	8,306
			症状なし	18,142
			分類不明	9,774
不安定狭心症_重症度分類別 (ICD コード)	症例数-2_1	CCS 分類	CCS1	6,635
			CCS2	8,362
			CCS3	6,389
			CCS4	4,763
			症状なし	1,753
			分類不明	2,044
不安定狭心症_重症度分類別 (DX コード)	症例数-2_2	CCS 分類	CCS1	6,142
			CCS2	7,733
			CCS3	6,183
			CCS4	4,716
			症状なし	1,660
			分類不明	1,728
急性心筋梗塞_重症分類別	症例数-3	Killip 分類	Killip1	27,075
			Killip2	12,559
			Killip3	4,412
			Killip4	7,552
			分類不明	4,084
心不全_重症度分類別 ※※ 2022 年度データは、NYHA 分類 が、主病名、医療資源最大病名、 医療資源 2 番目に投入した病名 に「I50\$」を登録された症例の場 合、必須入力	症例数-4	NYHA 分類	NYHA1	7,946
			NYHA2	28,010
			NYHA3	52,828
			NYHA4	48,585
			分類不明	9,802

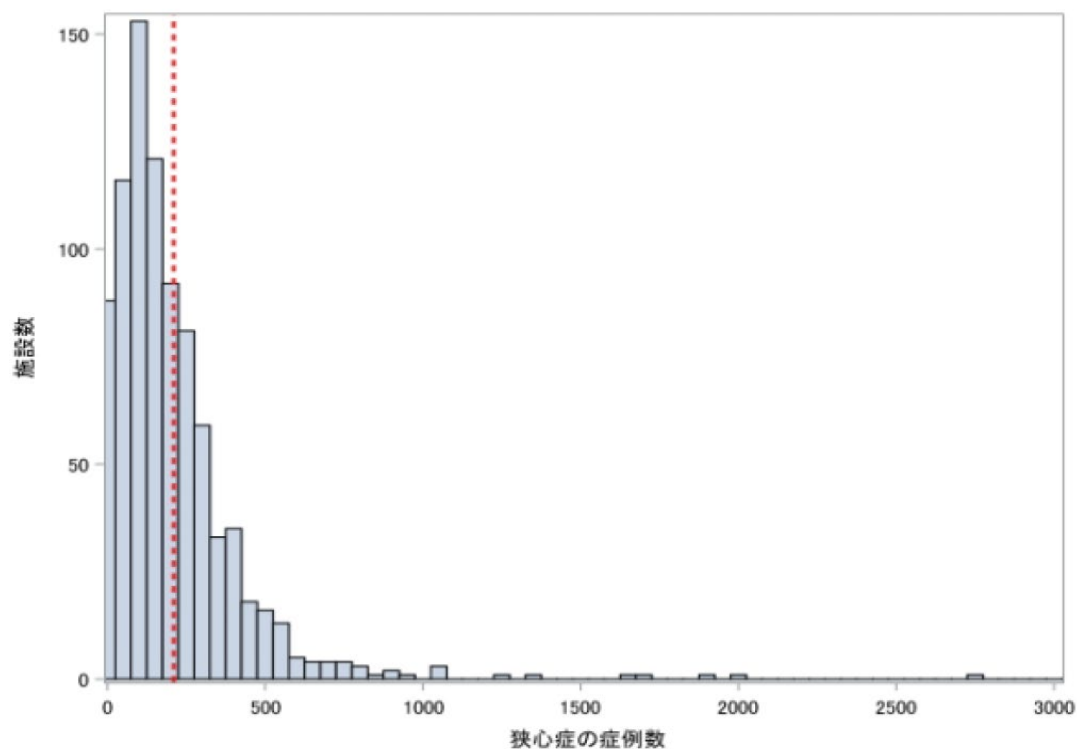
6.3 心不全患者の特徴/急性心筋梗塞発症時期

分析項目		項目 No	分類	2022 年度_値
心不全患者血行動態の特徴		収縮期血圧	100mmHg 未満	14,589
			100mmHg 以上、140mmHg 以下	60,660
			140mmHg 超	47,712
心不全患者入院時左室駆出率 ※		左室駆出率	分類不能、不明	26,756
			LVEF40%未満（HFrEF）	48,931
			LVEF40%以上、50%未満（HFmrEF）	23,450
			LVEF50%以上（HFpEF）	48,034
急性心筋梗塞発症時期 ※		発症時期	急性（1 週間未満）	52,366
			亜急性（1 週間以上 4 週間未満）	2,499
			慢性（4 週間以上）	541
			無症候性（発症日なし）	876

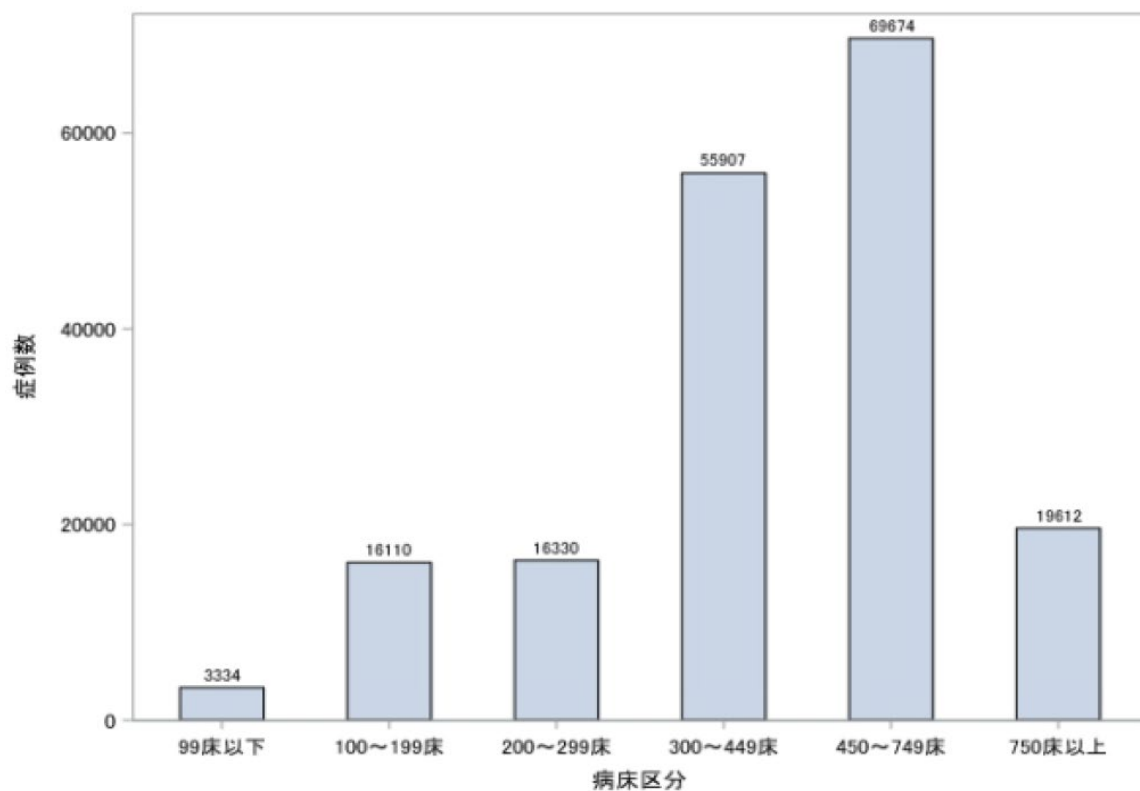
症例数－1 狭心症の症例数全

症例数: 180,967 症例

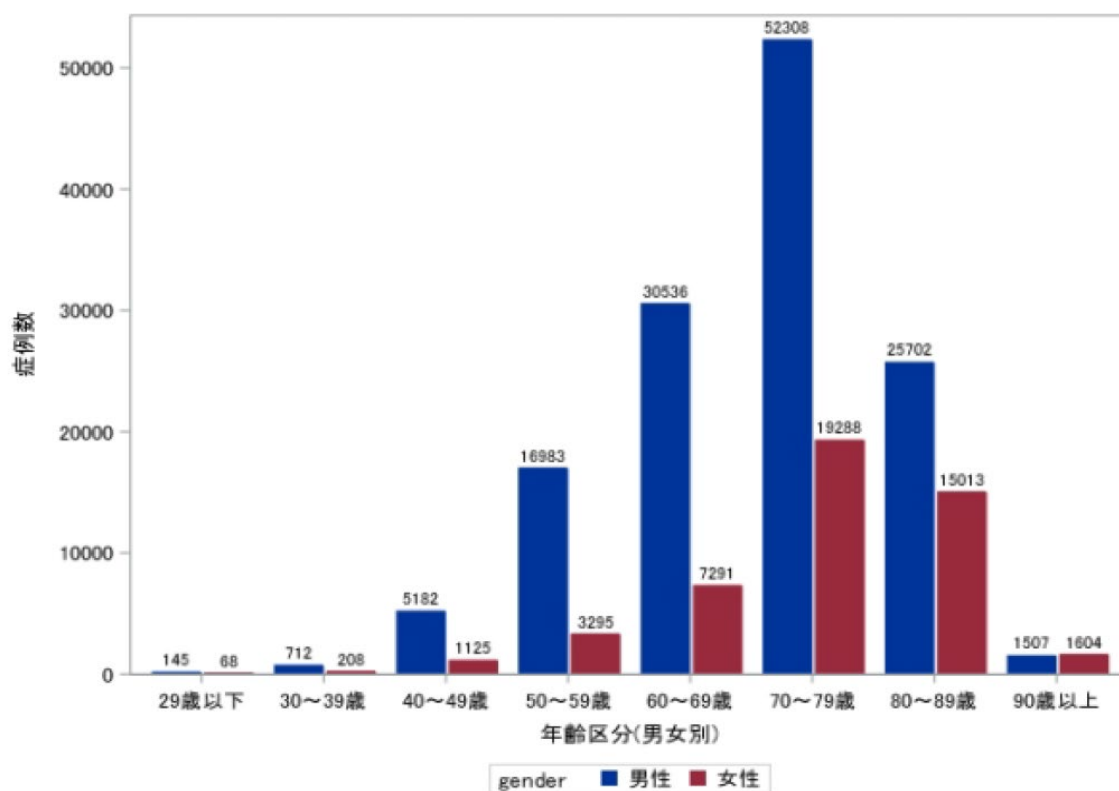
点線: 全施設平均 210.40 症例



症例数－1 狭心症の症例数_病床区分別



症例数－1 狭心症の症例数_年齢区分(男女別)

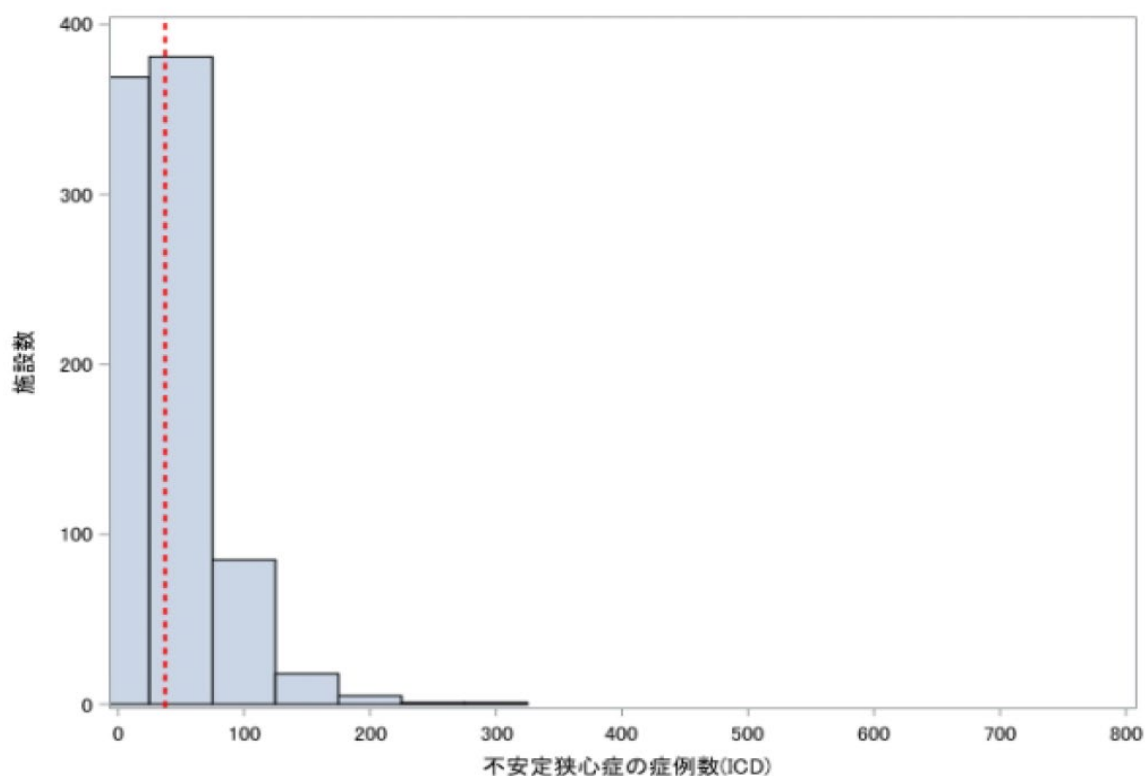


循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

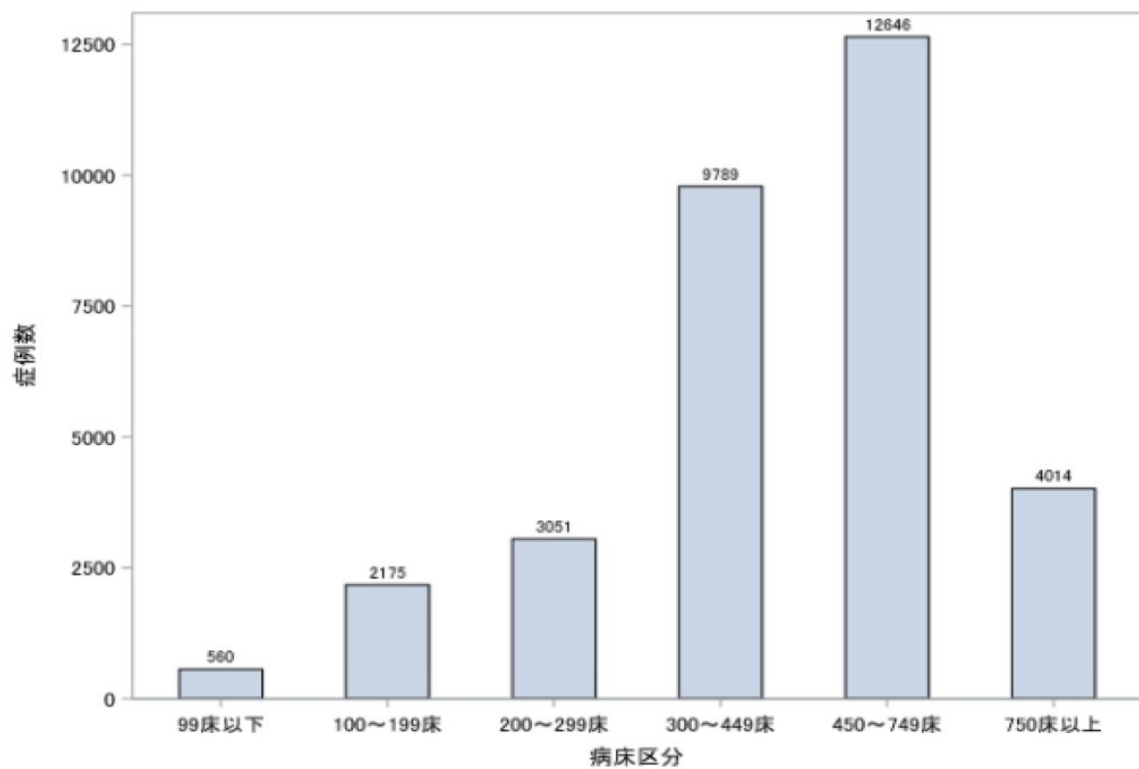
症例数－2_1 不安定狭心症(ICDコード)の症例数

全症例数: 32,235 症例

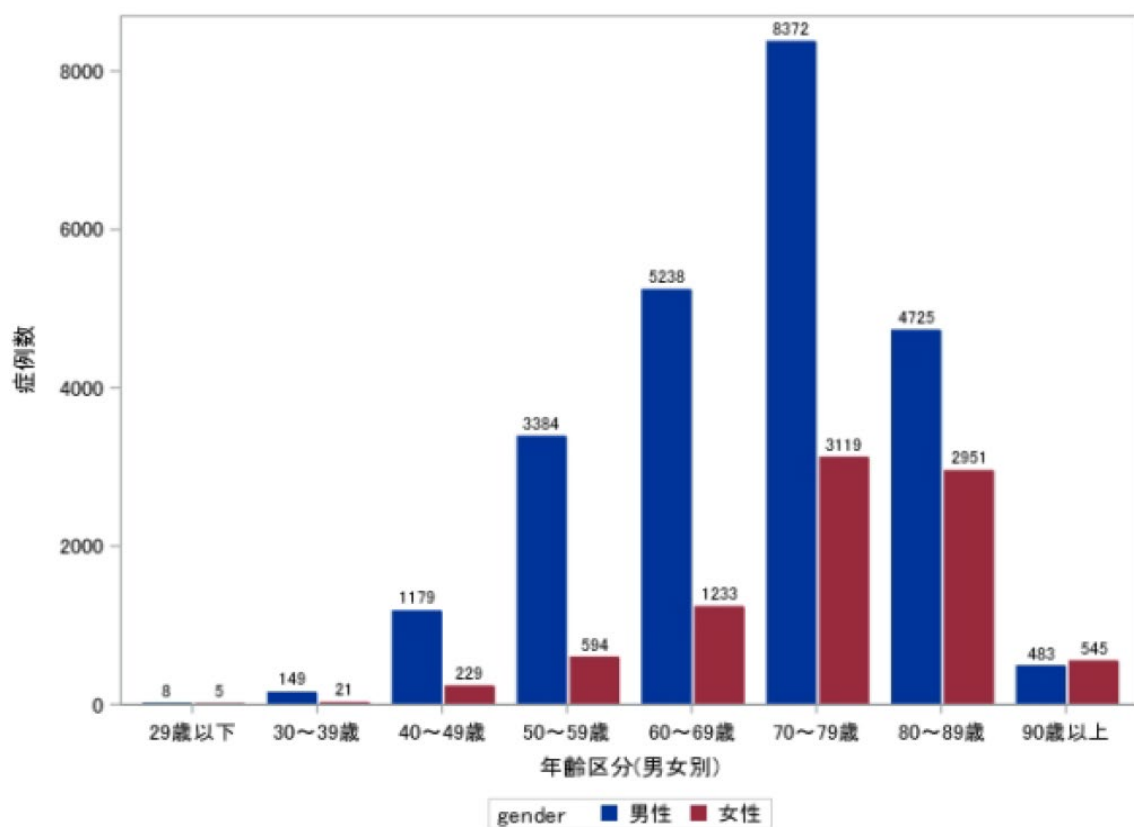
点線: 全施設平均 37.48 症例



症例数－2_1 不安定狭心症(ICDコード)の症例数_病床区分別



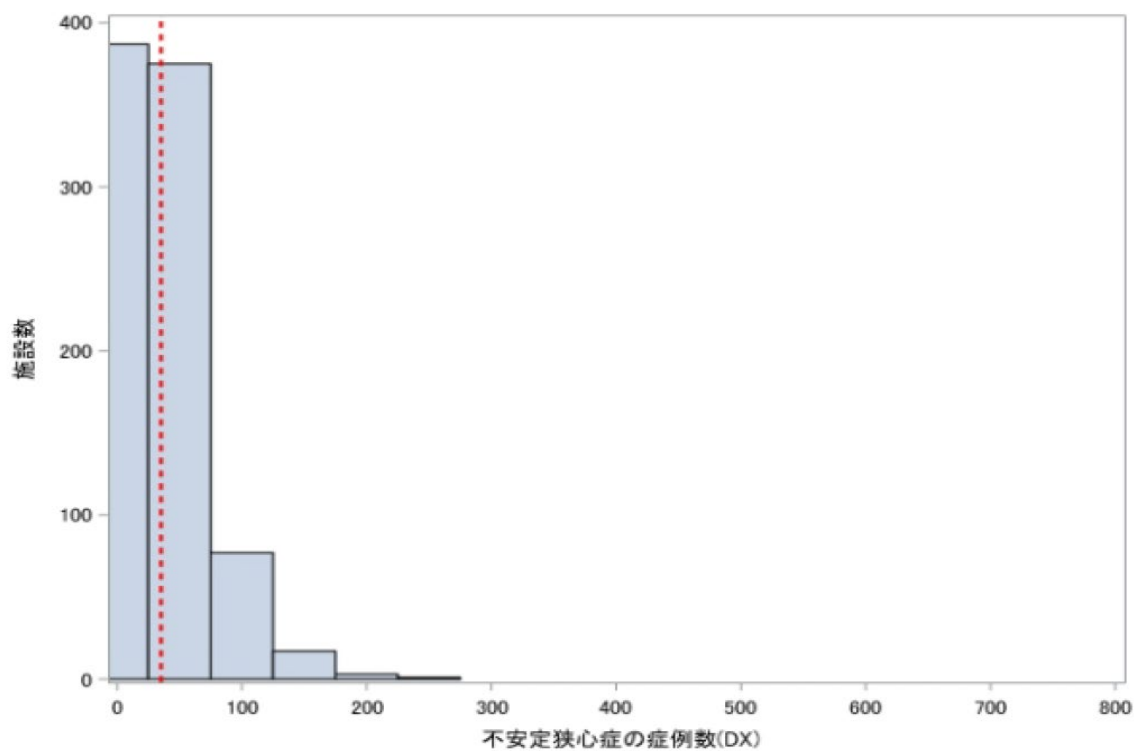
症例数－2_1 不安定狭心症(ICDコード)の症例数_年齢区分(男女別)



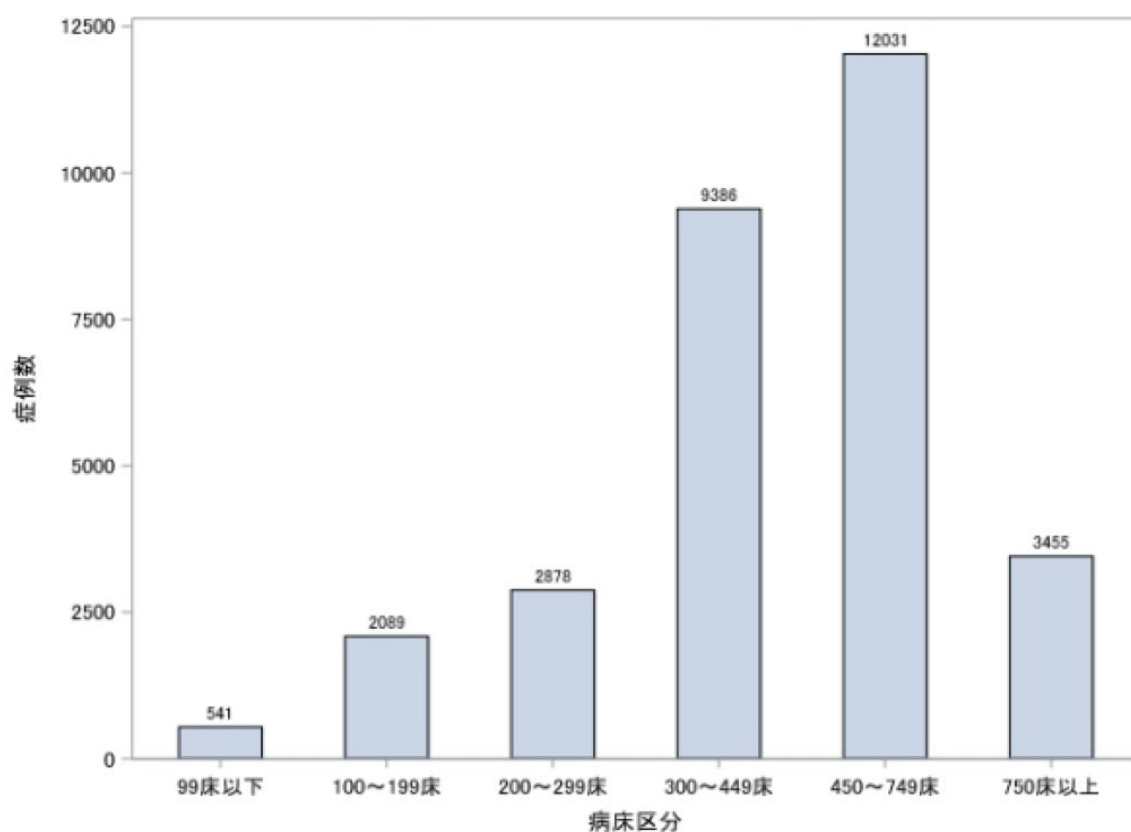
症例数－2_2 不安定狭心症(DXコード)の症例数

全症例数: 30,380 症例

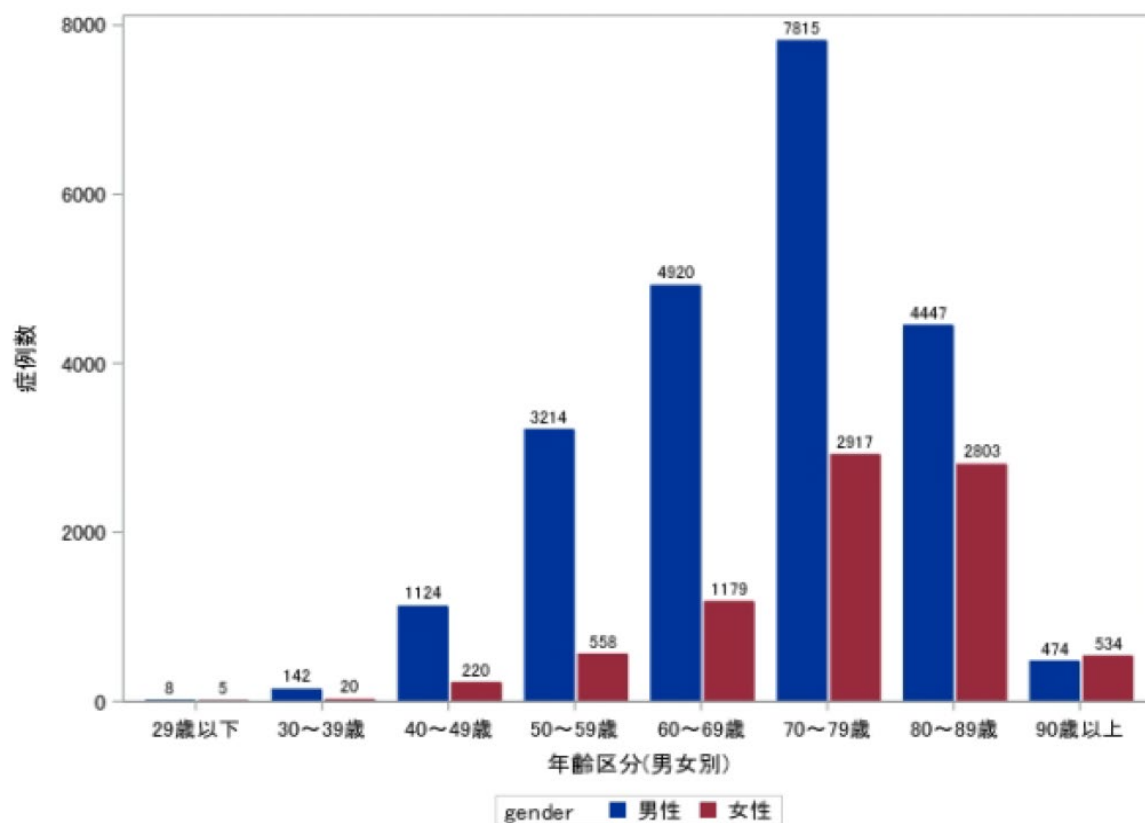
点線: 全施設平均 35.33 症例



症例数－2.2 不安定狭心症(DXコード)の症例数_病床区分別



症例数－2.2 不安定狭心症(DXコード)の症例数_年齢区分(男女別)

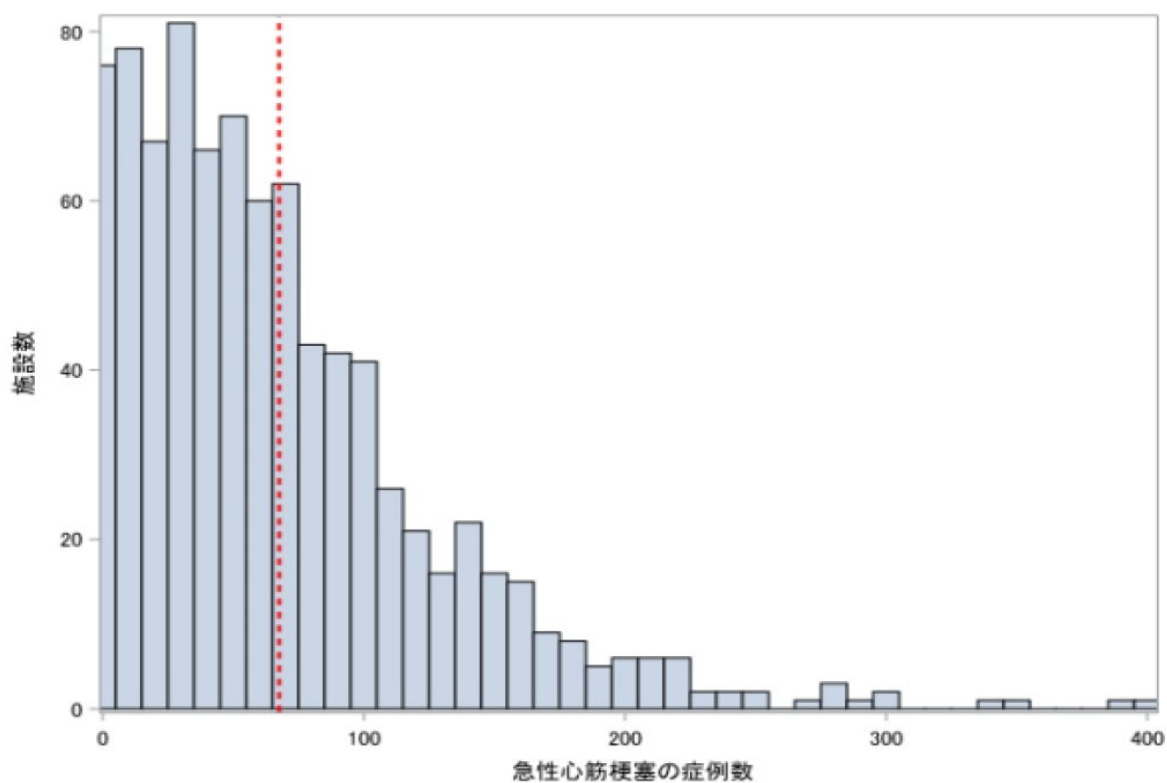


循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

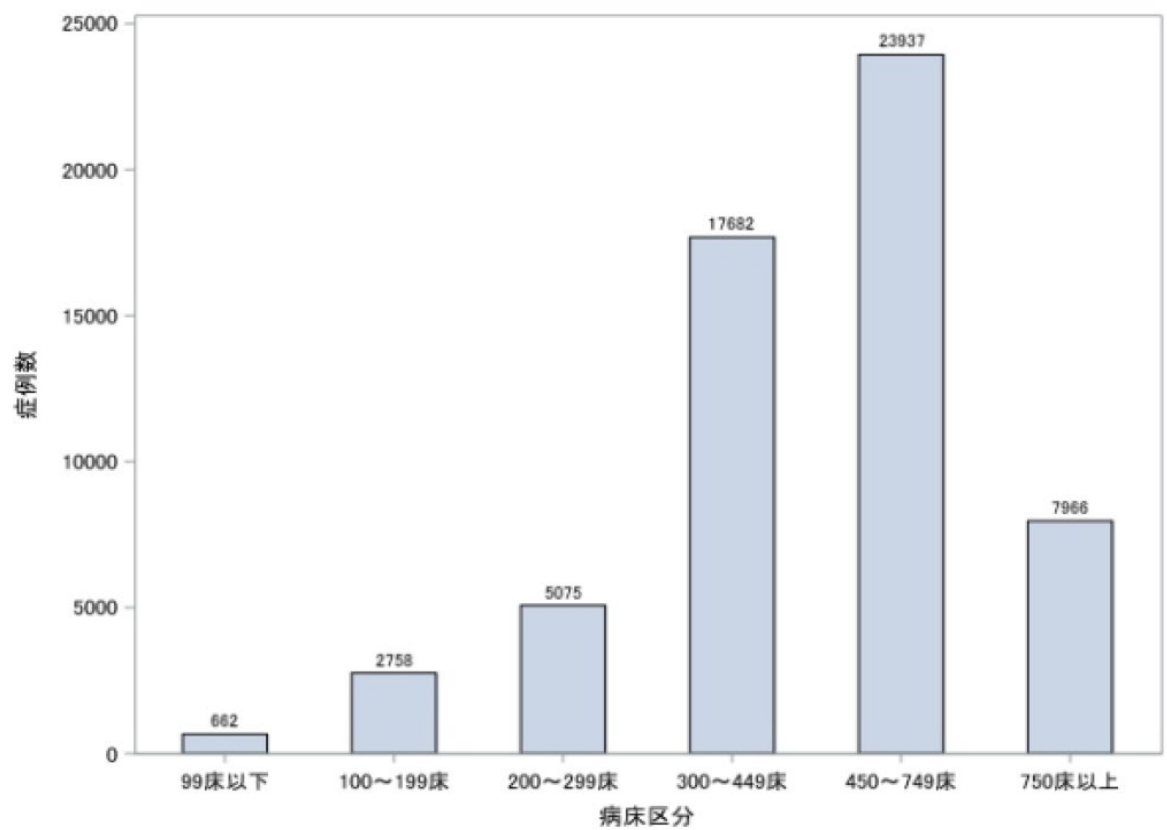
症例数－3 急性心筋梗塞の症例数

全症例数: 58,080 症例

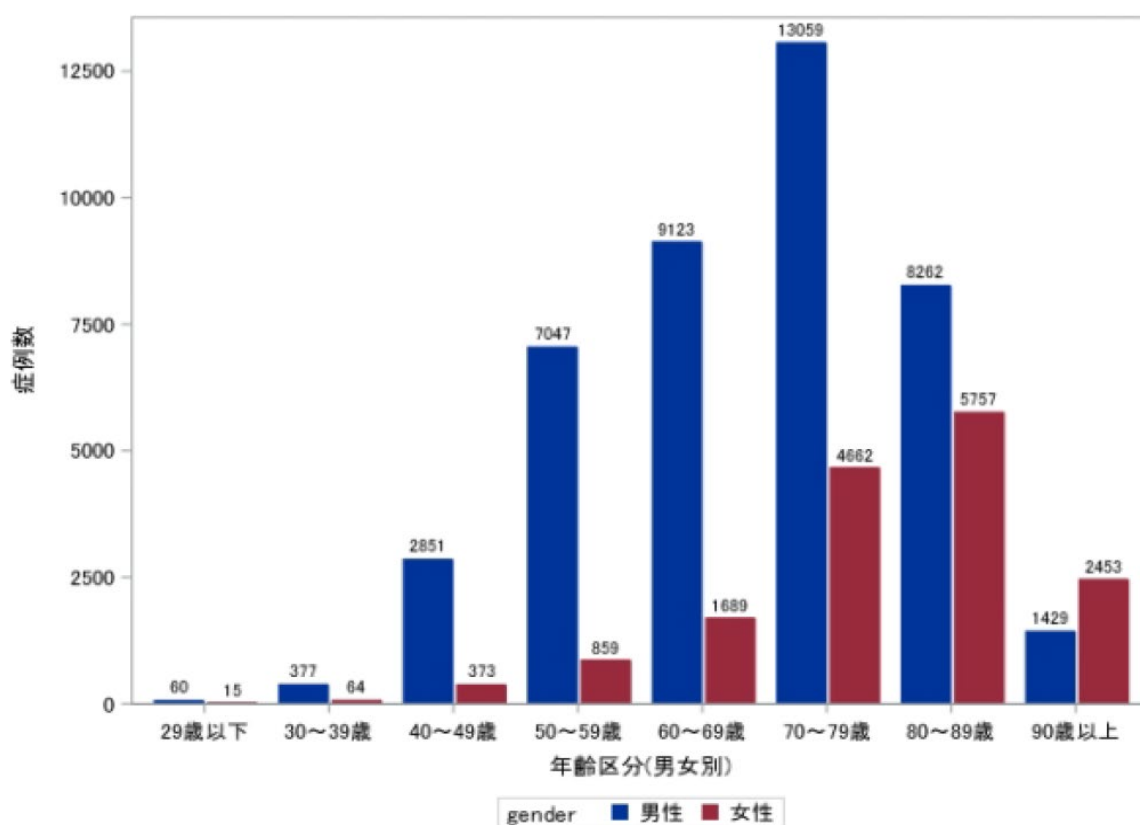
点線: 全施設平均 67.53 症例



症例数－3 急性心筋梗塞の症例数_病床区分別



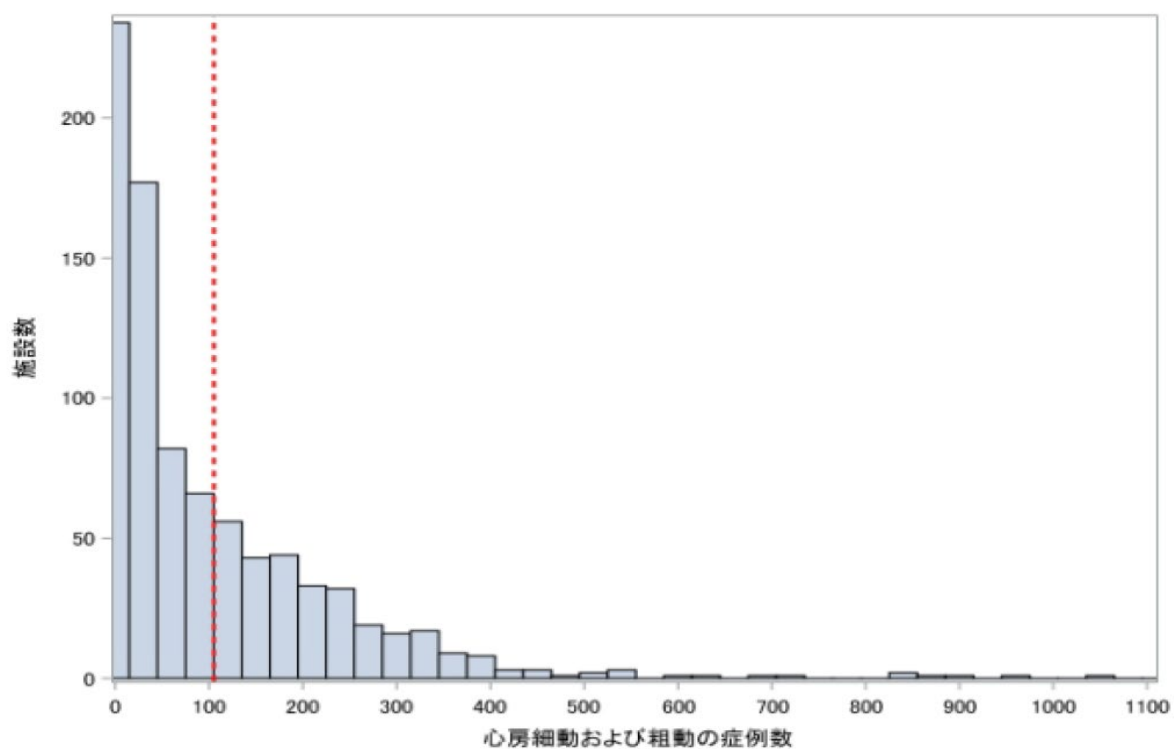
症例数－3 急性心筋梗塞の症例数_年齢区分(男女別)



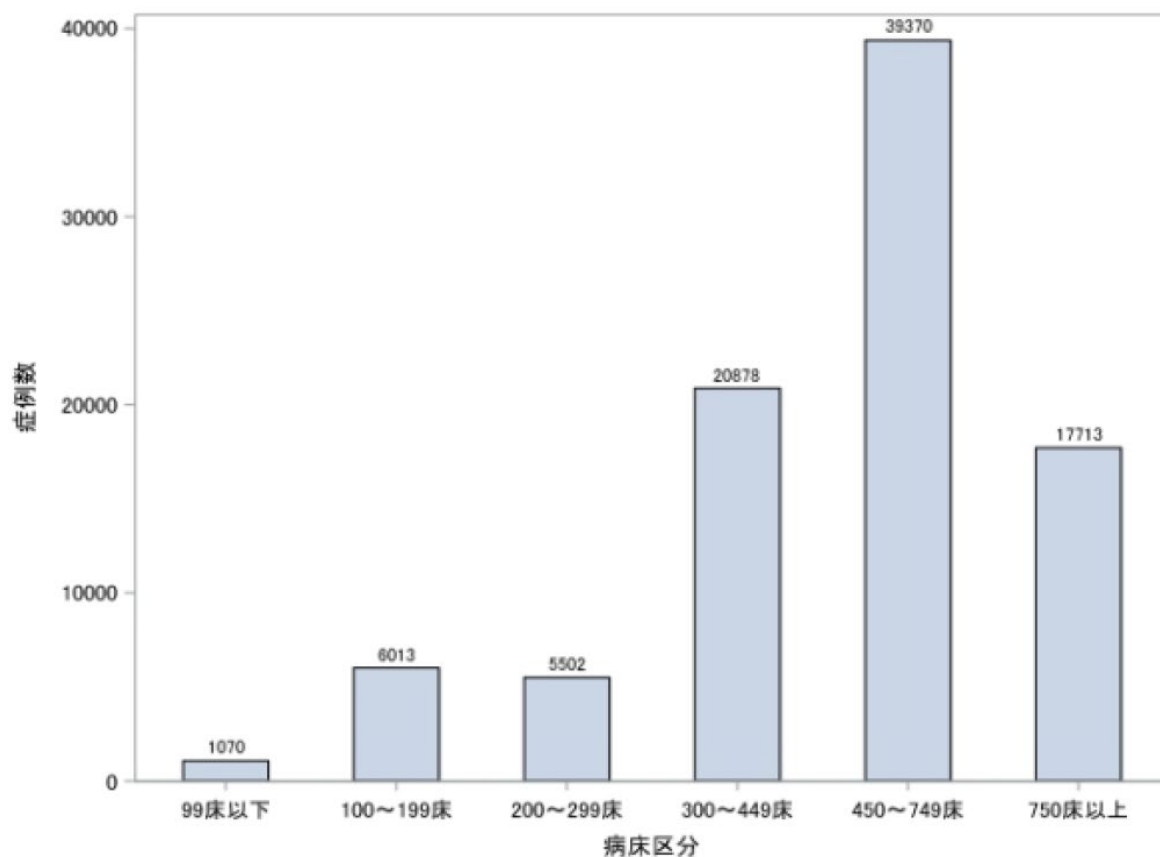
症例数－4 心房細動および粗動の症例数

全症例数: 90,546 症例

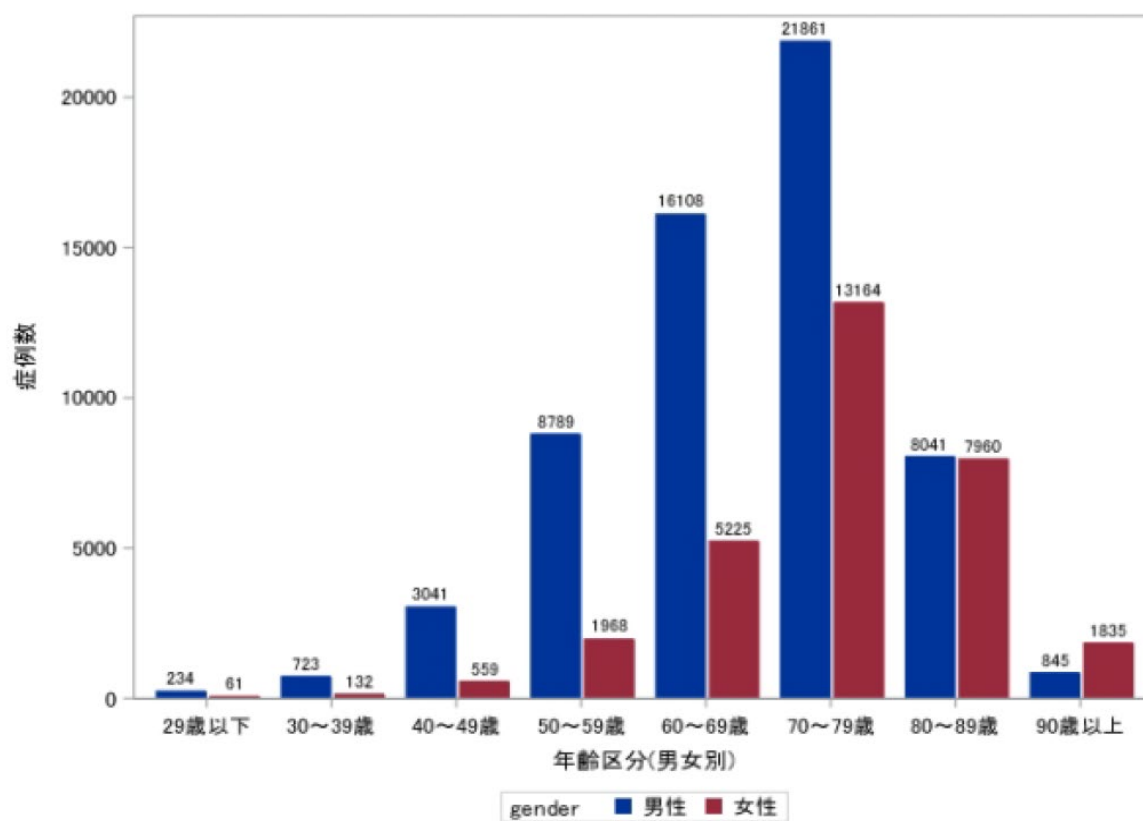
点線: 全施設平均 105.3 症例



症例数－4 心房細動および粗動の症例数_病床区分別



症例数－4 心房細動および粗動の症例数_年齢区分(男女別)

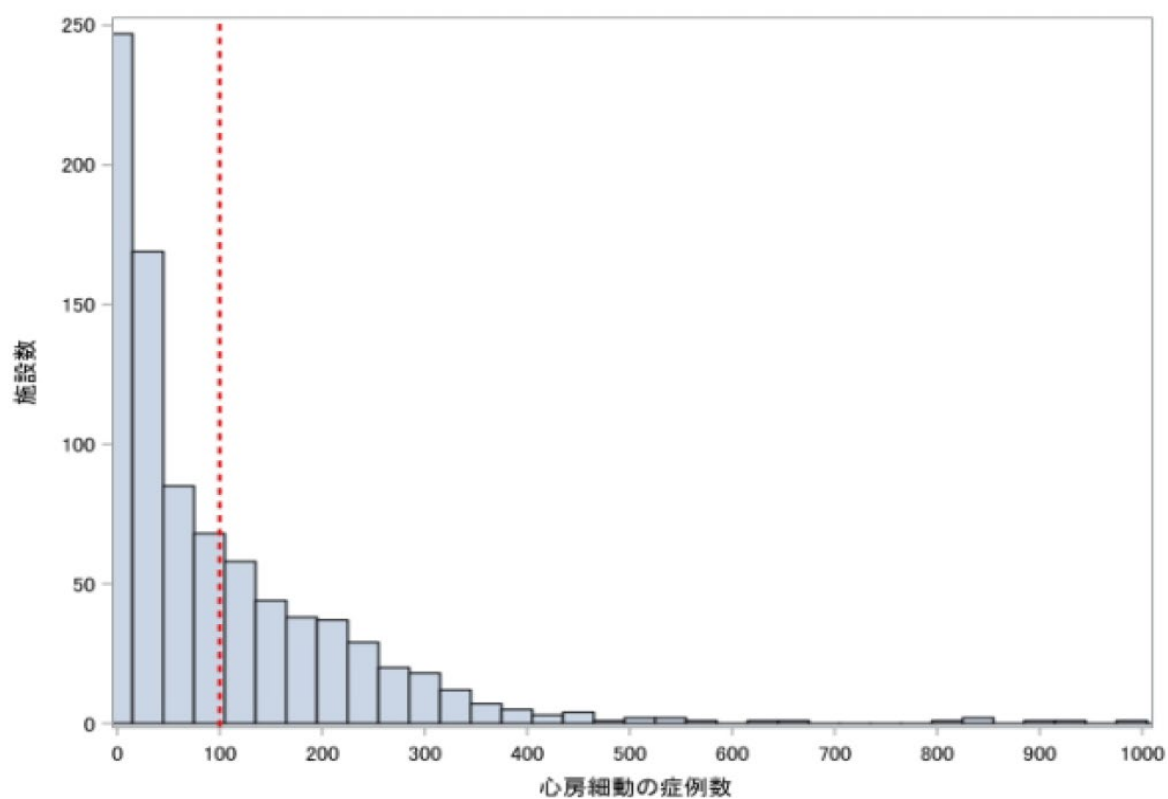


循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

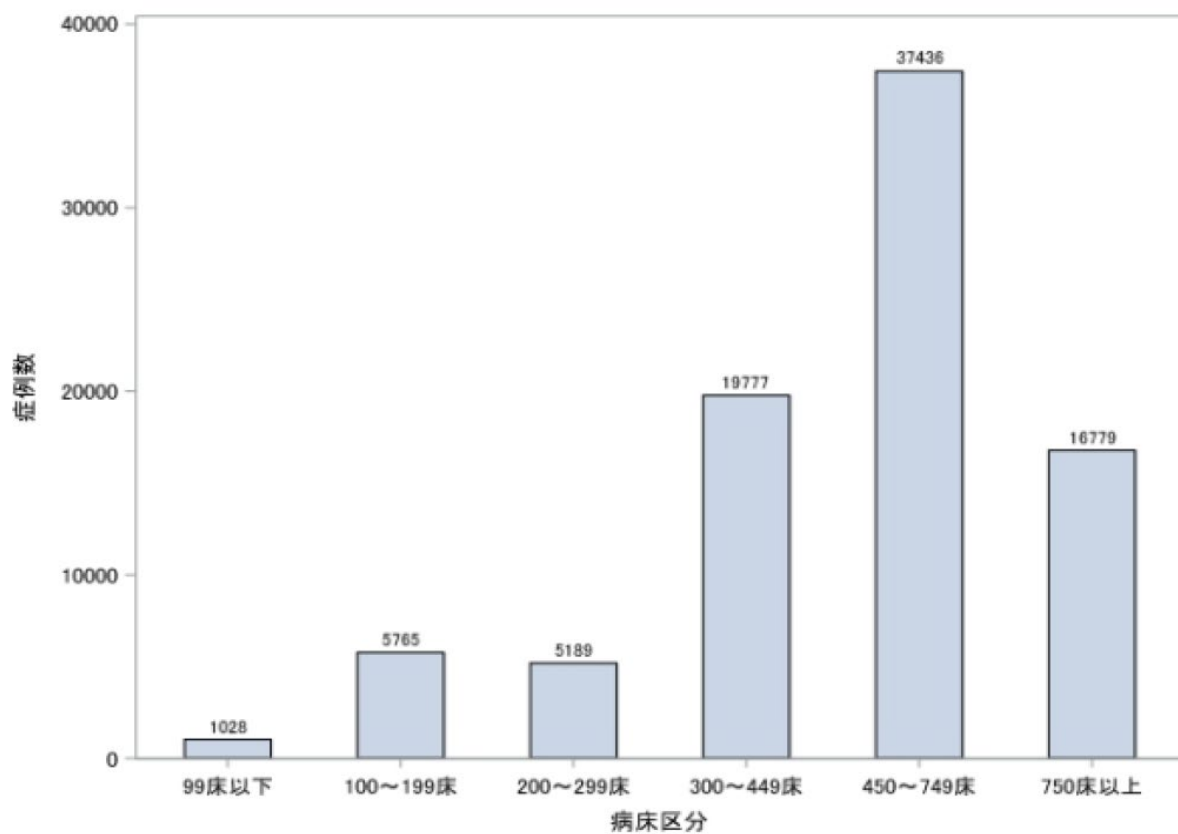
症例数－5 心房細動の症例数

全症例数: 85,974 症例

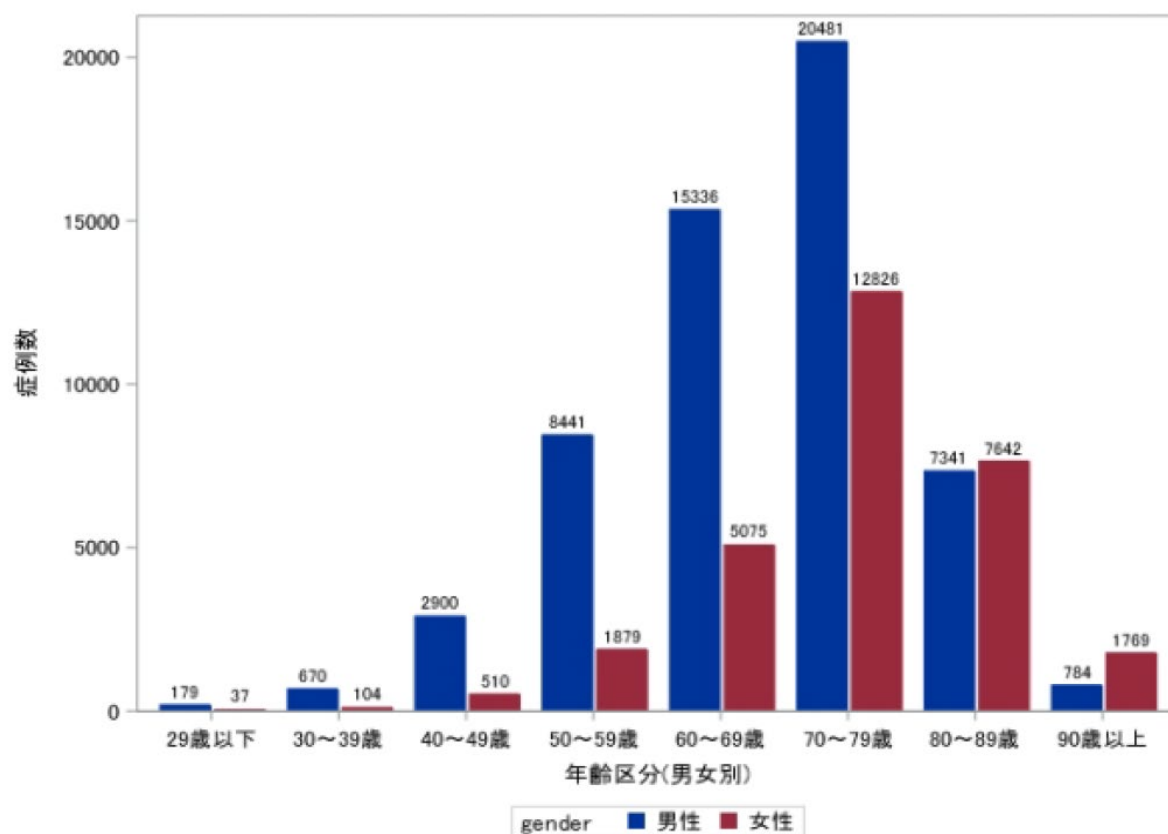
点線: 全施設平均 99.97 症例



症例数－5 心房細動の症例数_病床区分別



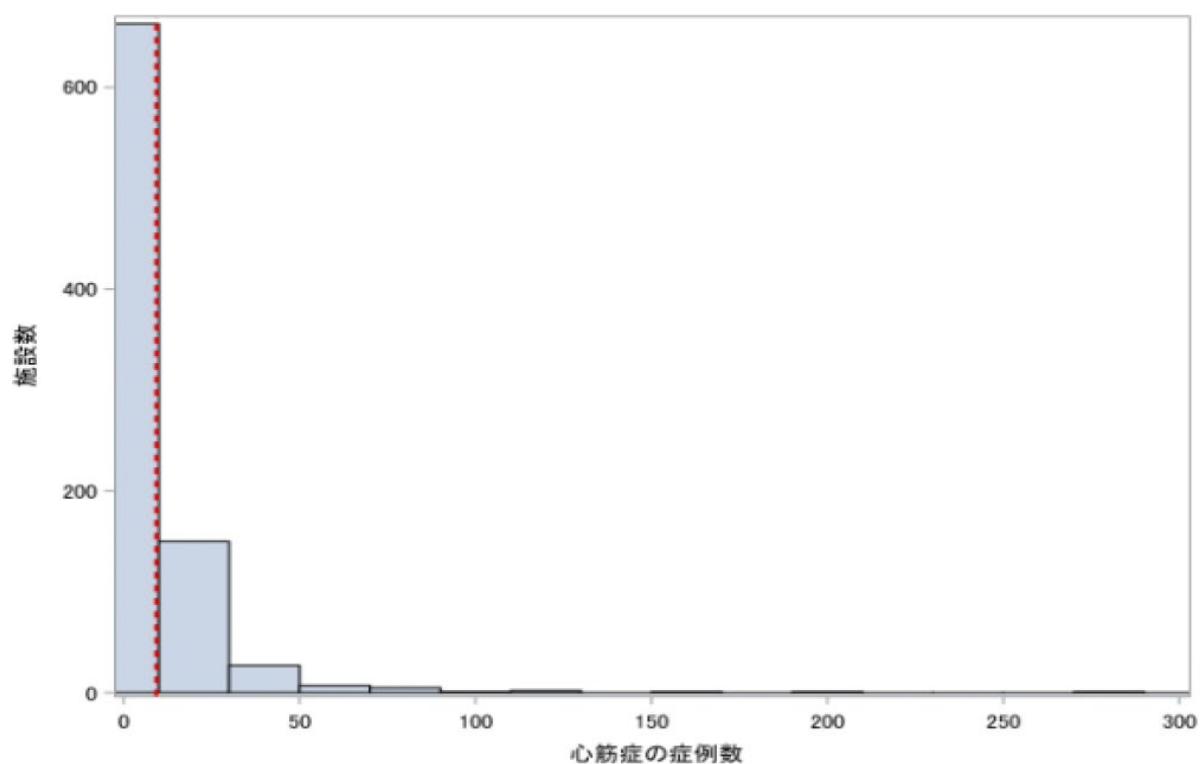
症例数－5 心房細動の症例数_年齢区分(男女別)



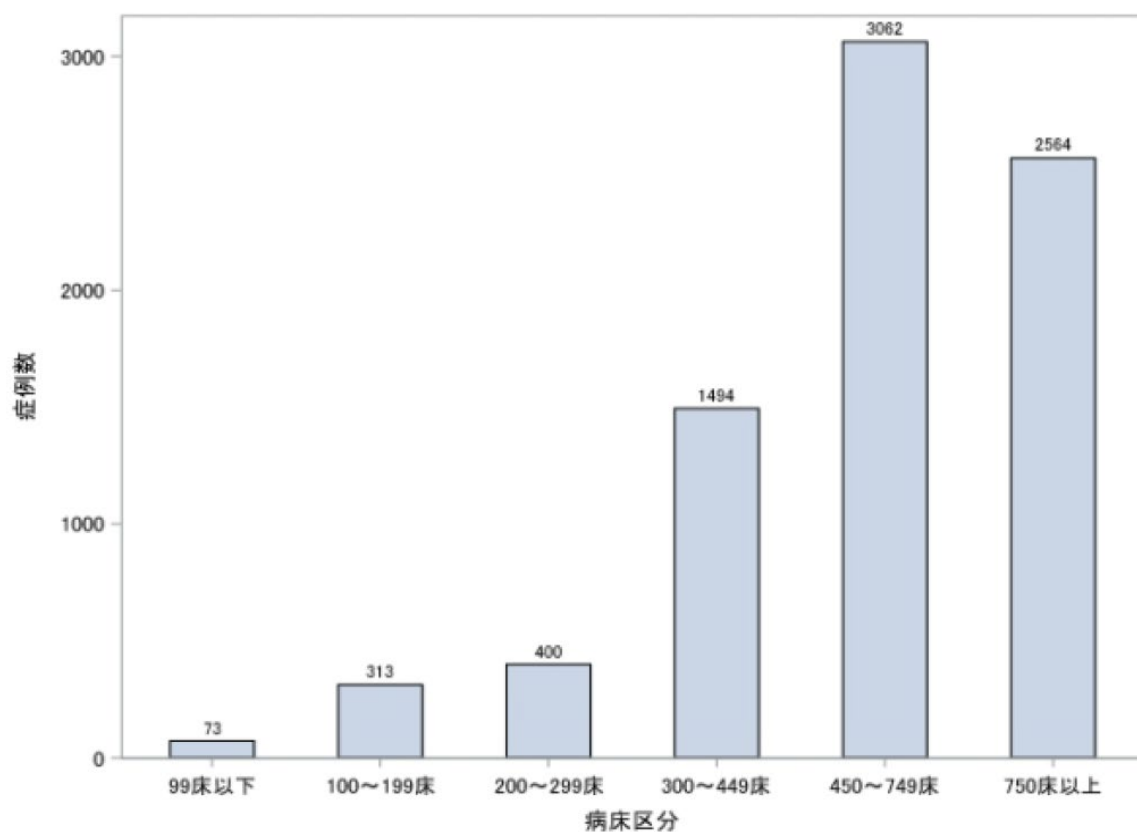
症例数－6 心筋症の症例数

全症例数: 7,906 症例

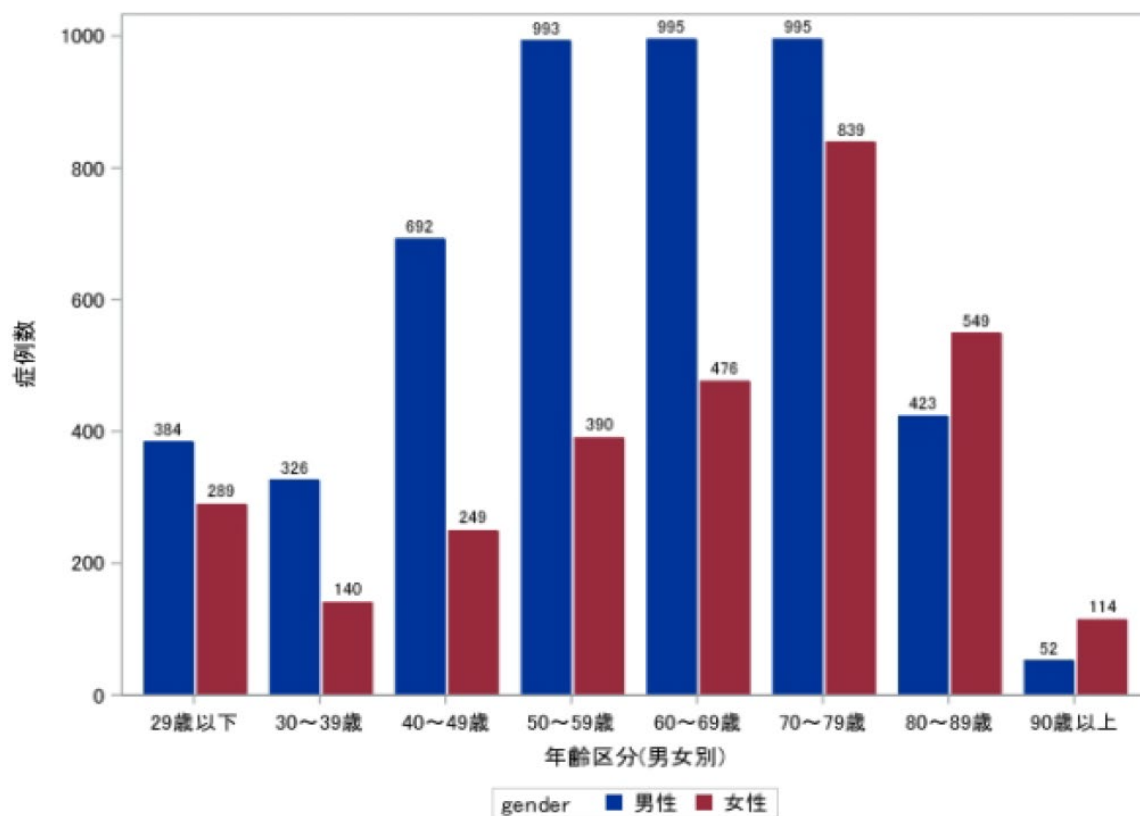
点線: 全施設平均 9.193 症例



症例数－6 心筋症の症例数_病床区分別



症例数－6 心筋症の症例数_年齢区分(男女別)

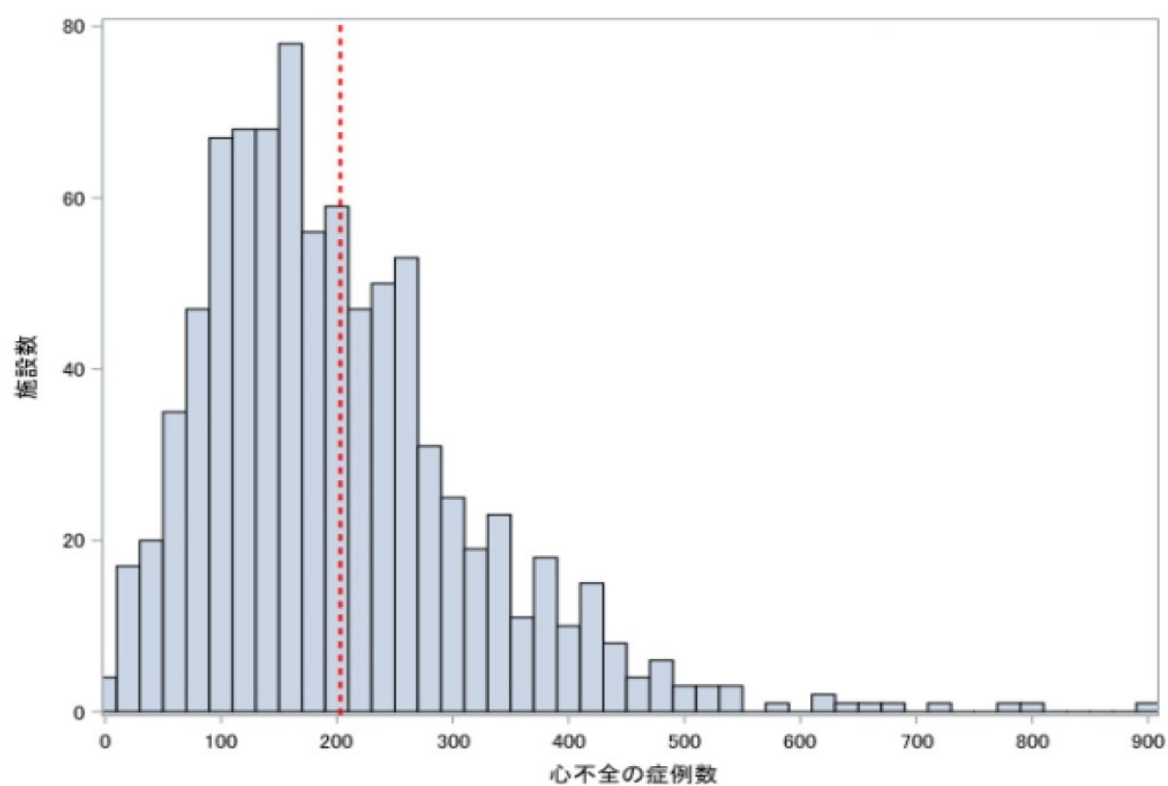


循環器疾患診療実態調査 (JROAD_DPC)

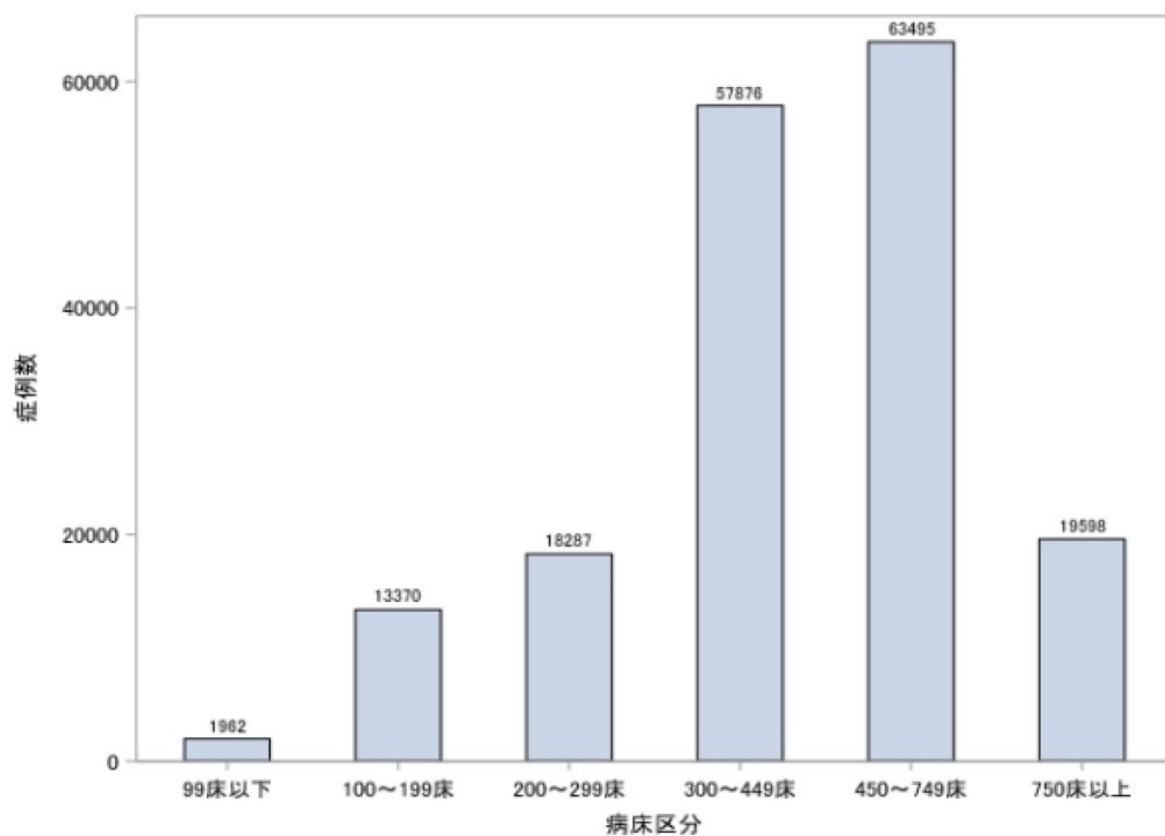
症例数－7 心不全の症例数

全症例数: 174,588 症例

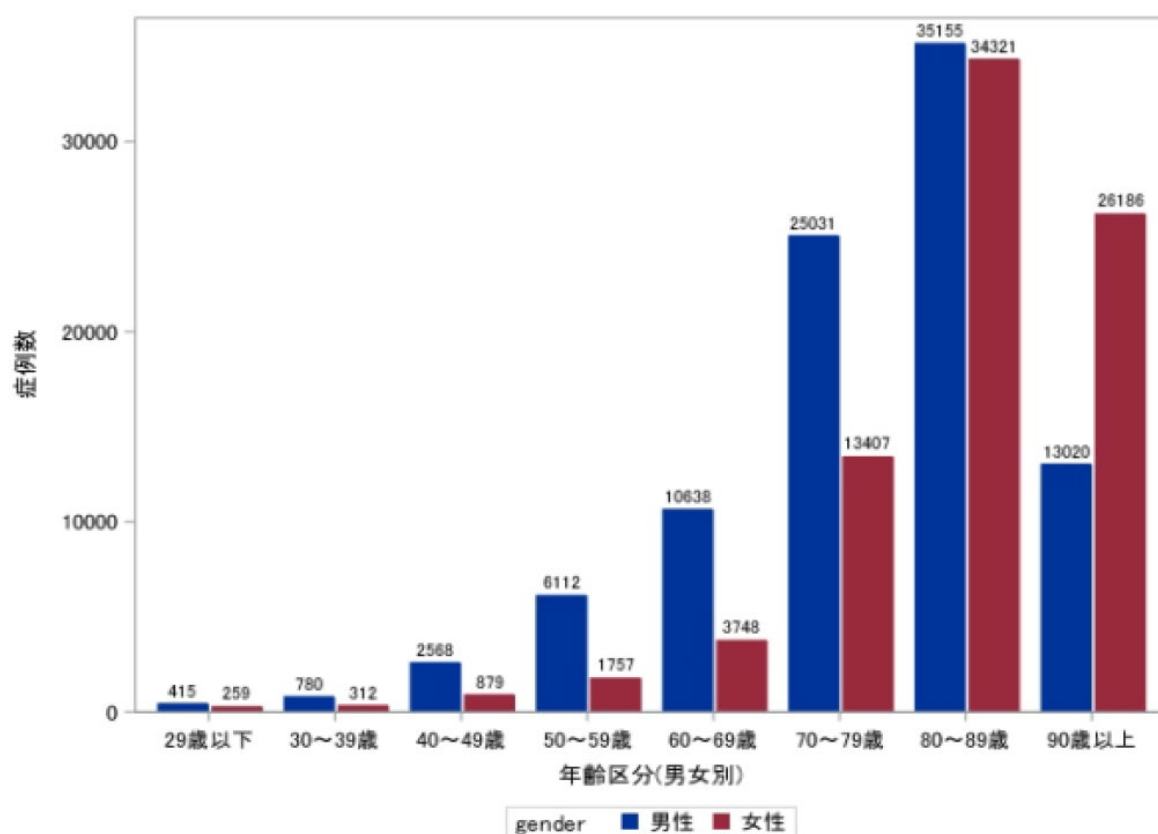
点線: 全施設平均 203 症例



症例数－7 心不全の症例数_病床区分別



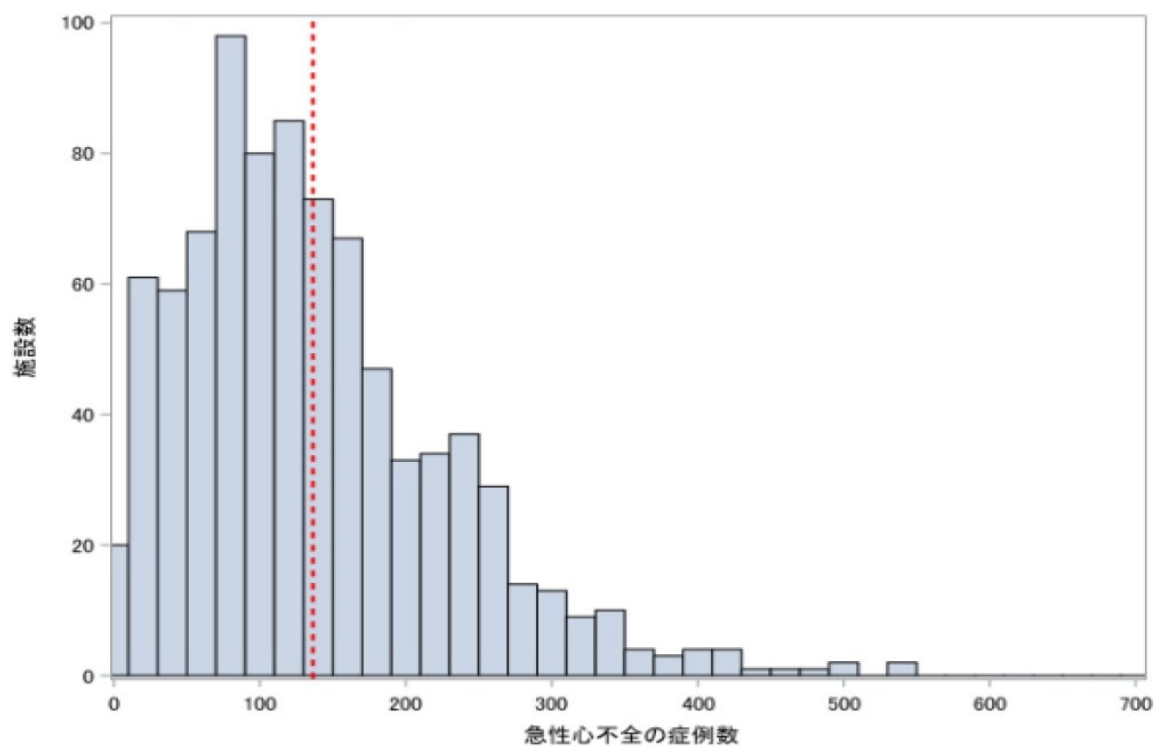
症例数－7 心不全の症例数_年齢区分(男女別)



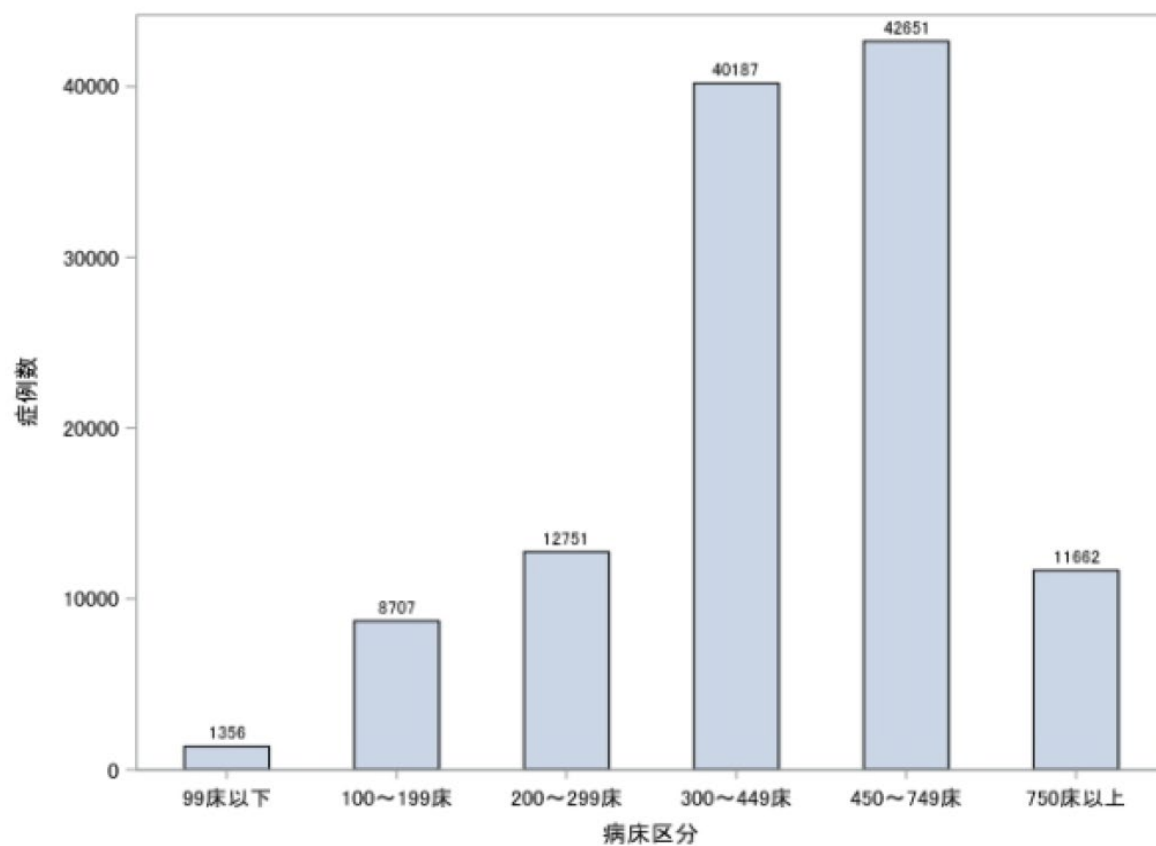
症例数－8 急性心不全の症例数

全症例数: 117,314 症例

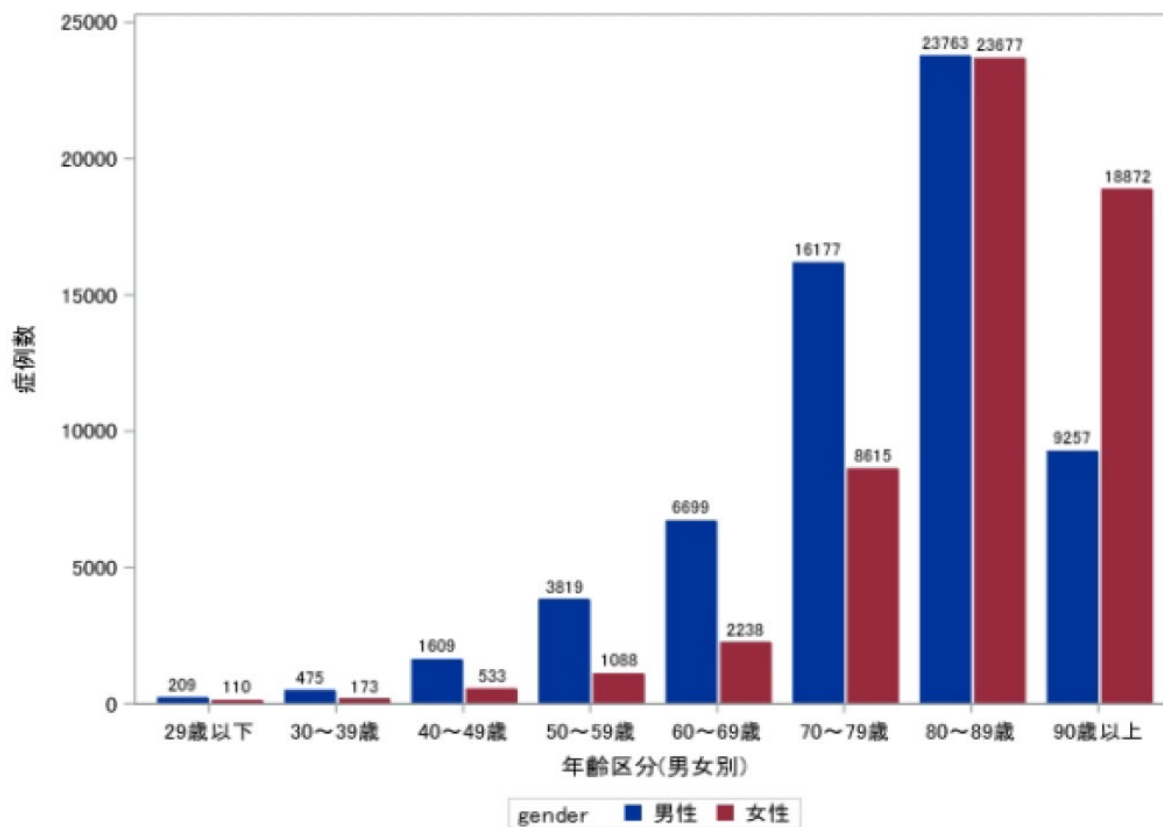
点線: 全施設平均 136.4 症例



症例数－8 急性心不全の症例数_病床区分別



症例数－8 急性心不全の症例数_年齢区分(男女別)

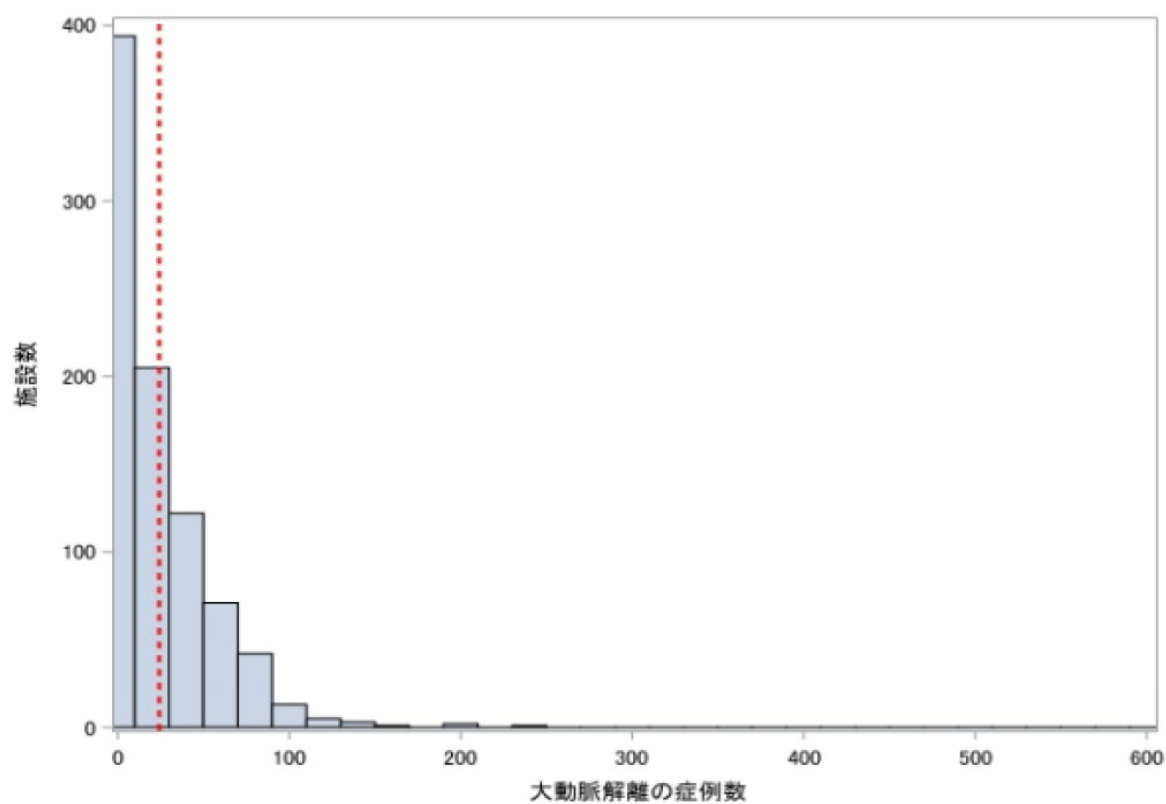


循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

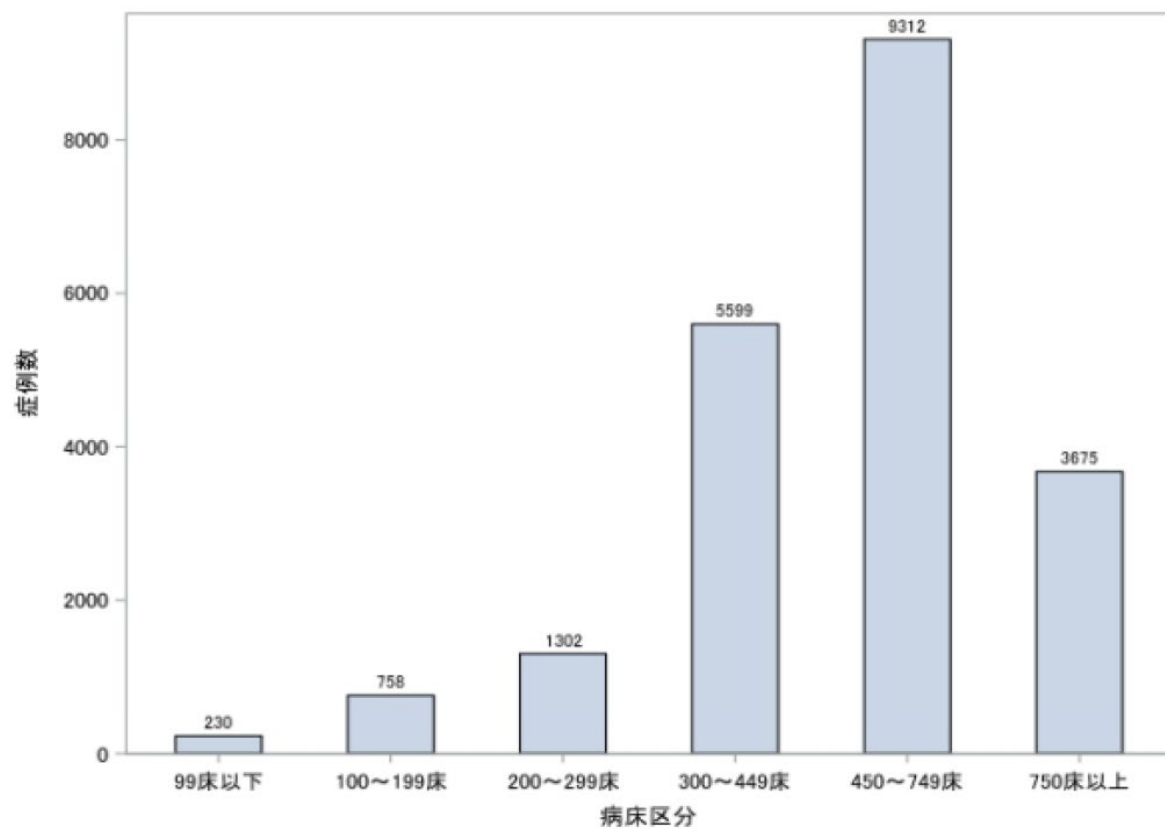
症例数－9 大動脈解離の症例数

全症例数: 20,876 症例

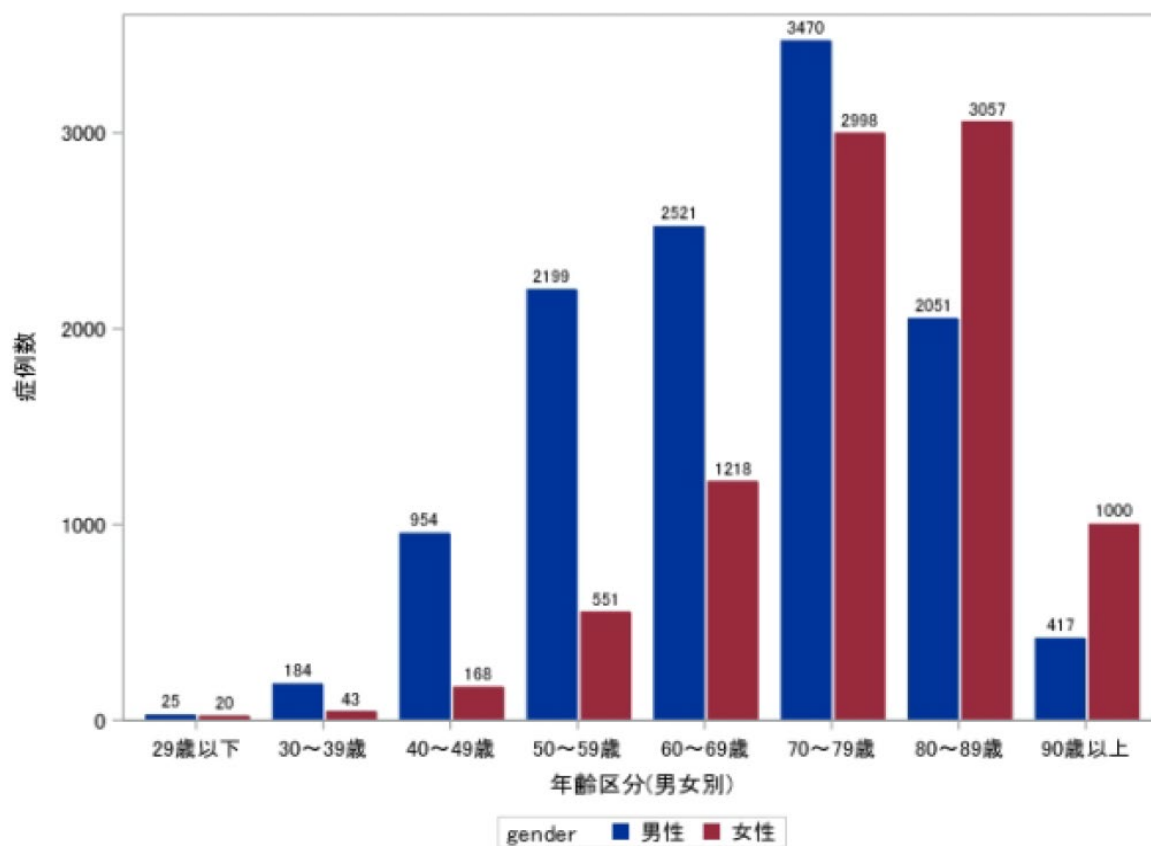
点線: 全施設平均 24.27 症例



症例数－9 大動脈解離の症例数_病床区分別



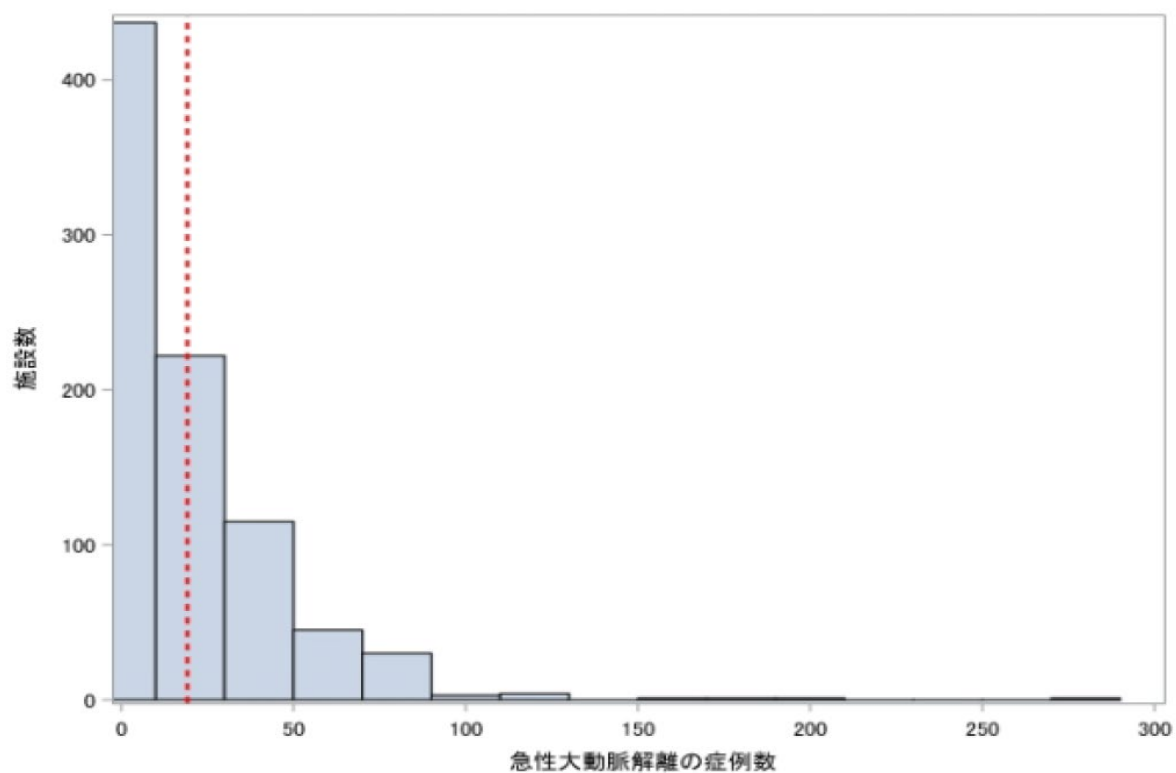
症例数－9 大動脈解離の症例数_年齢区分(男女別)



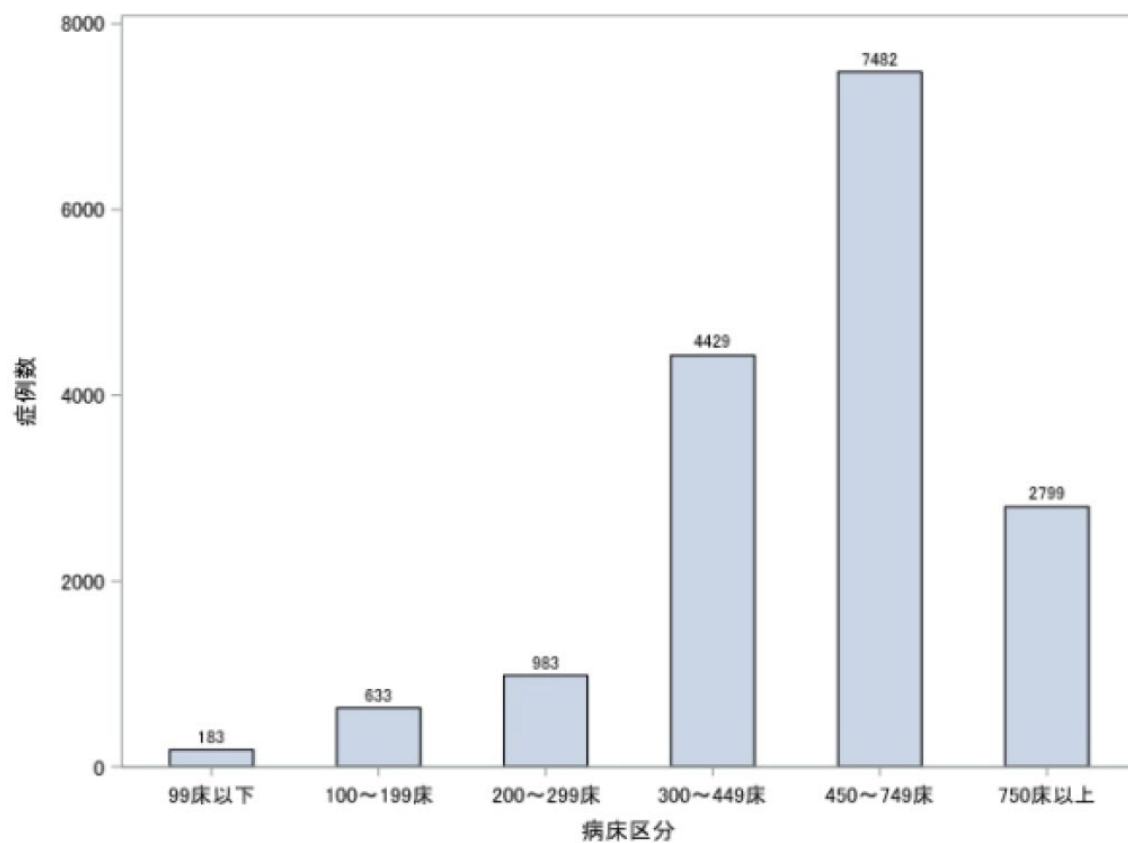
症例数－10 急性大動脈解離の症例数

全症例数: 16,509 症例

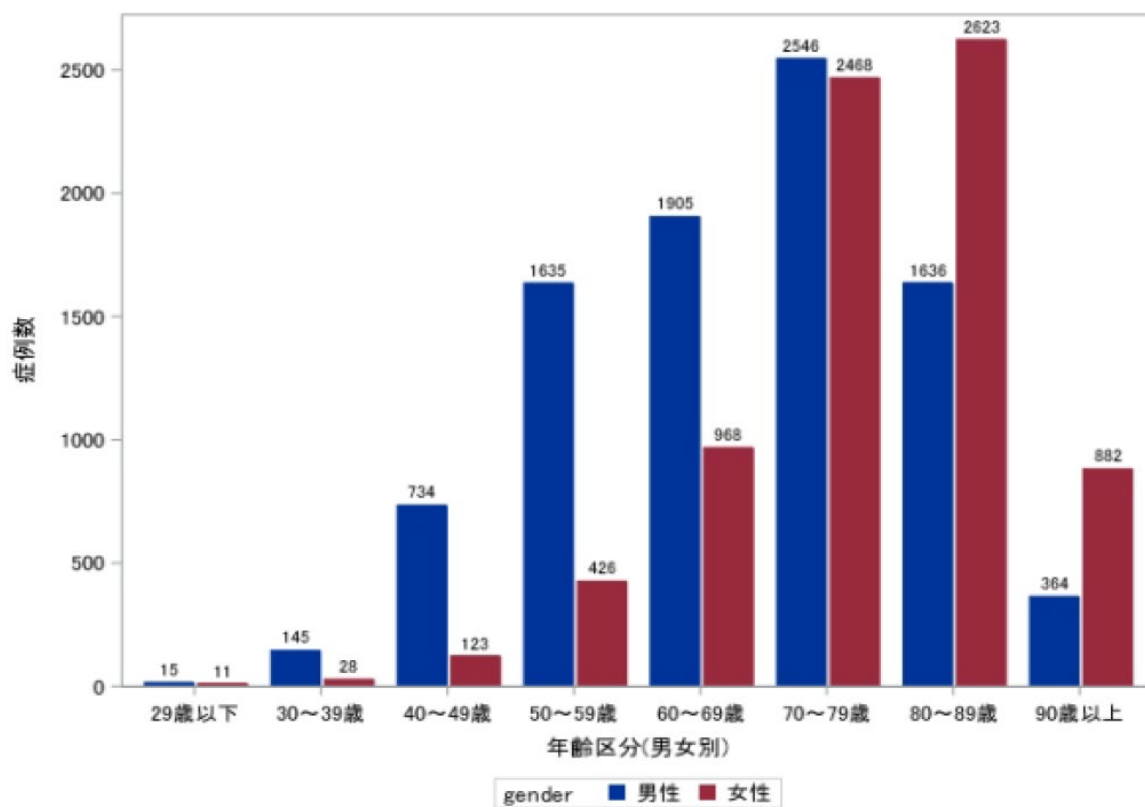
点線: 全施設平均 19.2 症例



症例数－10 急性大動脈解離の症例数_病床区分別



症例数－10 急性大動脈解離の症例数_年齢区分(男女別)

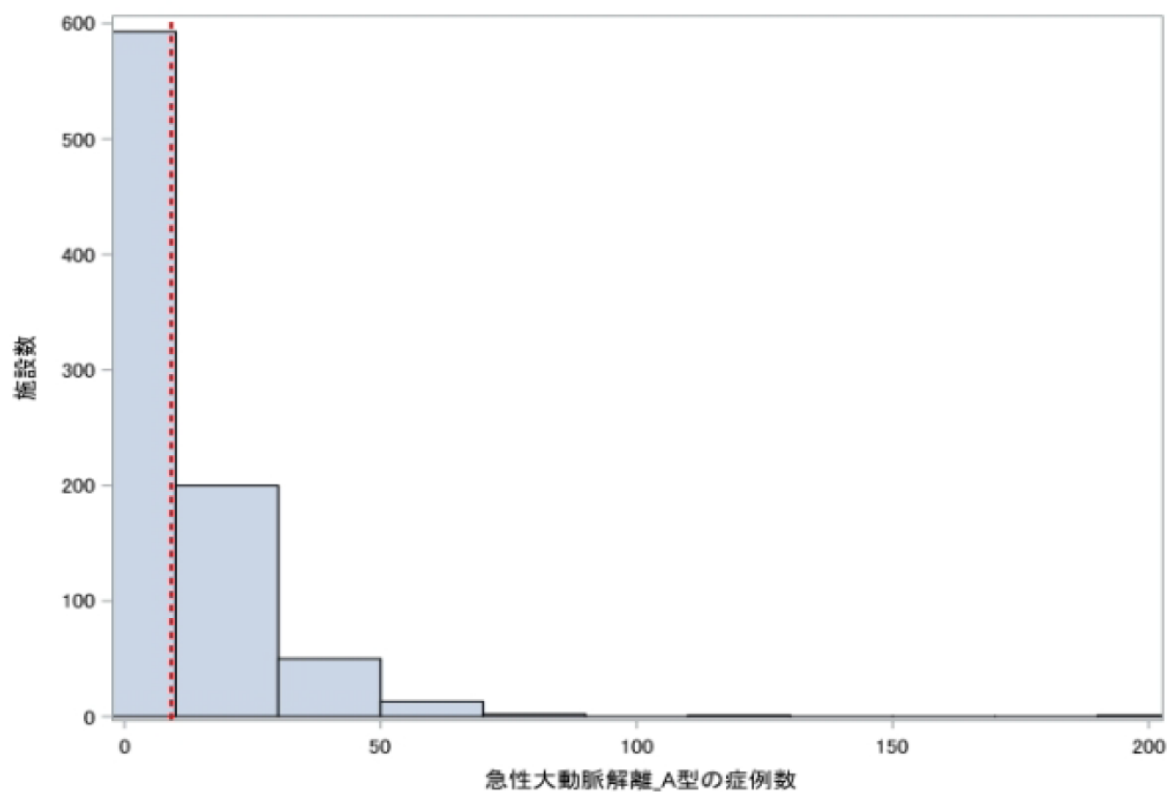


循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

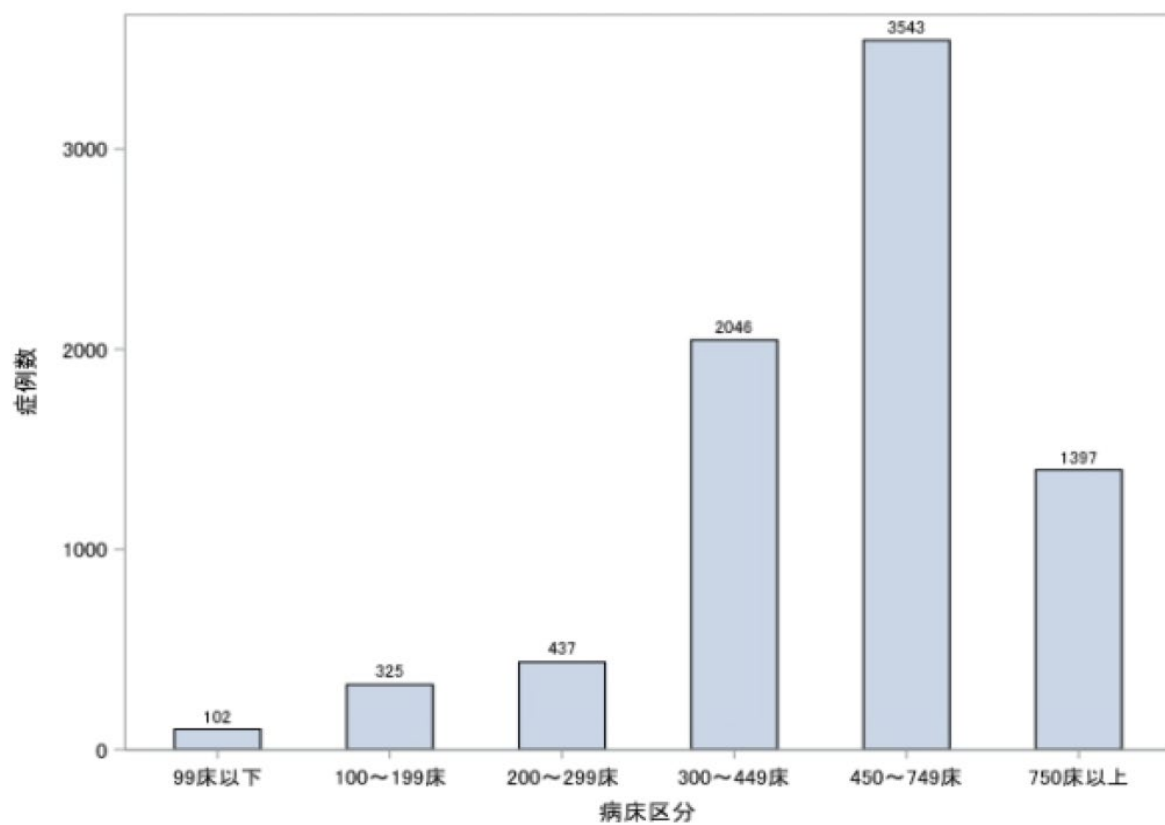
症例数－11 急性大動脈解離_A型の症例数

全症例数: 7,850 症例

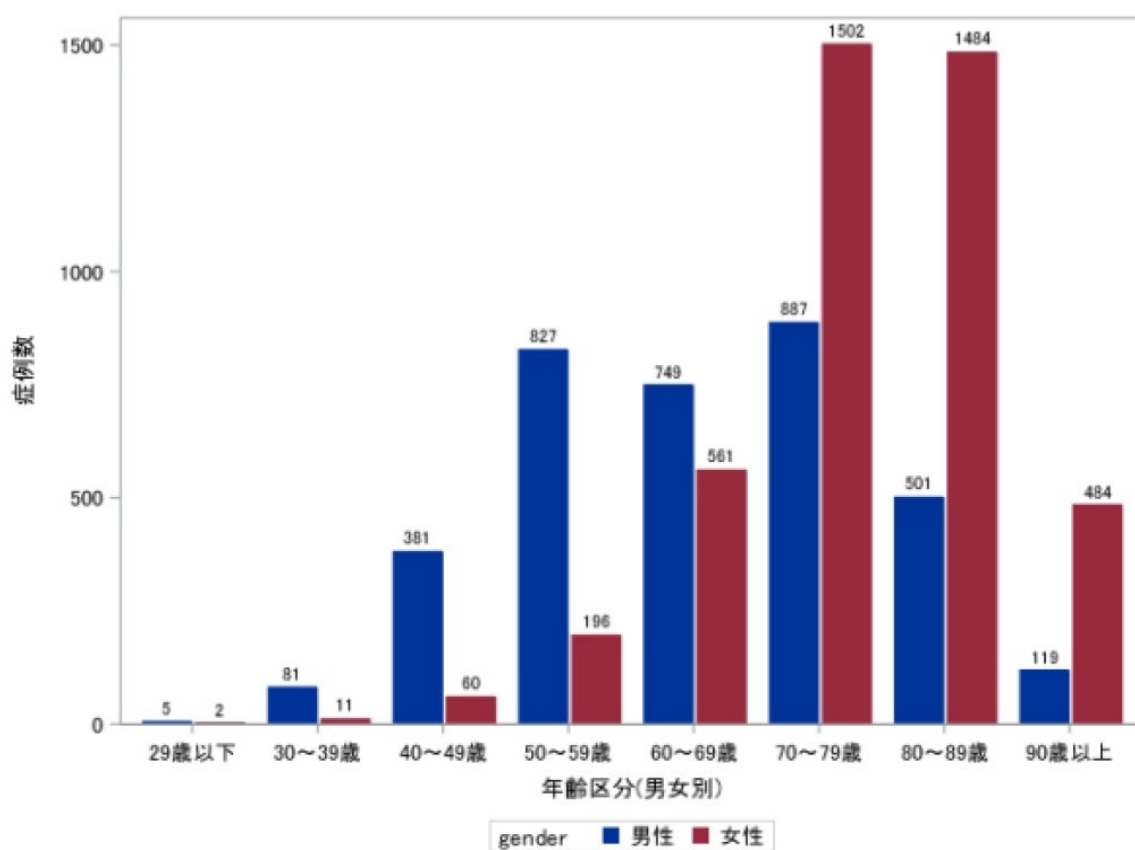
点線: 全施設平均 9.128 症例



症例数－11 急性大動脈解離_A型の症例数_病床区分別



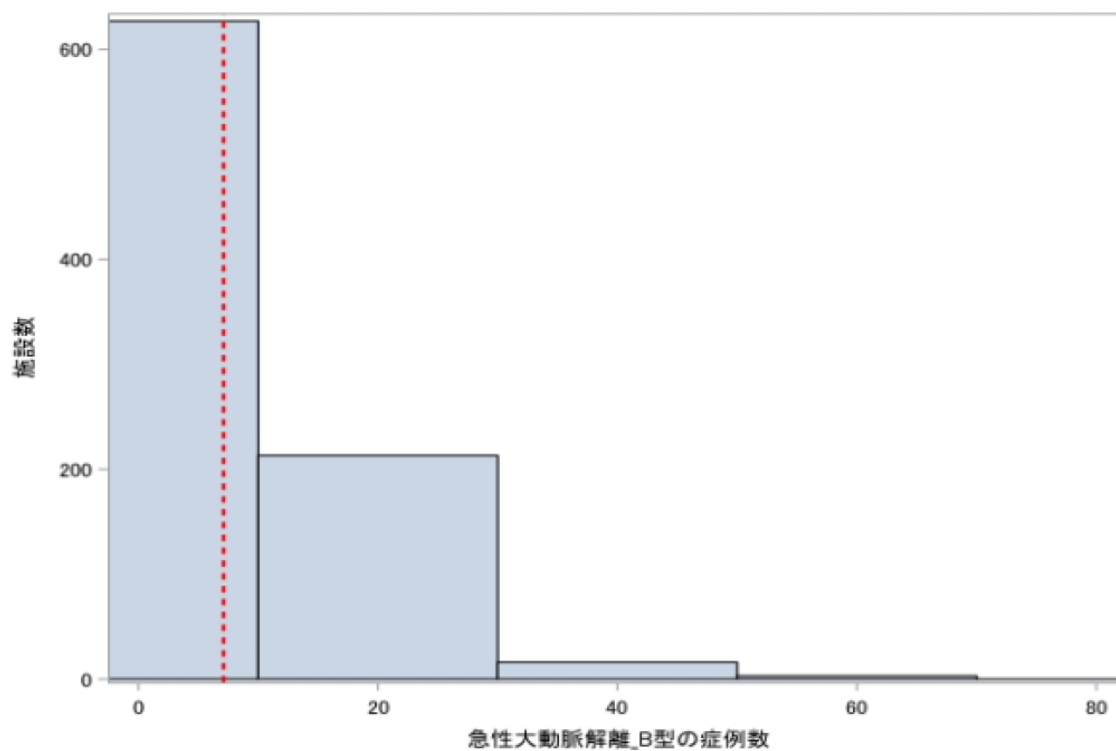
症例数－11 急性大動脈解離_A型の症例数_年齢区分(男女別)



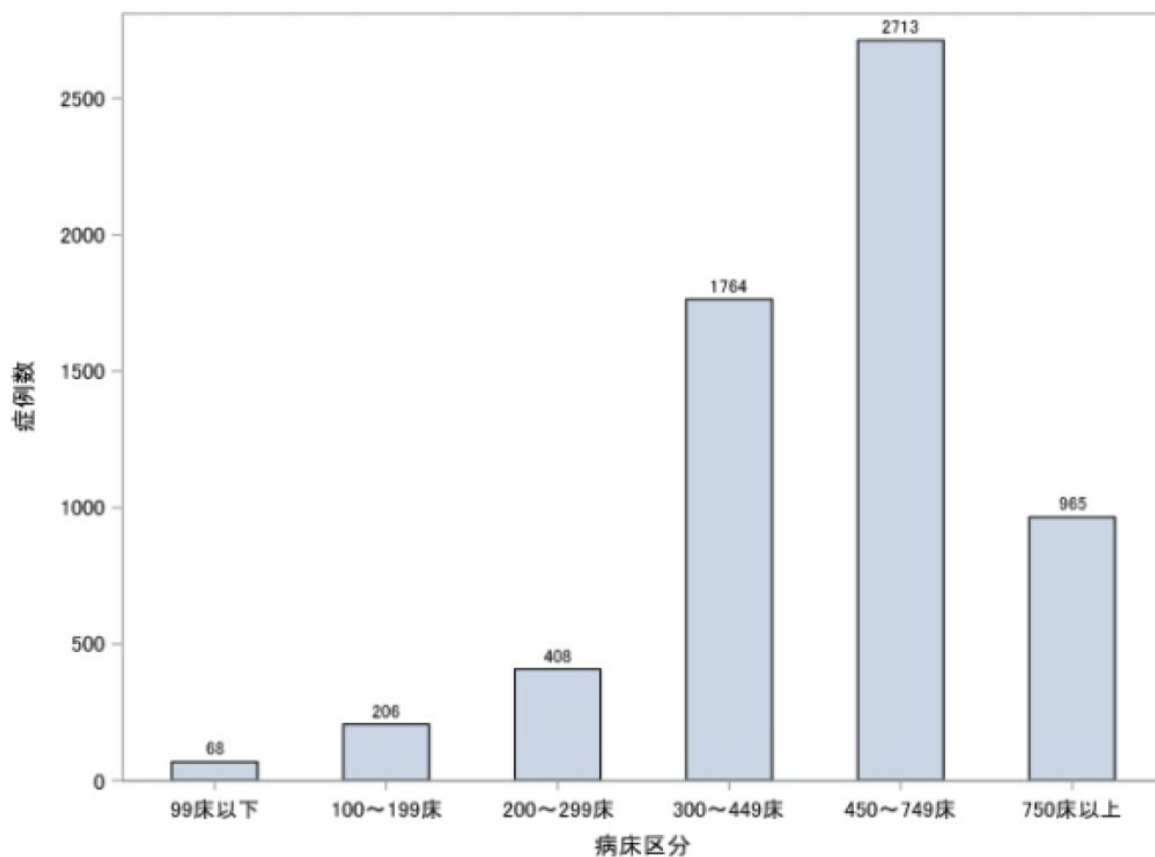
症例数－12 急性大動脈解離_B型の症例数

全症例数: 6,124 症例

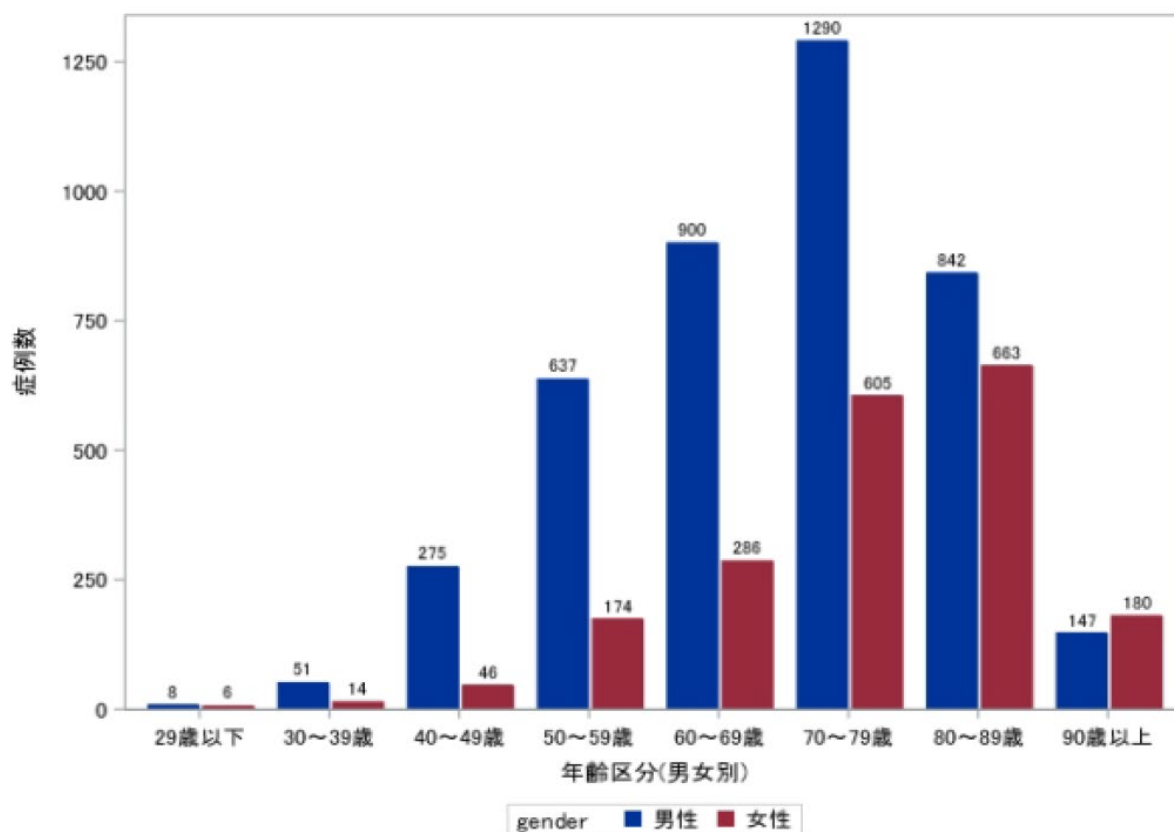
点線: 全施設平均 7.121 症例



症例数－12 急性大動脈解離_B型の症例数_病床区分別



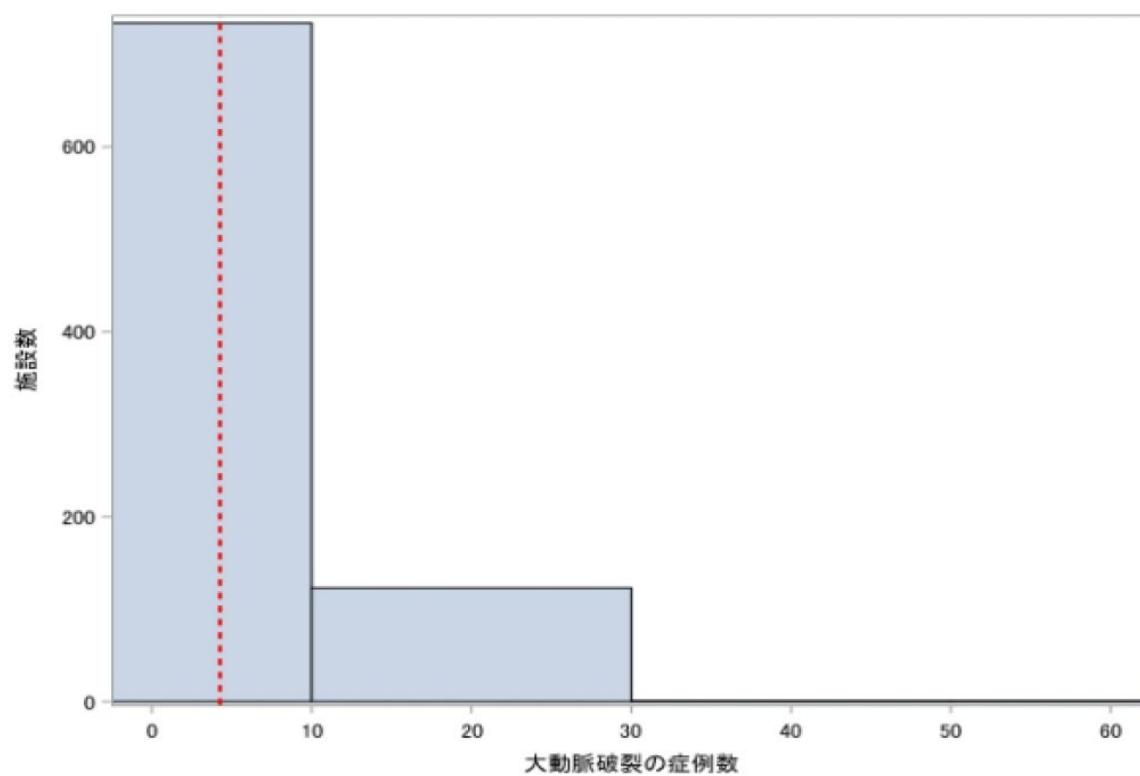
症例数－12 急性大動脈解離_B型の症例数_年齢区分(男女別)



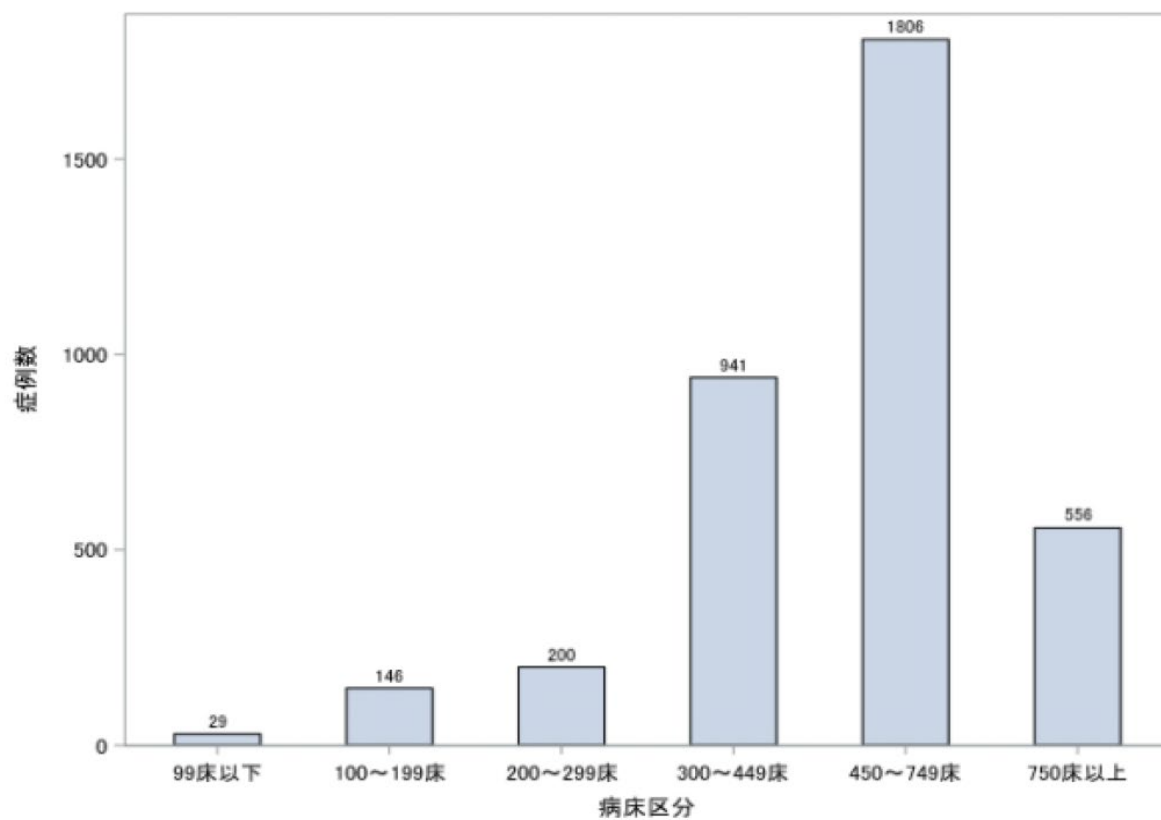
症例数－13 大動脈破裂の症例数

全症例数: 3,678 症例

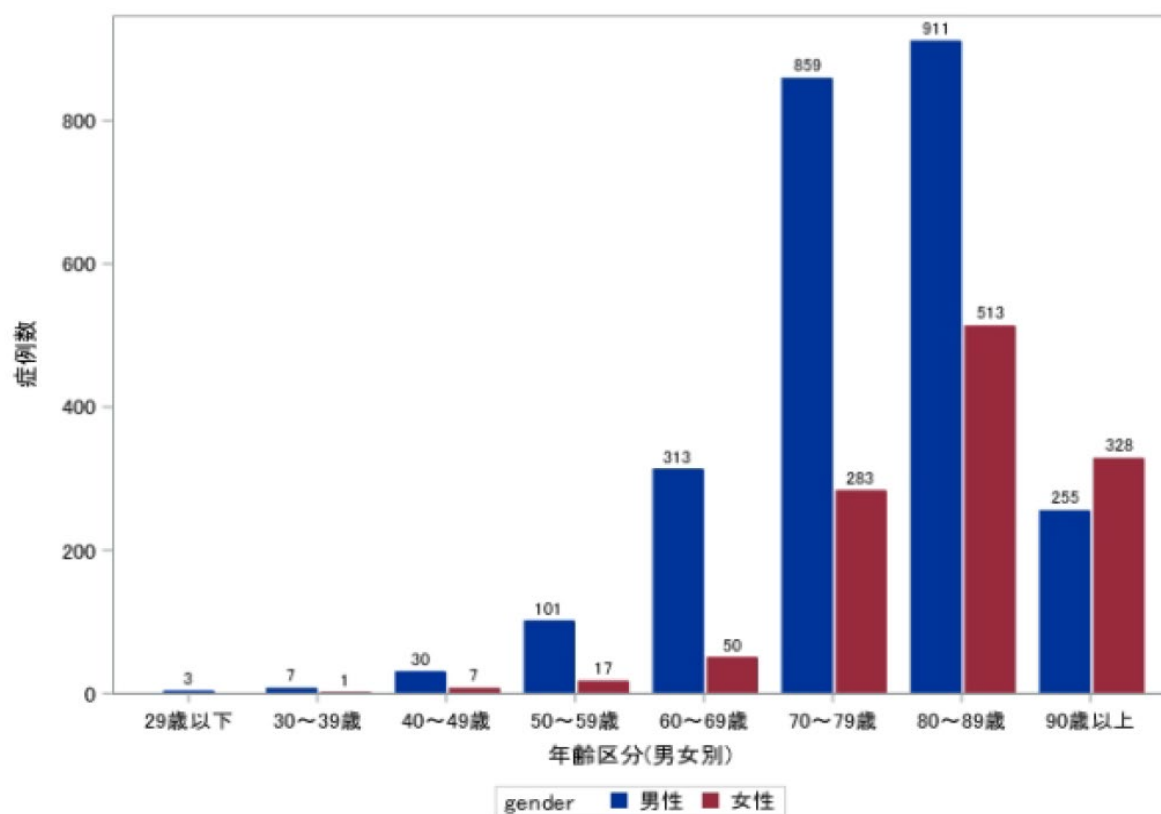
点線: 全施設平均 4.277 症例



症例数－13 大動脈破裂の症例数_病床区分別



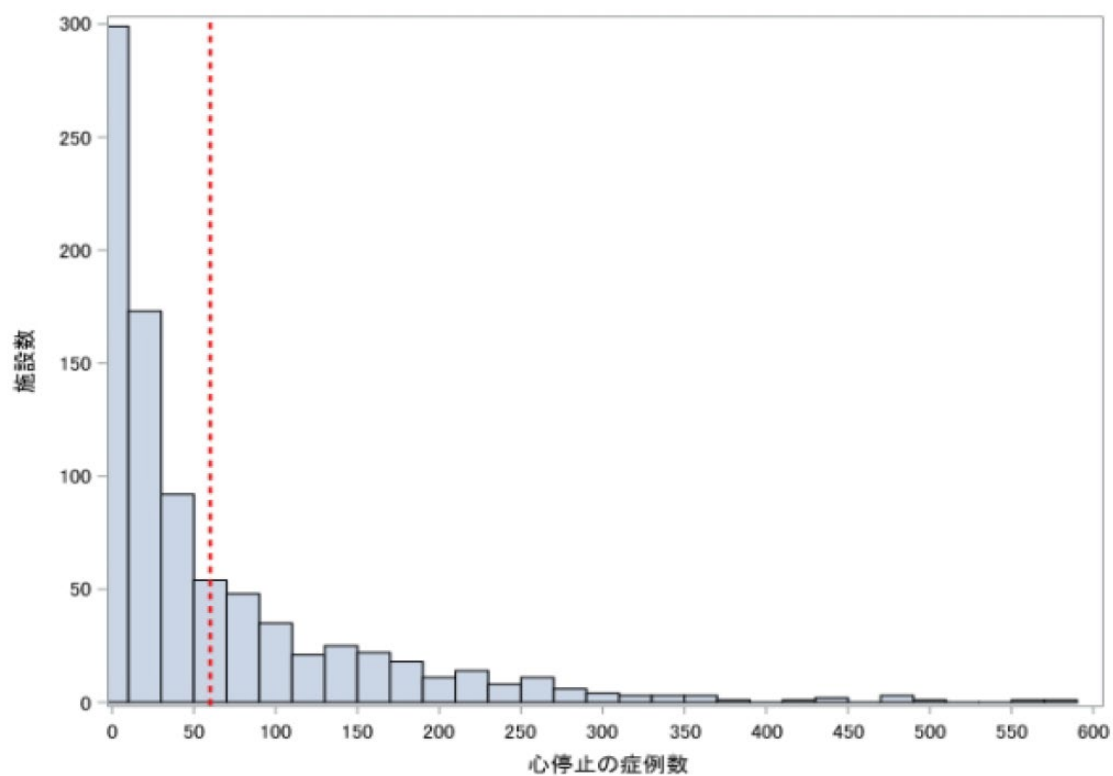
症例数－13 大動脈破裂の症例数_年齢区分(男女別)



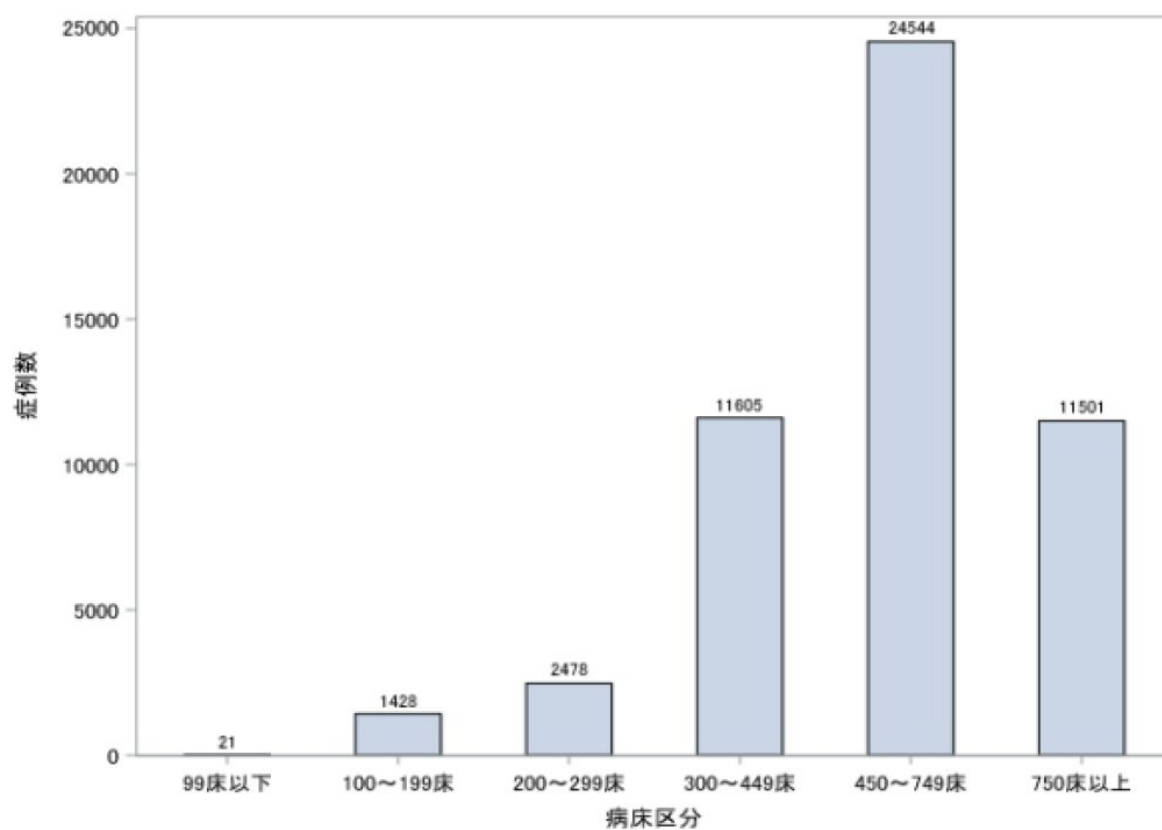
症例数－14 心停止の症例数

全症例数: 51,577 症例

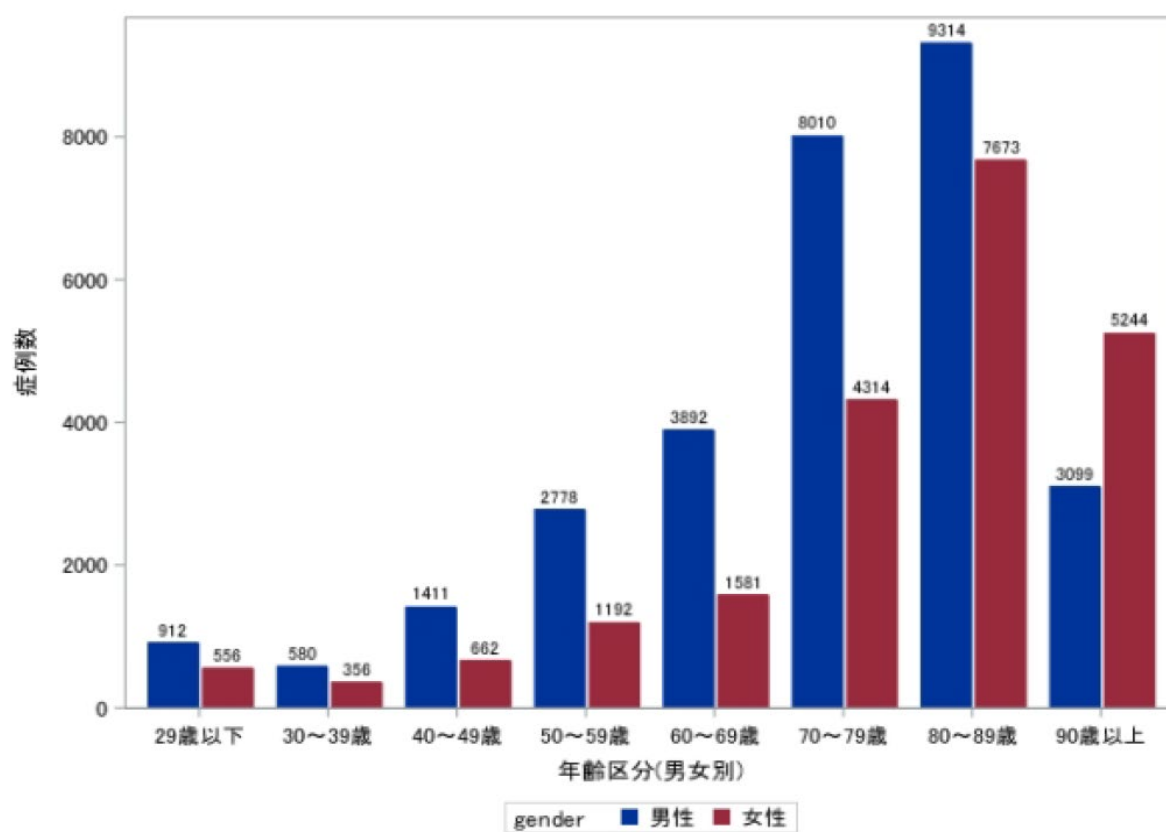
点線: 全施設平均 59.97 症例



症例数－14 心停止の症例数_病床区分別



症例数－14 心停止の症例数_年齢区分(男女別)

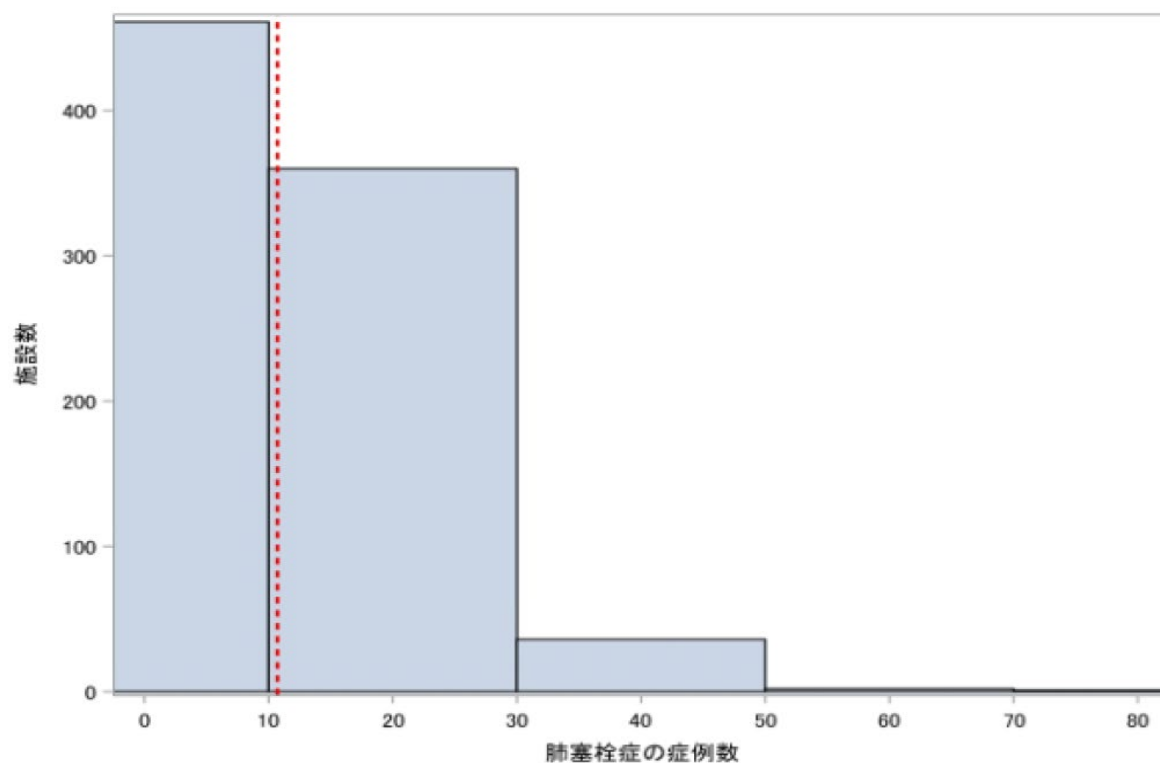


循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

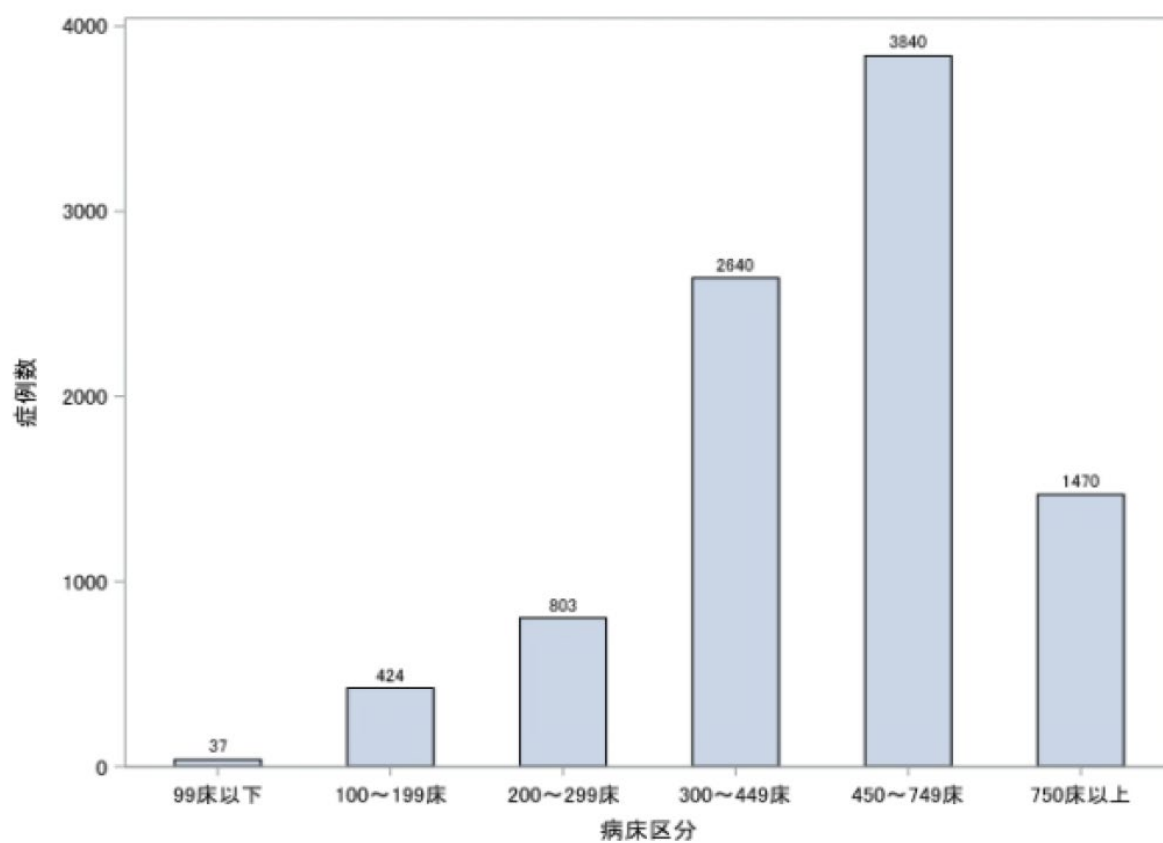
症例数－15 肺塞栓症の症例数

全症例数: 9,214 症例

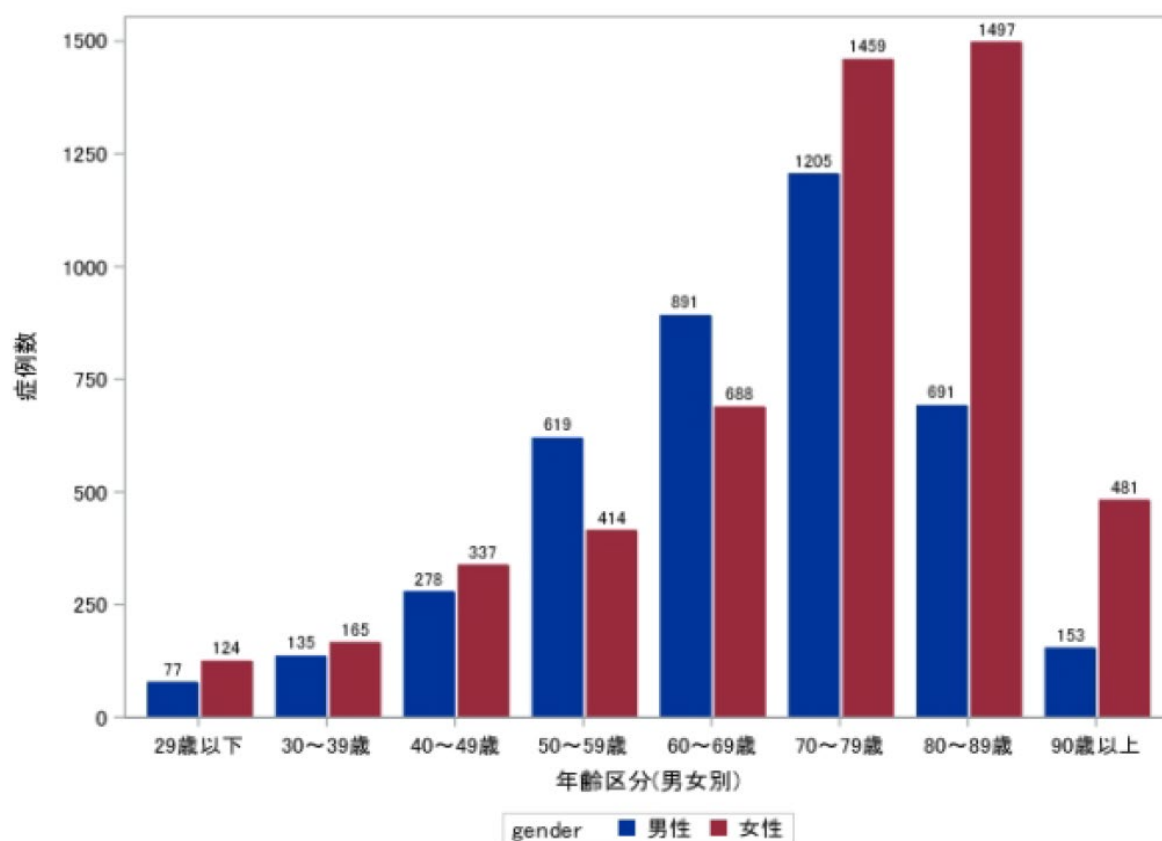
点線: 全施設平均 10.71 症例



症例数－15 肺塞栓症の症例数_病床区分別



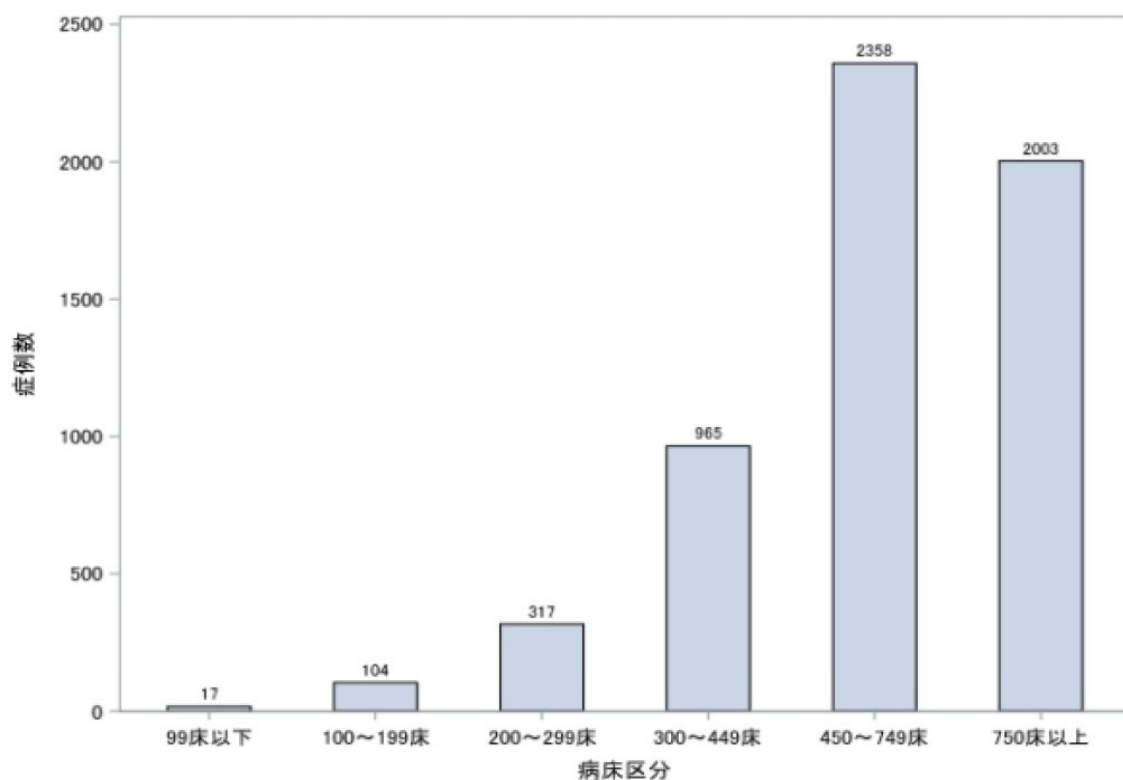
症例数－15 肺塞栓症の症例数_年齢区分(男女別)



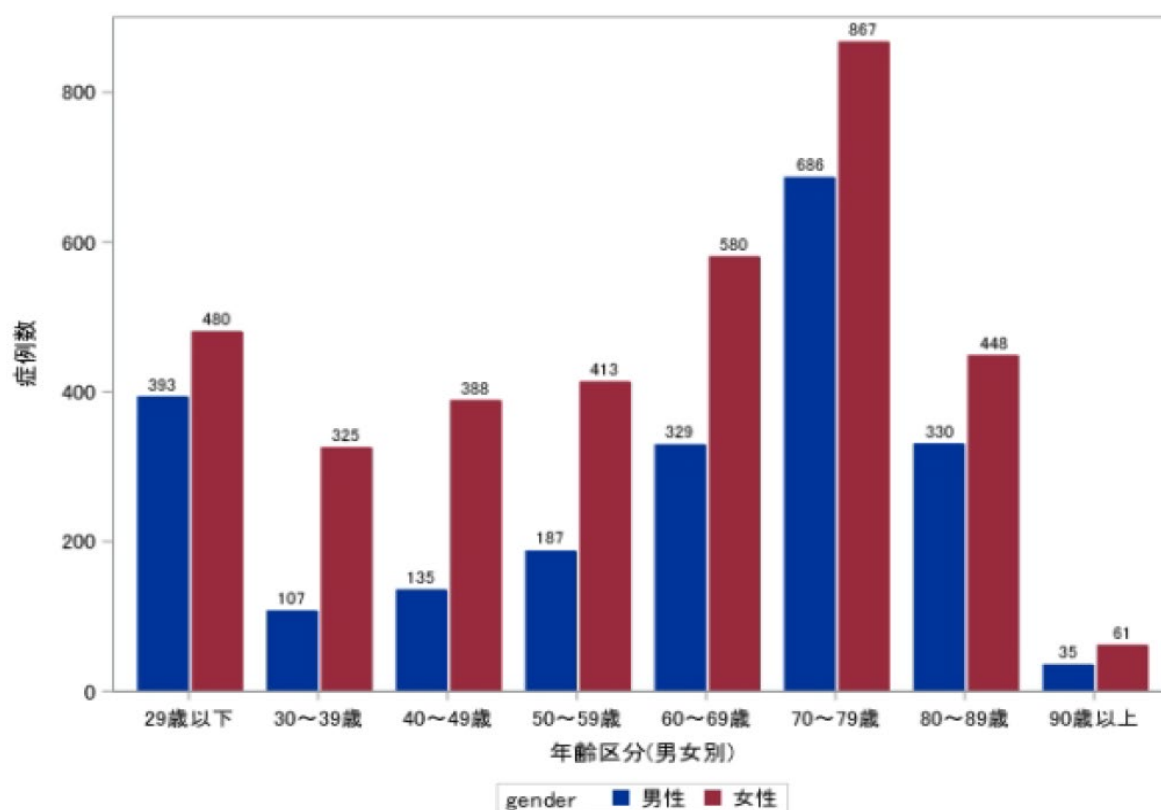
症例数－16 原発性肺高血圧の症例数_病床区分別

全症例数: 5,764 症例

全施設平均 6.702 症例



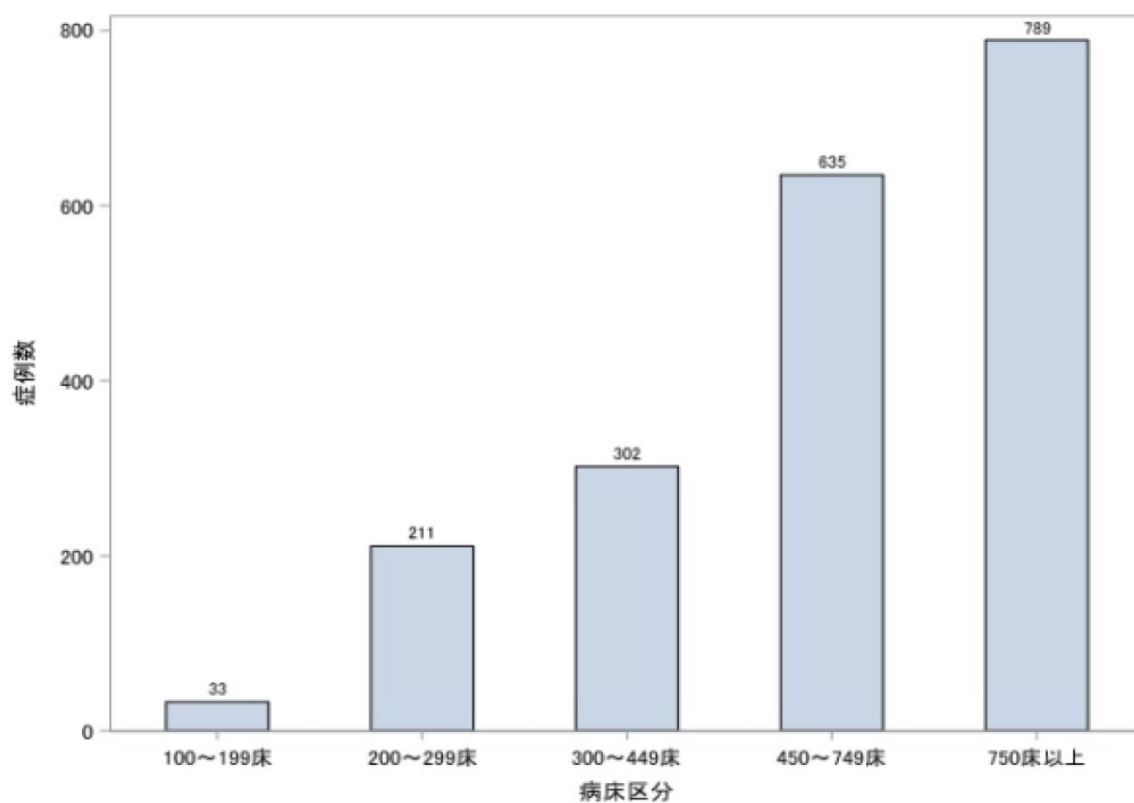
症例数－16 原発性肺高血圧の症例数_年齢区分(男女別)



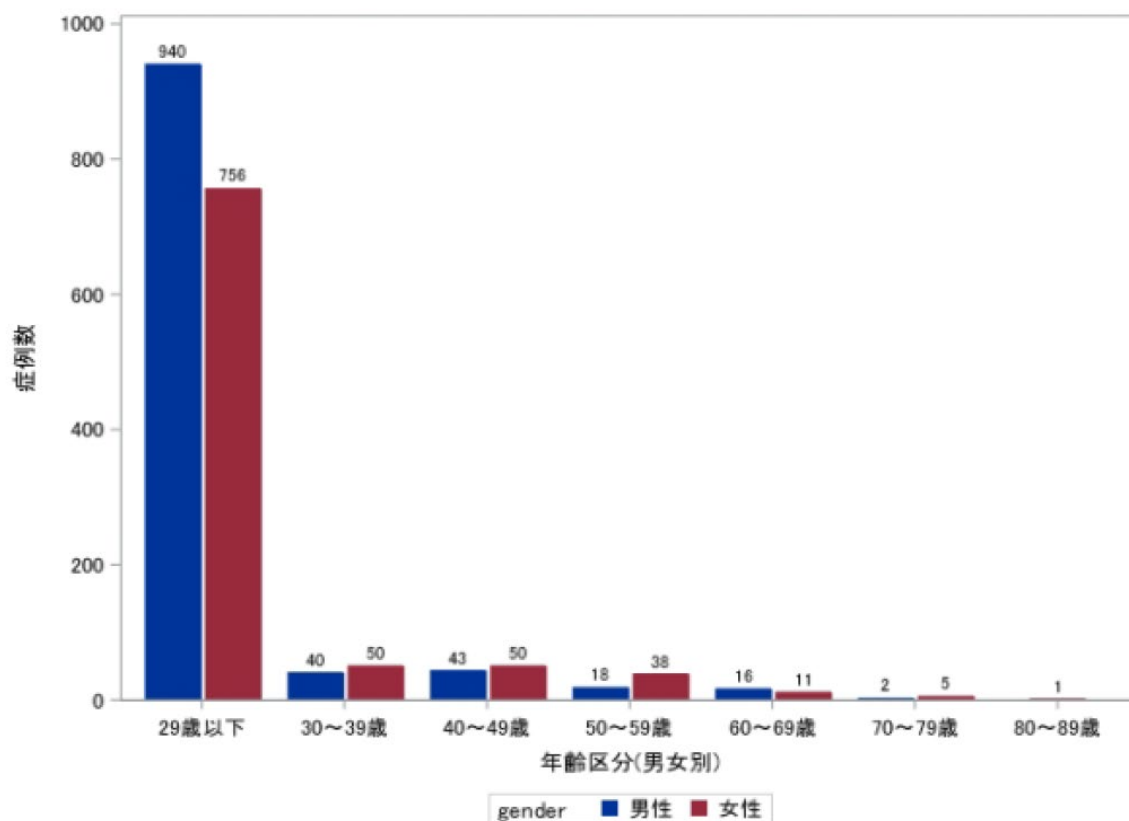
症例数－17 ファロー四徴症の症例数_病床区分別

全症例数: 1,970 症例

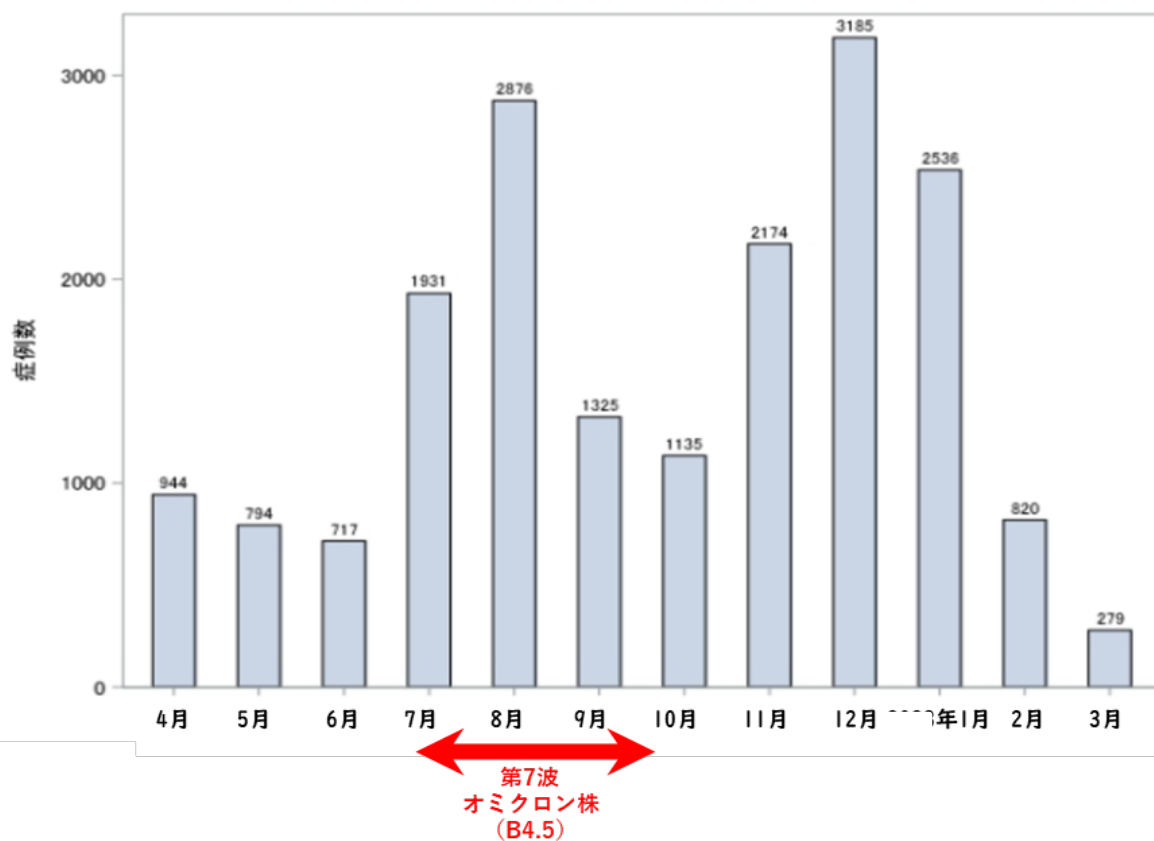
全施設平均 2.291 症例

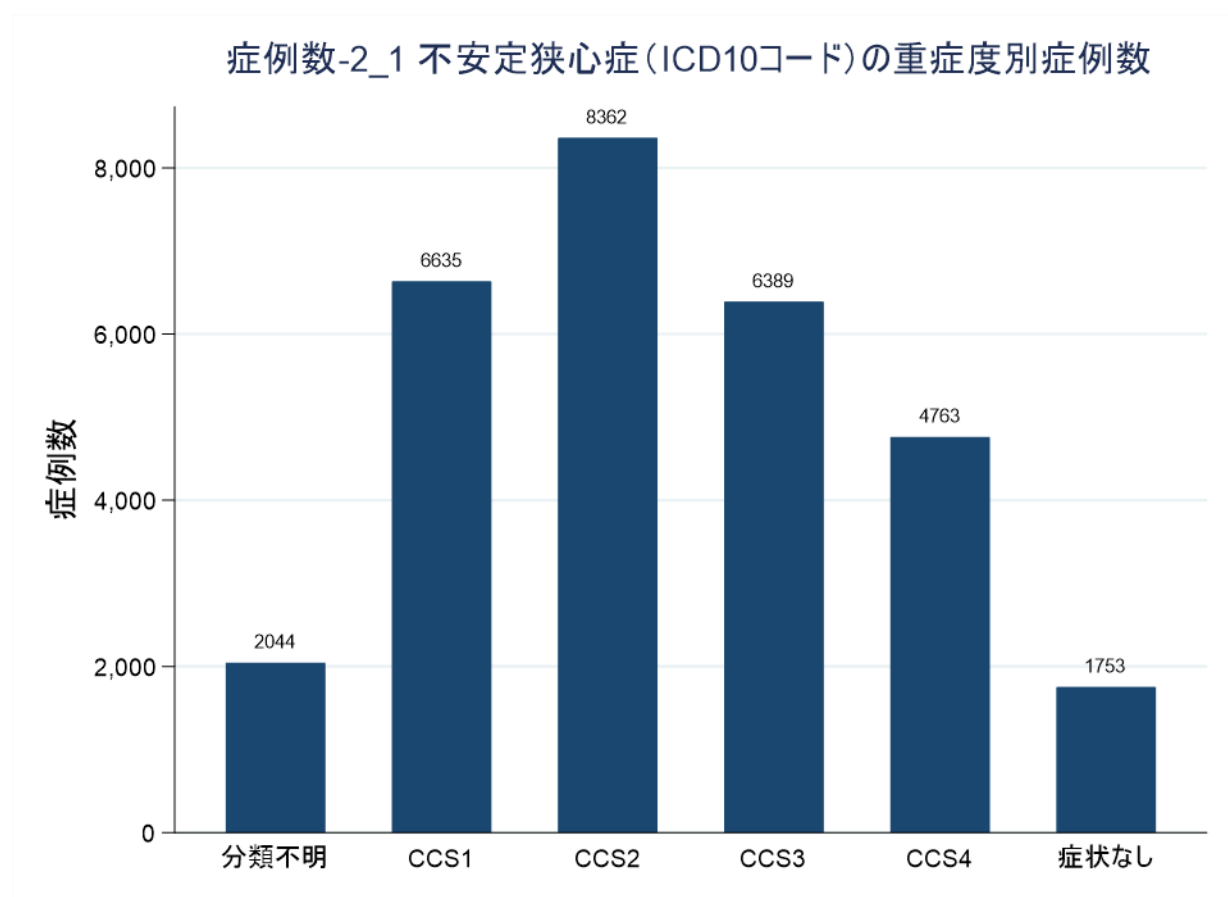
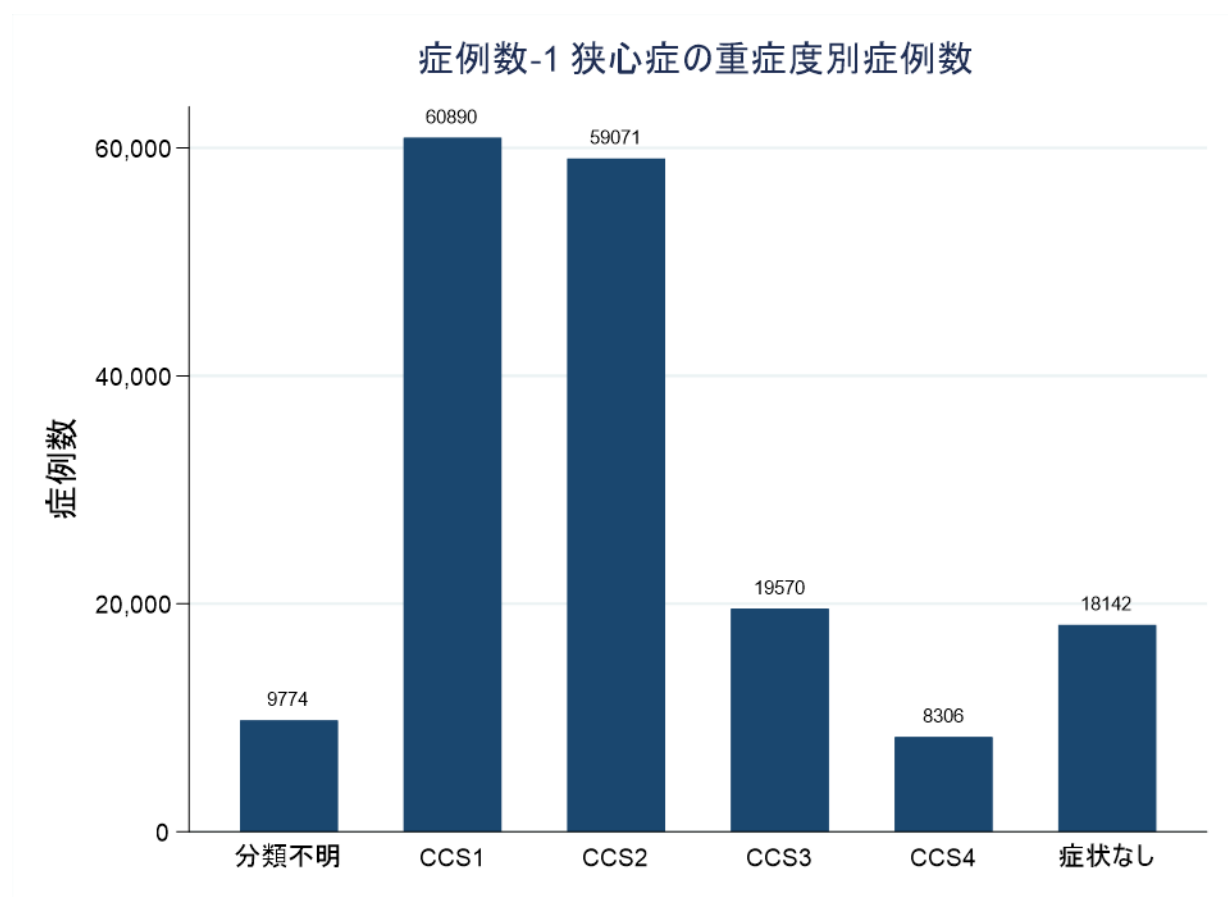


症例数－17 ファロー四徴症の症例数_年齢区分(男女別)

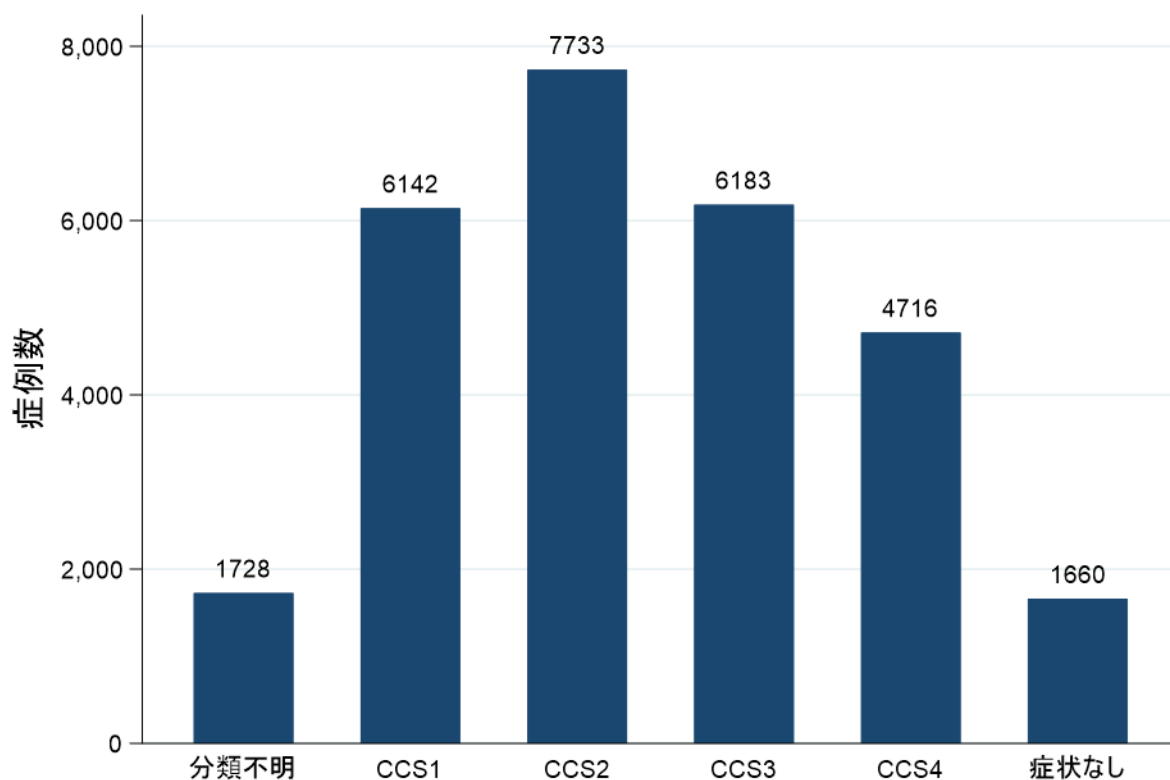


症例数－18 COVID19の合併症例数

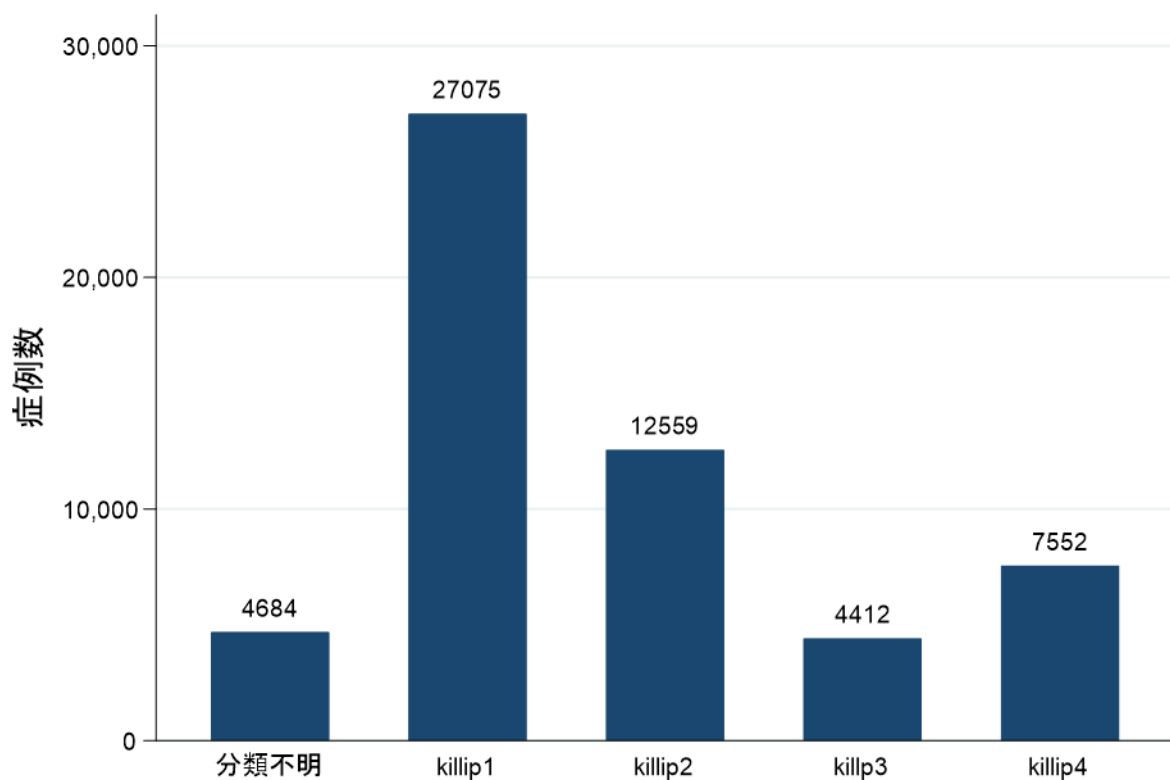


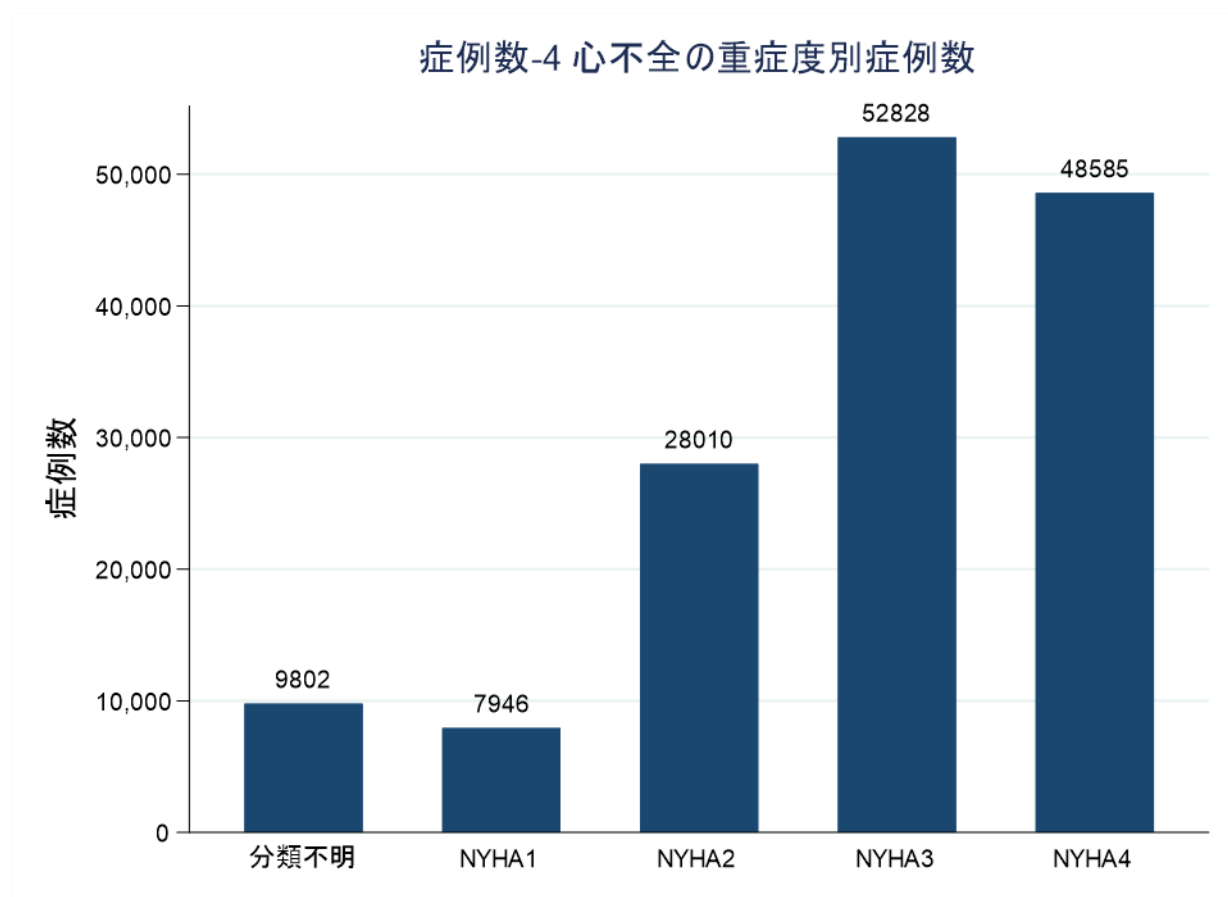


症例数-2_2 不安定狭心症(DXコード)の重症度別症例数



症例数-3 急性心筋梗塞の重症度別症例数



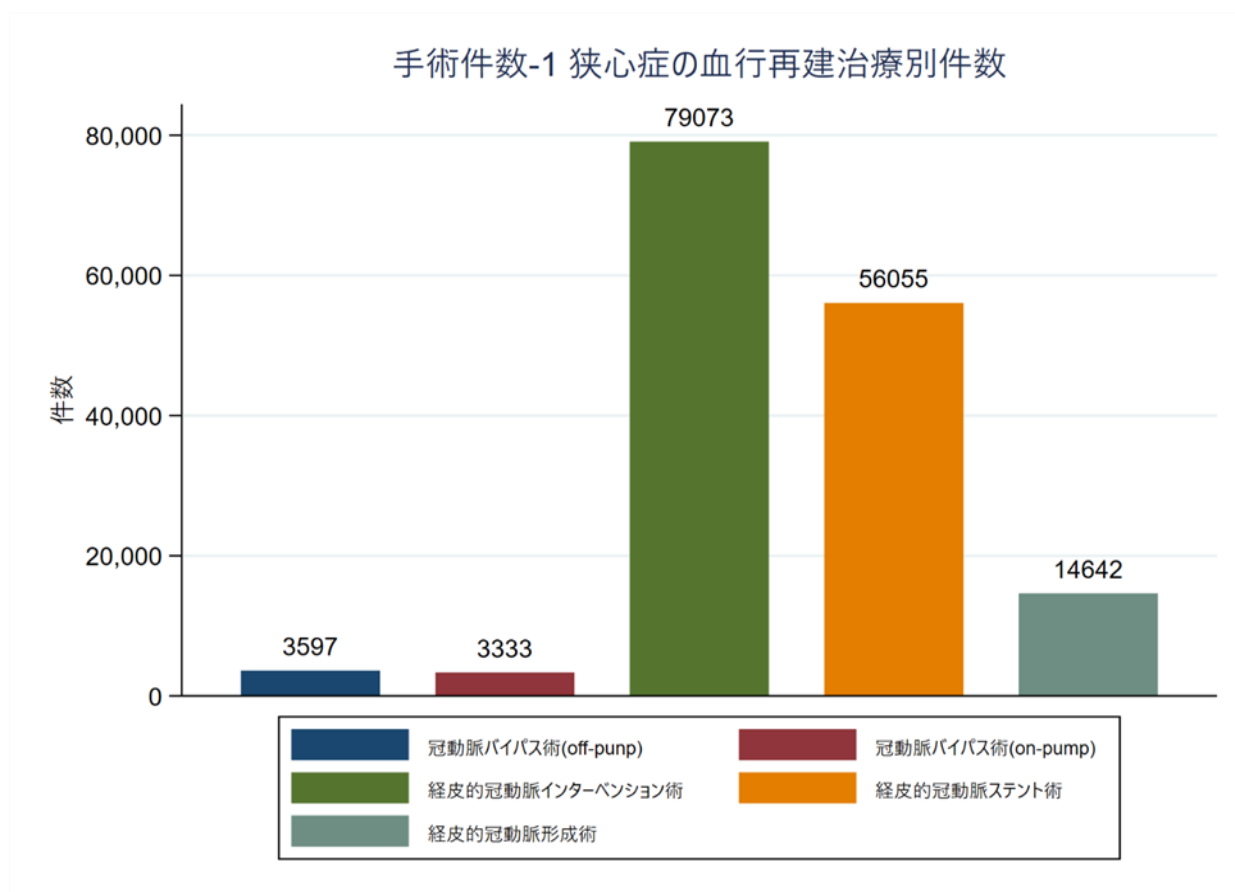


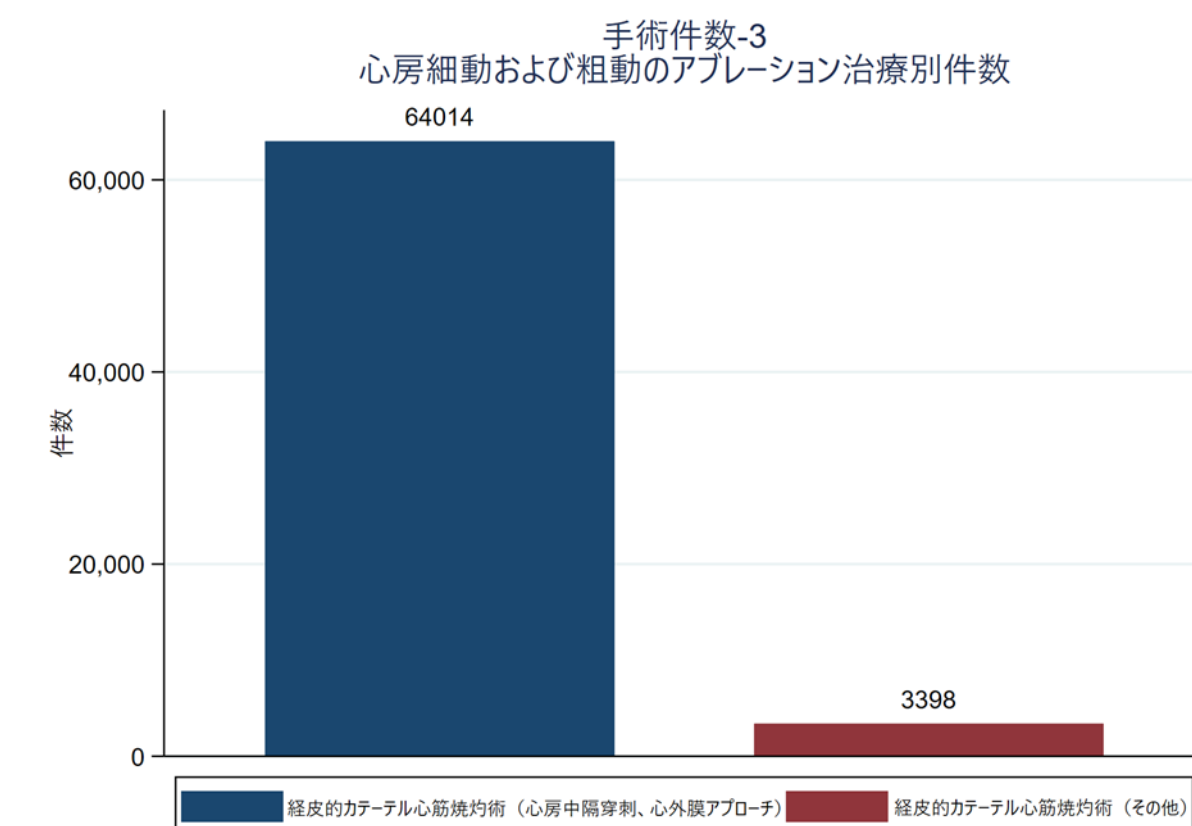
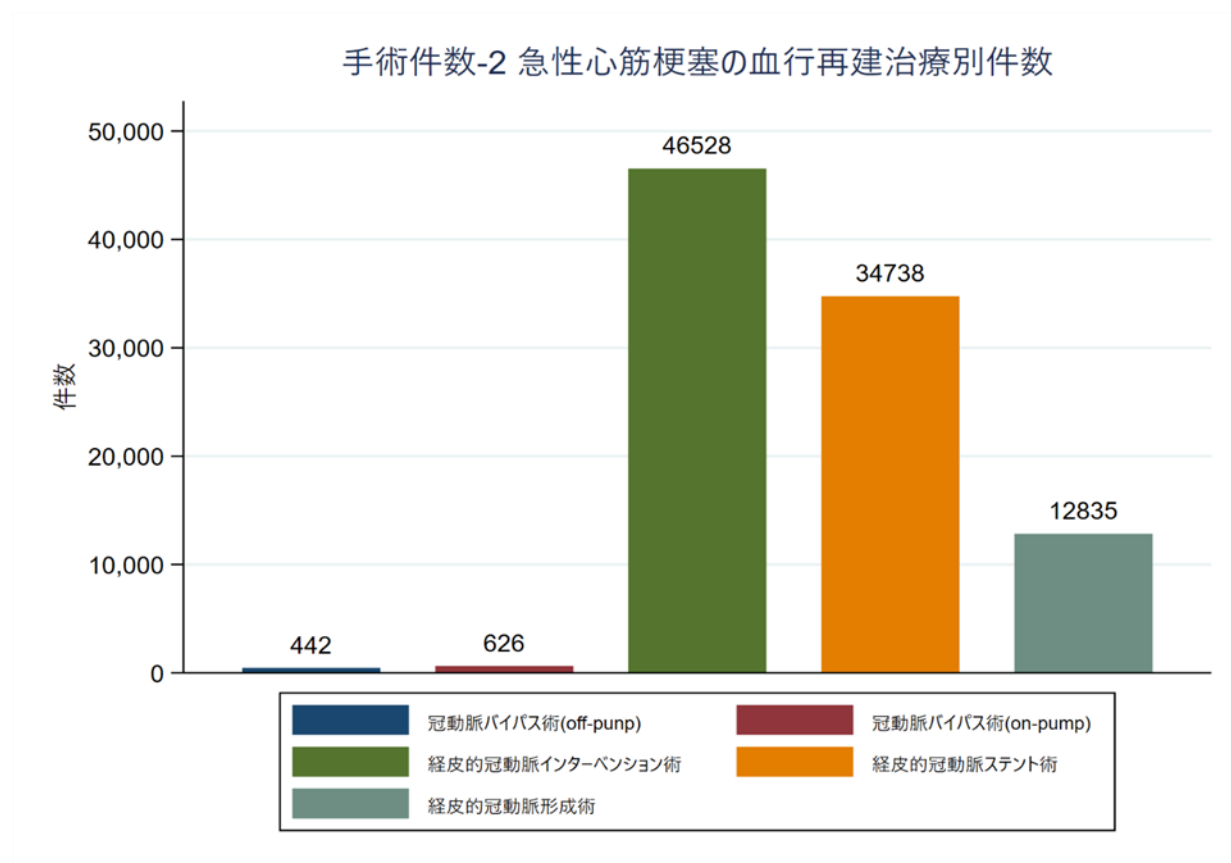
6.4 治療別件数

分析項目	項目 No.	層別	分類	2022 年度_値
狭心症 手術件数	手術件数-1	手術別	手術件数 経皮的冠動脈インターベンション	79,073
			手術件数 経皮的冠動脈形成術	14,642
			手術件数 経皮的冠動脈ステント留置術	56,055
			手術件数 on pump	3,333
			手術件数 off pump	3,597
急性心筋梗塞 手術件数	手術件数-2	手術別	手術件数 経皮的冠動脈インターベンション/ 経皮的冠動脈形成・ステント留置術	46,528
			手術件数 経皮的冠動脈形成術/経皮的冠動脈形成置術	12,835
			手術件数 経皮的冠動脈ステント留置術/経皮的冠動脈 ステント留置術	34,738
			手術件数 on pump	626
			手術件数 off pump	442
心房細動およ び粗動 手術件数	手術件数-3	手術別	手術件数 経皮的カテーテル心筋焼灼術（心房中隔穿 刺、心外膜アプローチ）	64,014
			手術件数 経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）	3,398
心房細動 手術件数	手術件数-4	手術別	手術件数 経皮的カテーテル心筋焼灼術（心房中隔穿 刺、心外膜アプローチ）	63,195

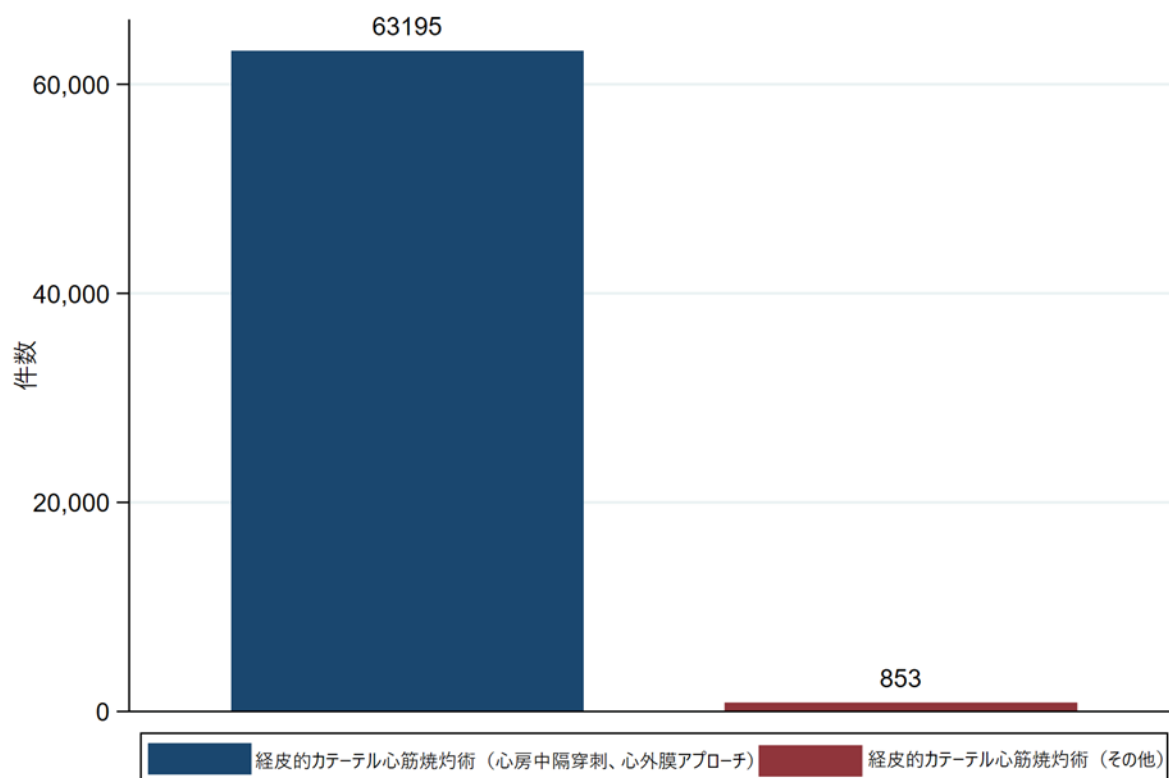
循環器疾患診療実態調査（JROAD_DPC）

			手術件数 経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）	853
心不全 手術件数	手術件数-5	手術別	手術件数 両心室ペースメーカー移植術	660
			手術件数 両心室ペースメーカー交換術	78
			手術件数 両室ペースング機能付き植込型除細動器移植術	1,008
			手術件数 両室ペースング機能付き植込型除細動器交換術	159
急性大動脈解離 手術件数	手術件数-6	手術別	手術件数 大動脈瘤切除術	3,753
			手術件数 スtentグラフト内挿手術	761
			手術件数 オープン型stentグラフト内挿手術	1,140

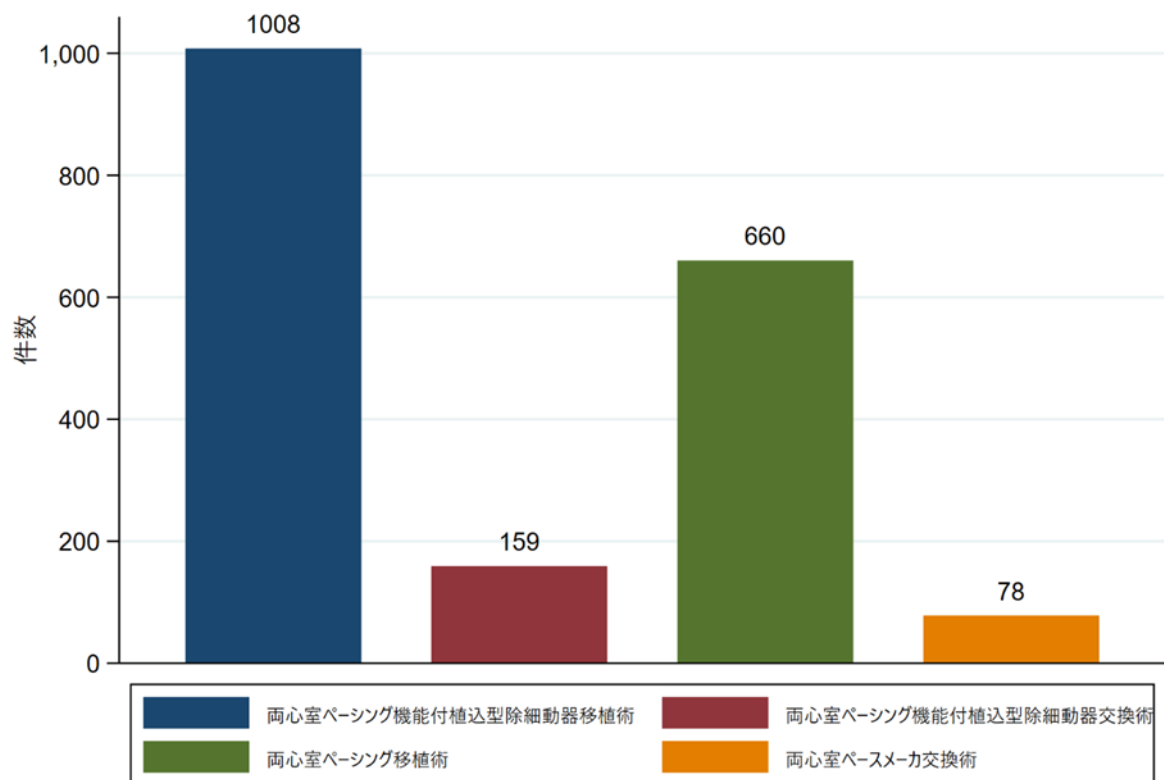


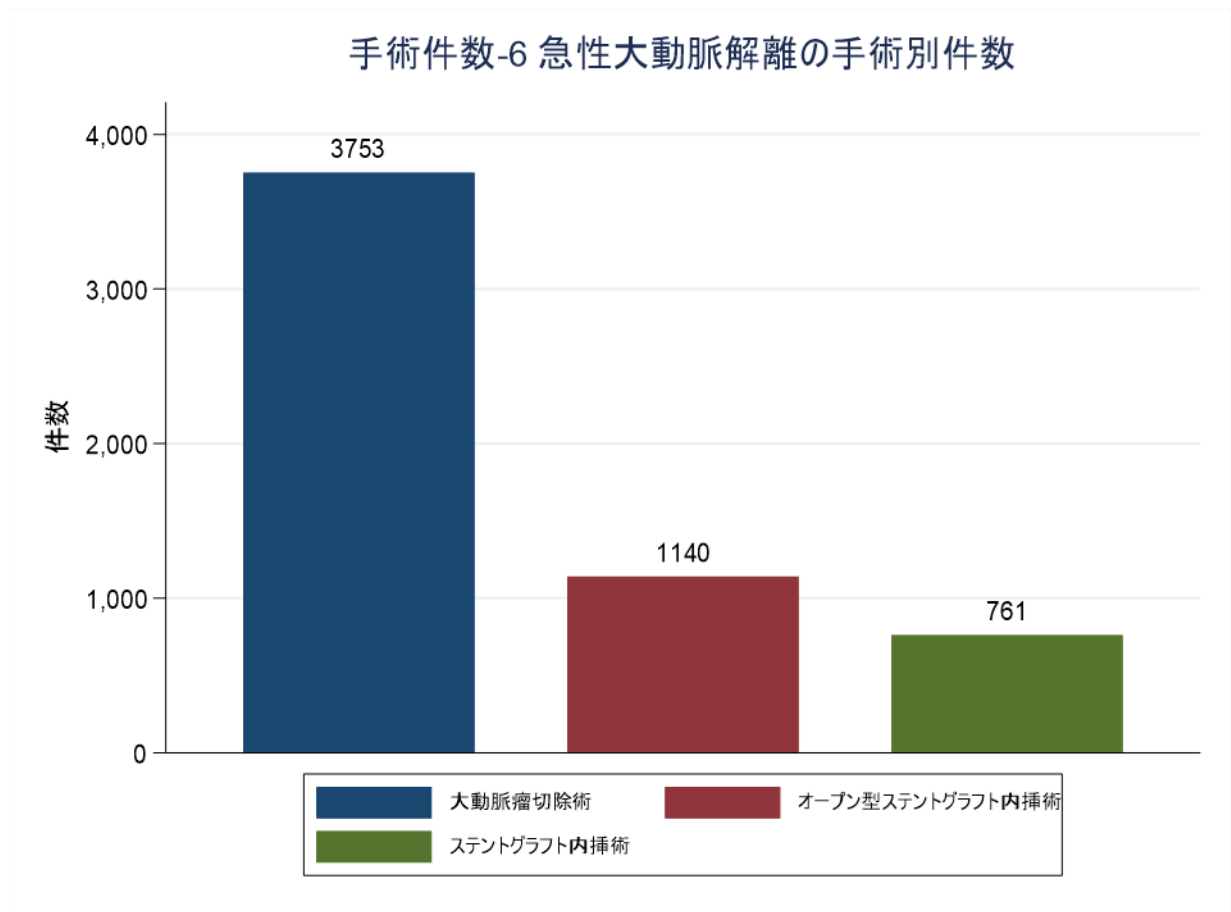


手術件数-4 心房細動のアブレーション治療別件数

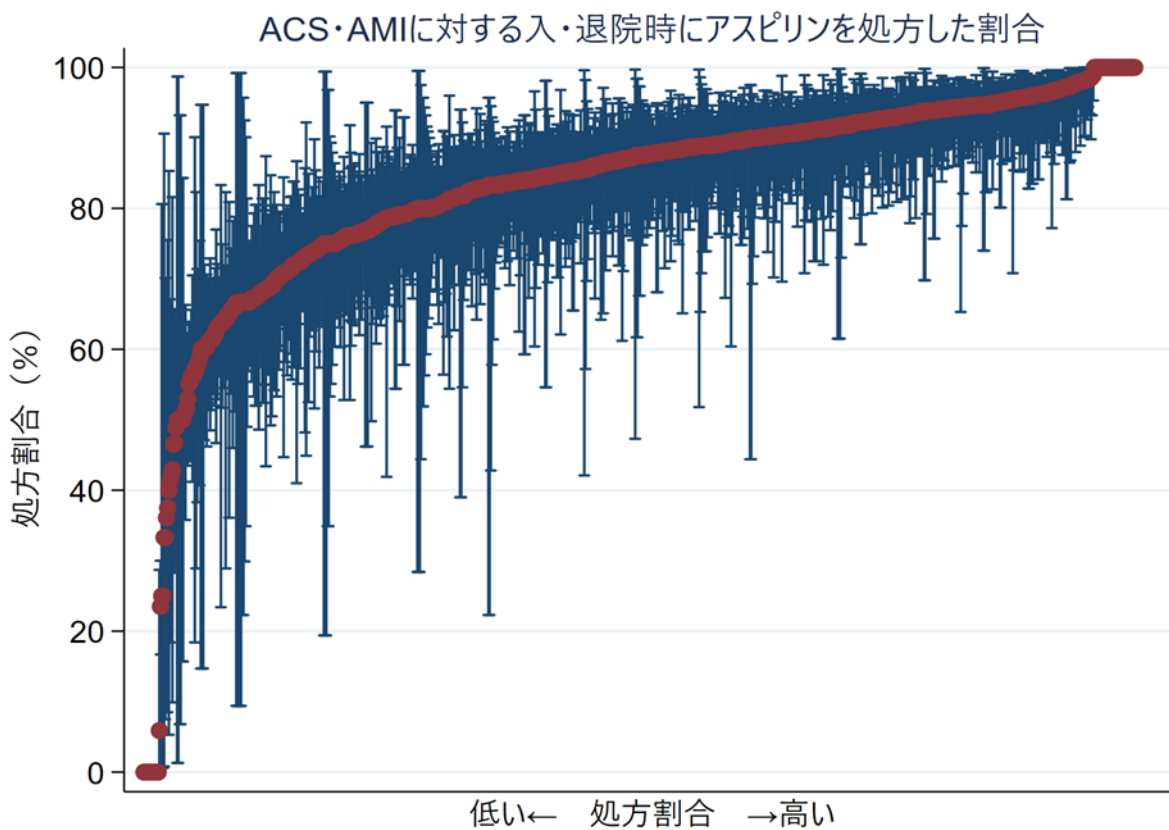
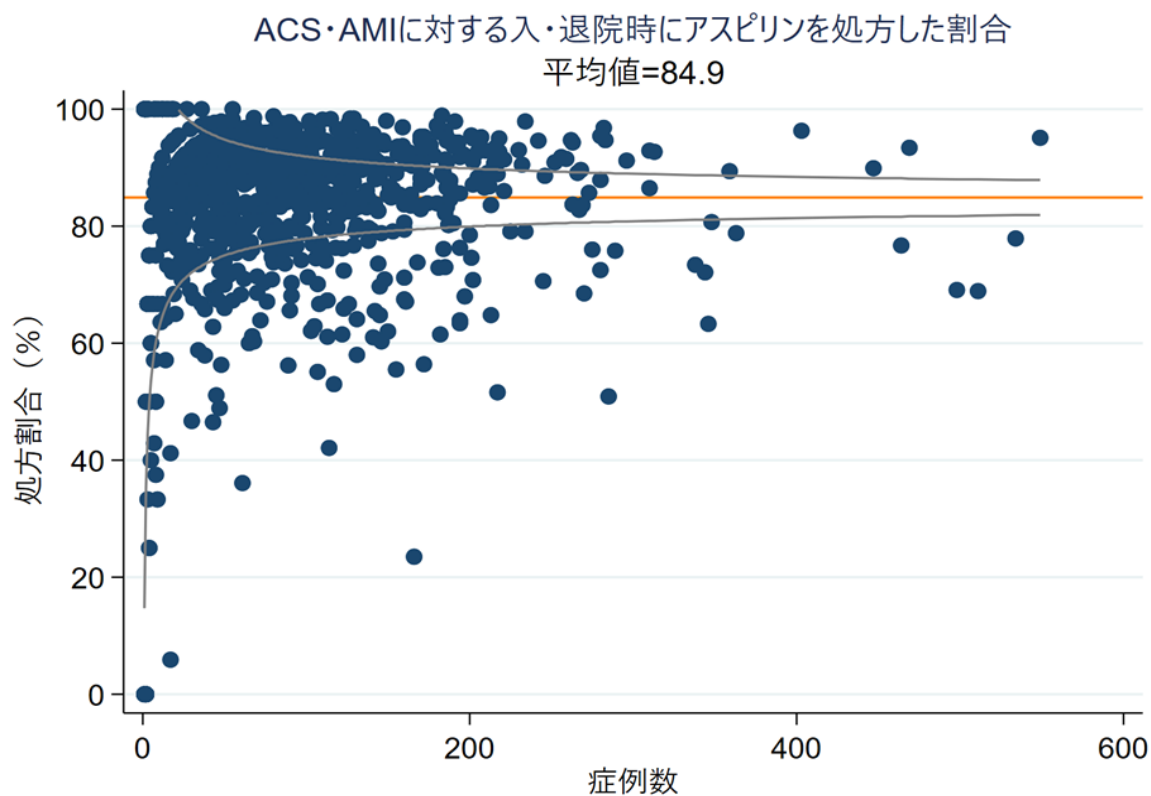


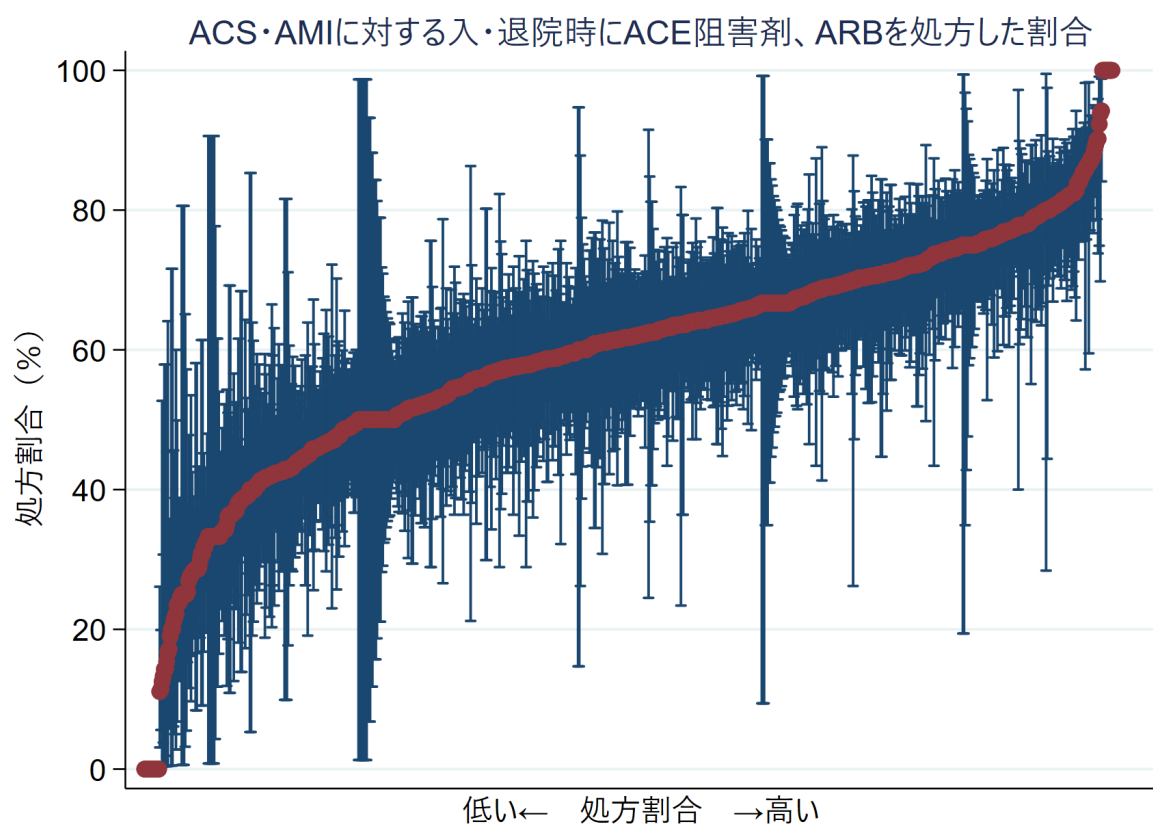
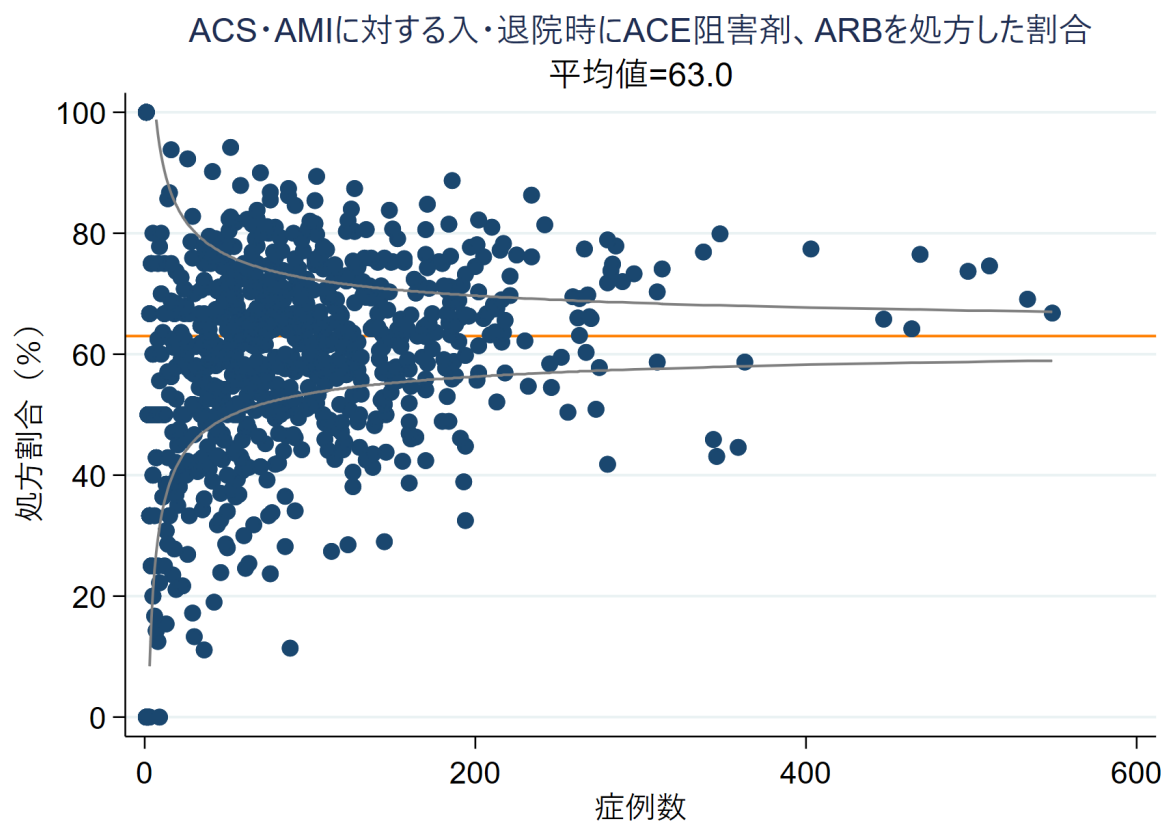
手術件数-5 心不全のデバイス治療別件数

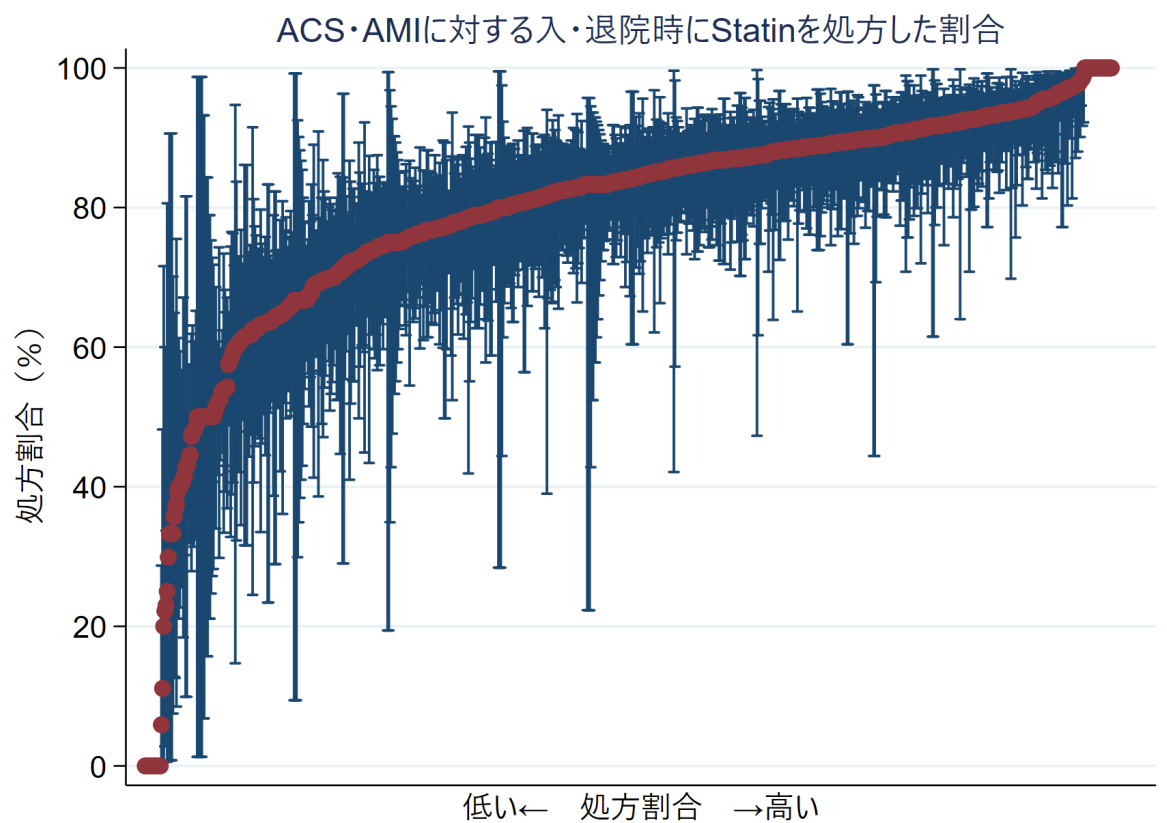
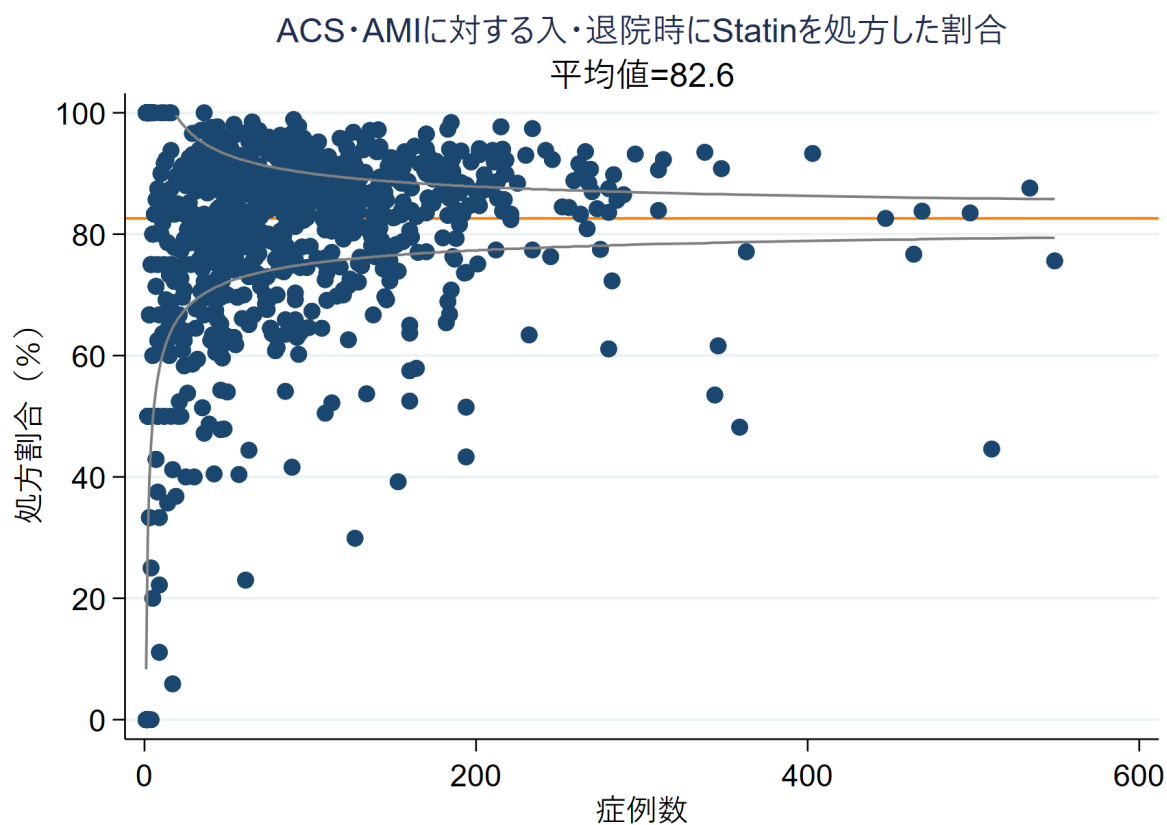


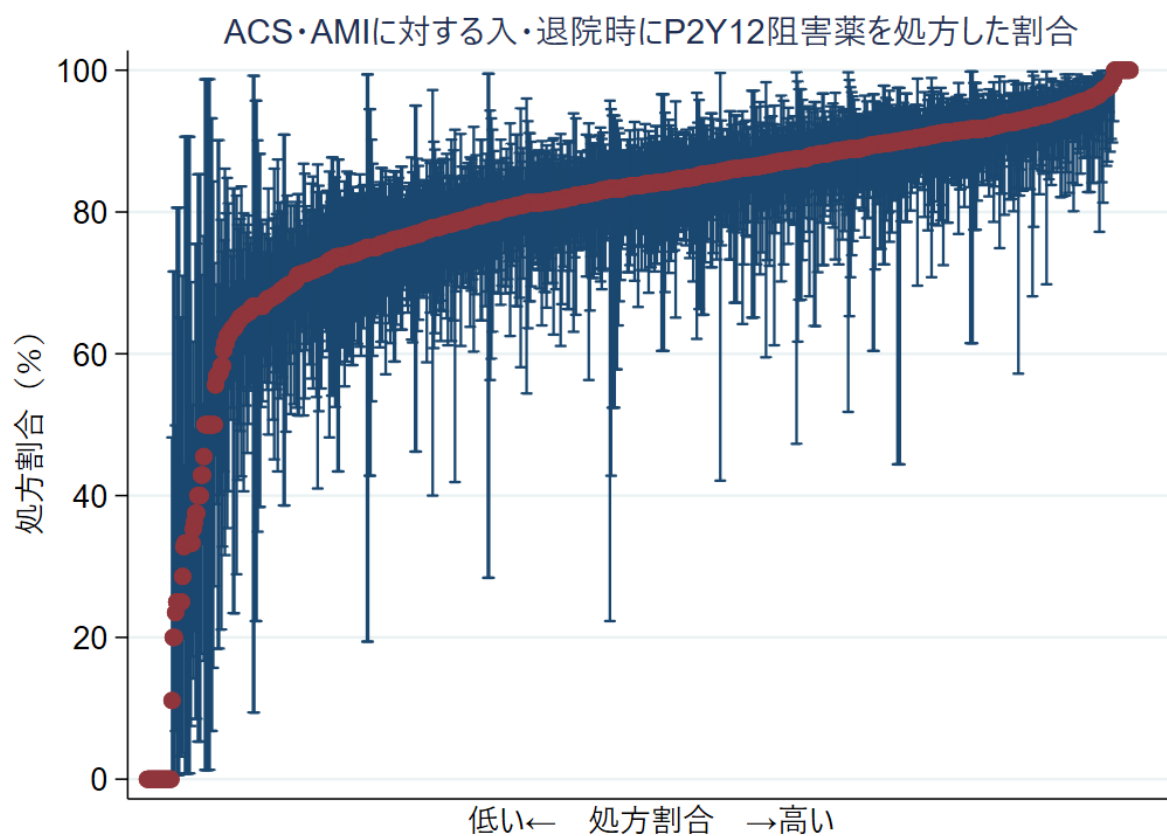
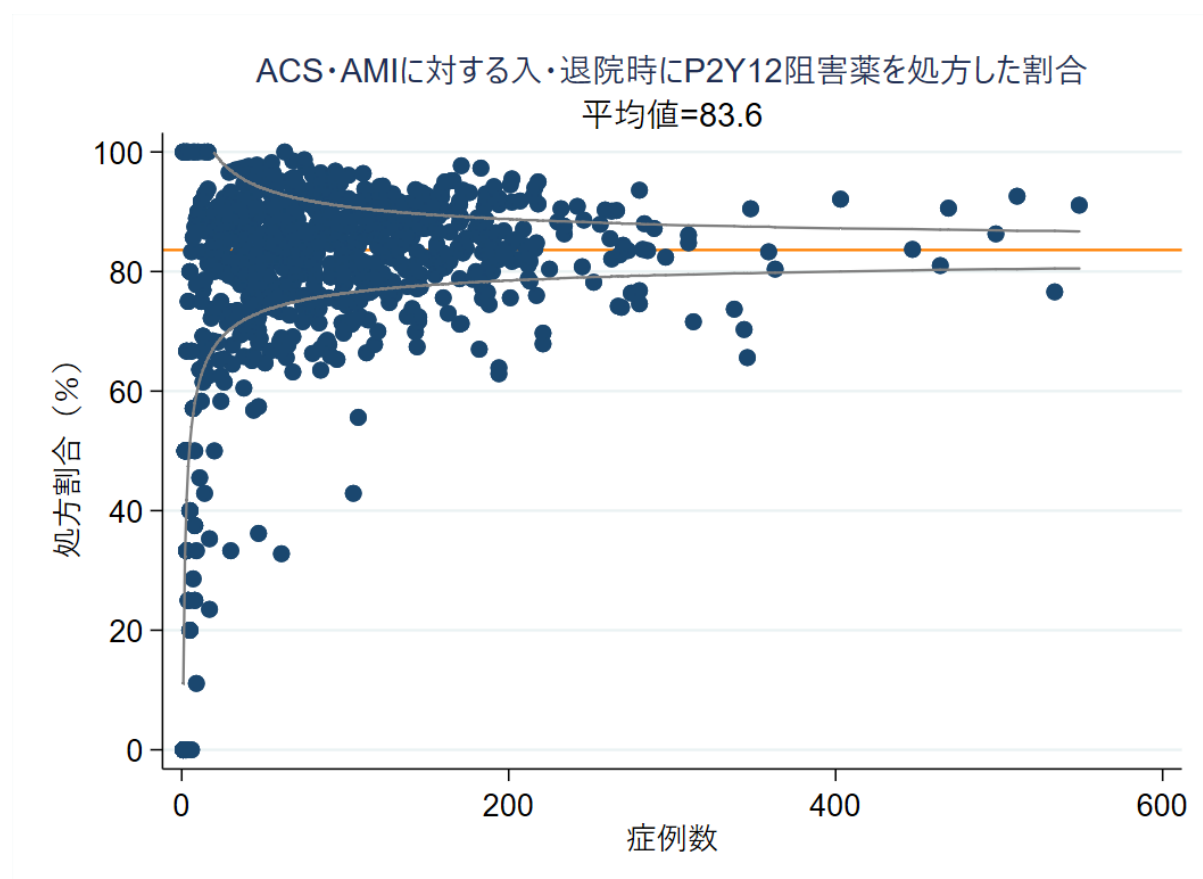


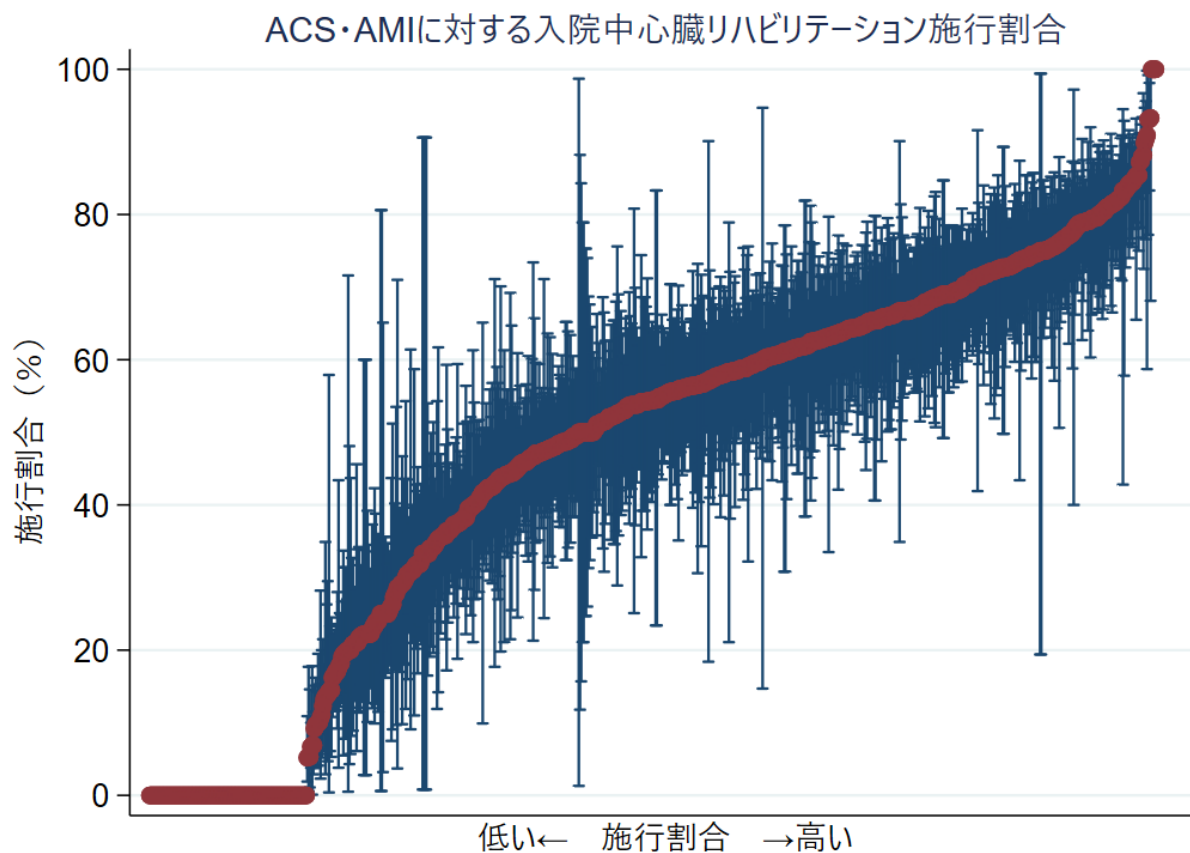
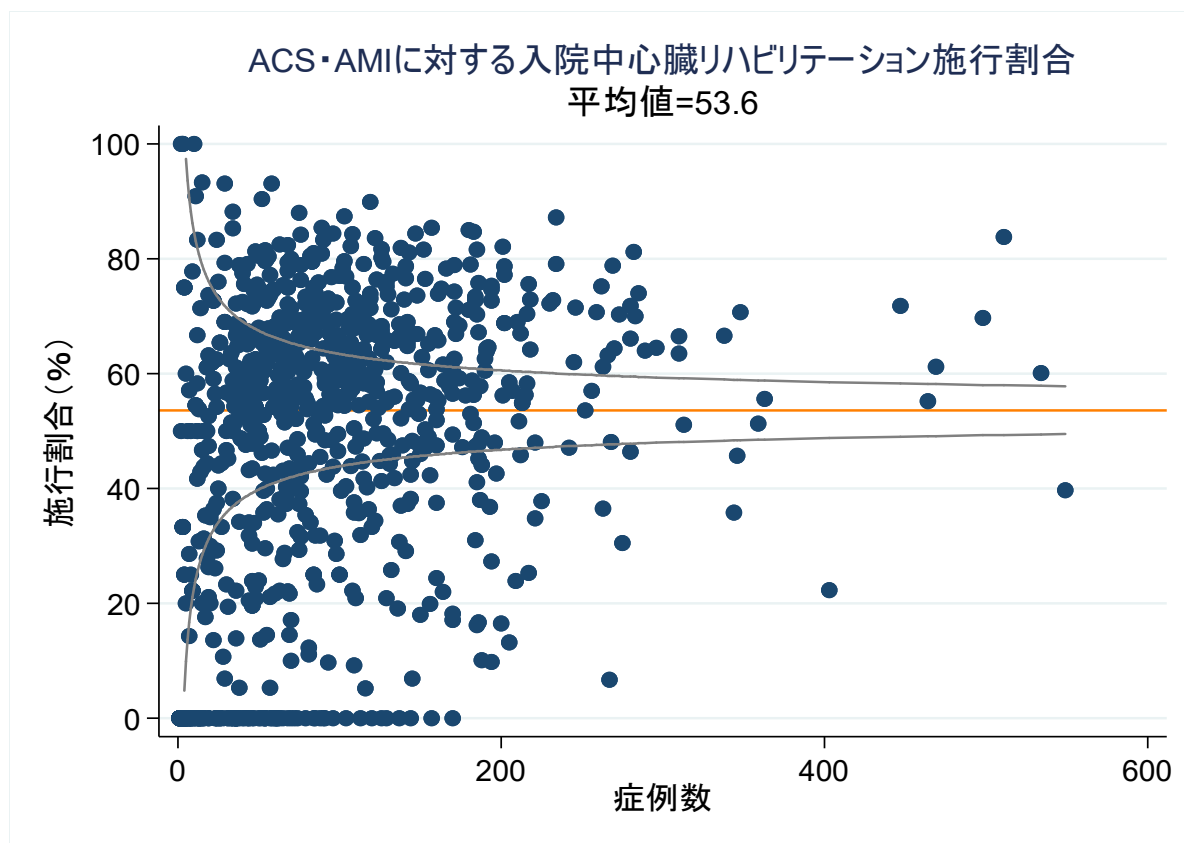
6.5 処方割合

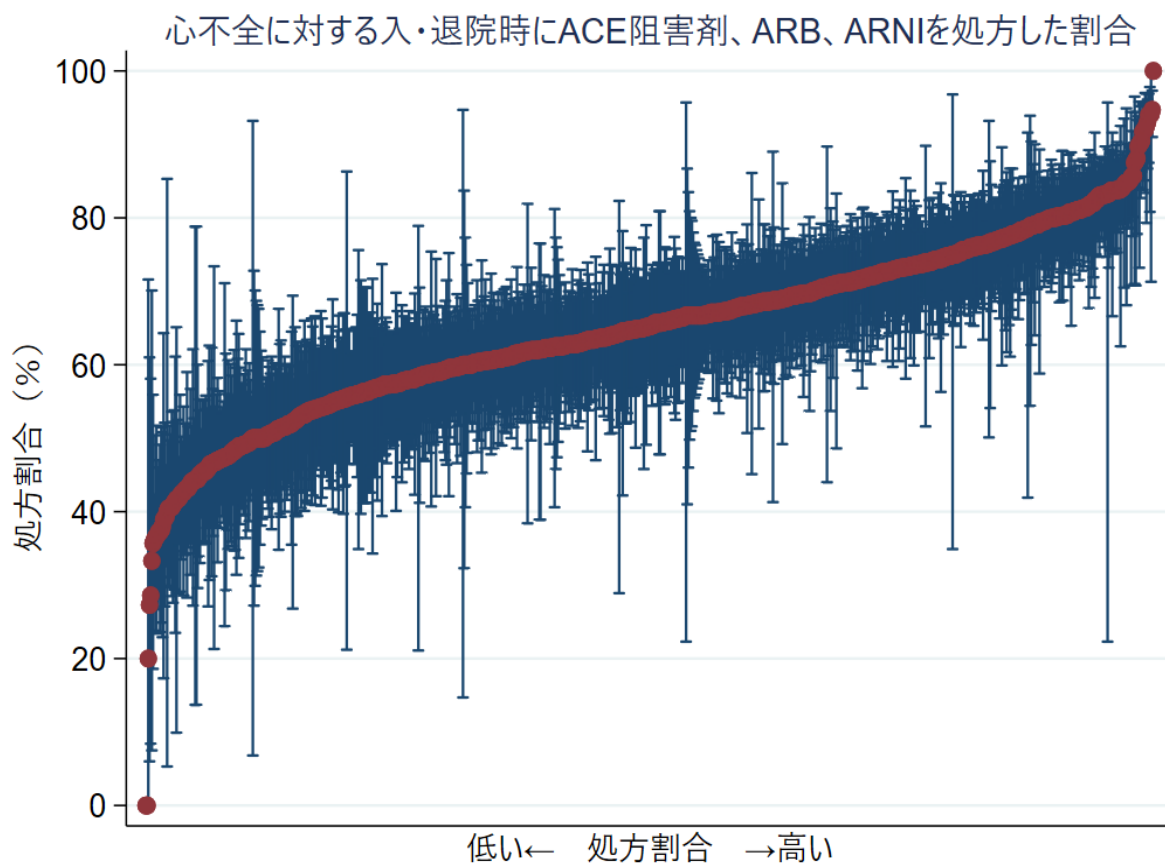
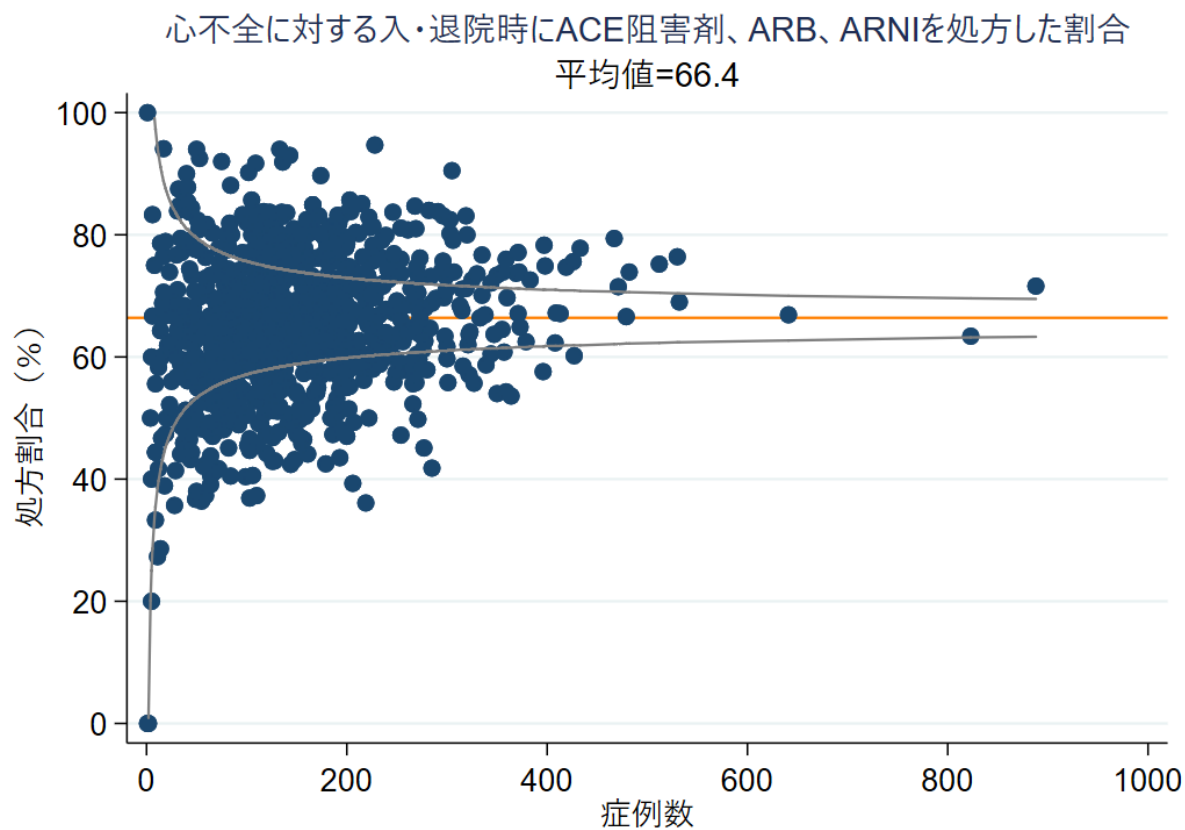


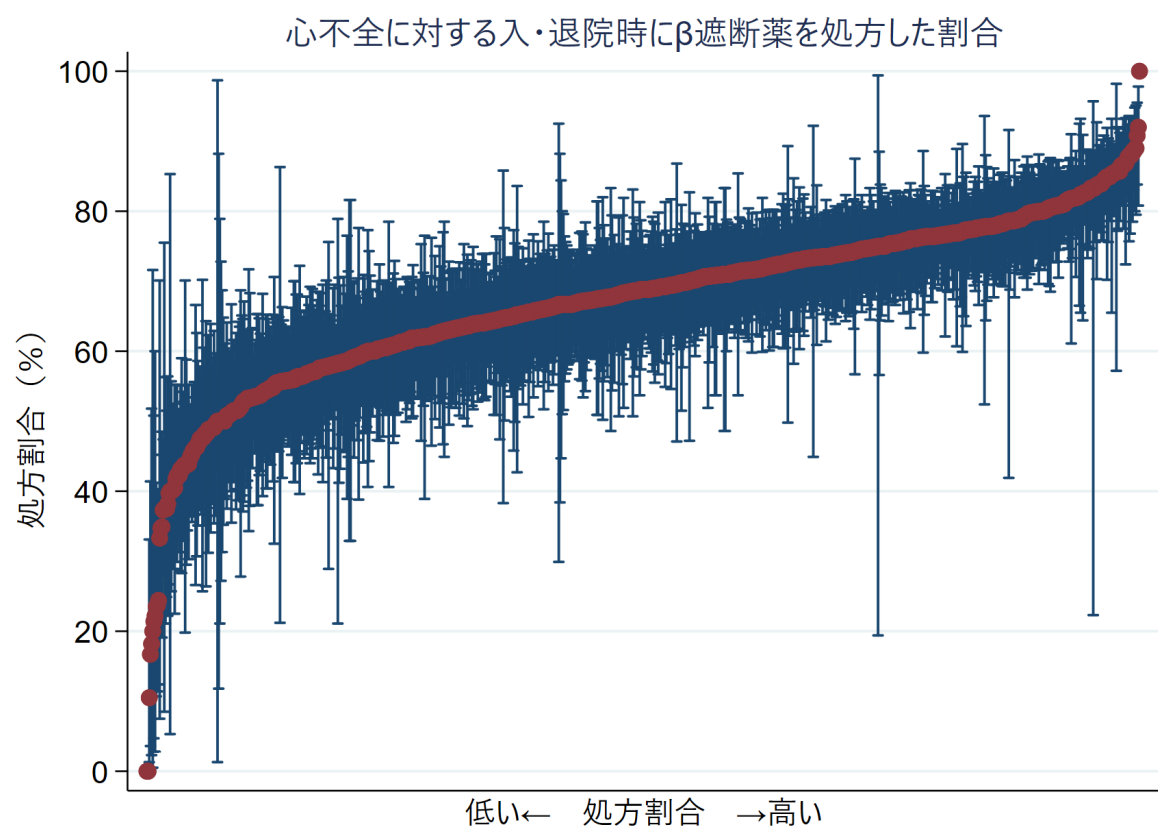
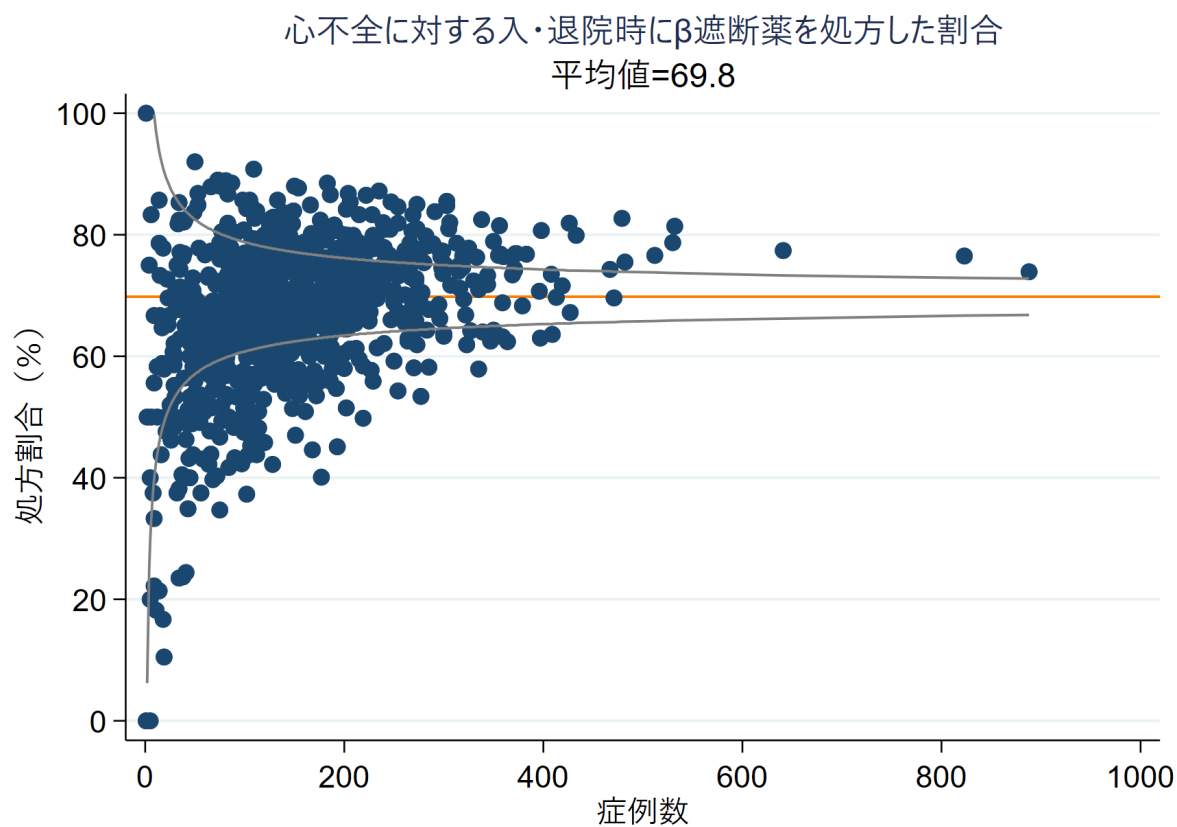


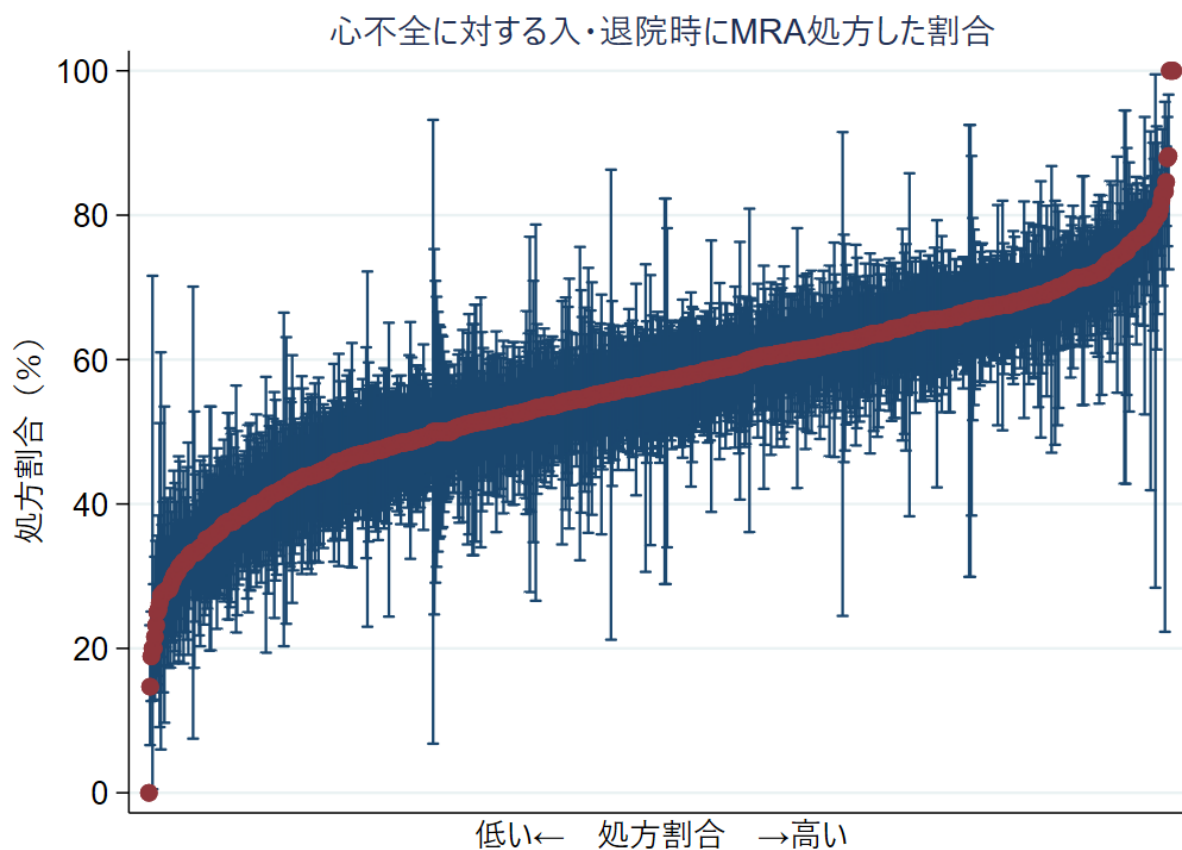
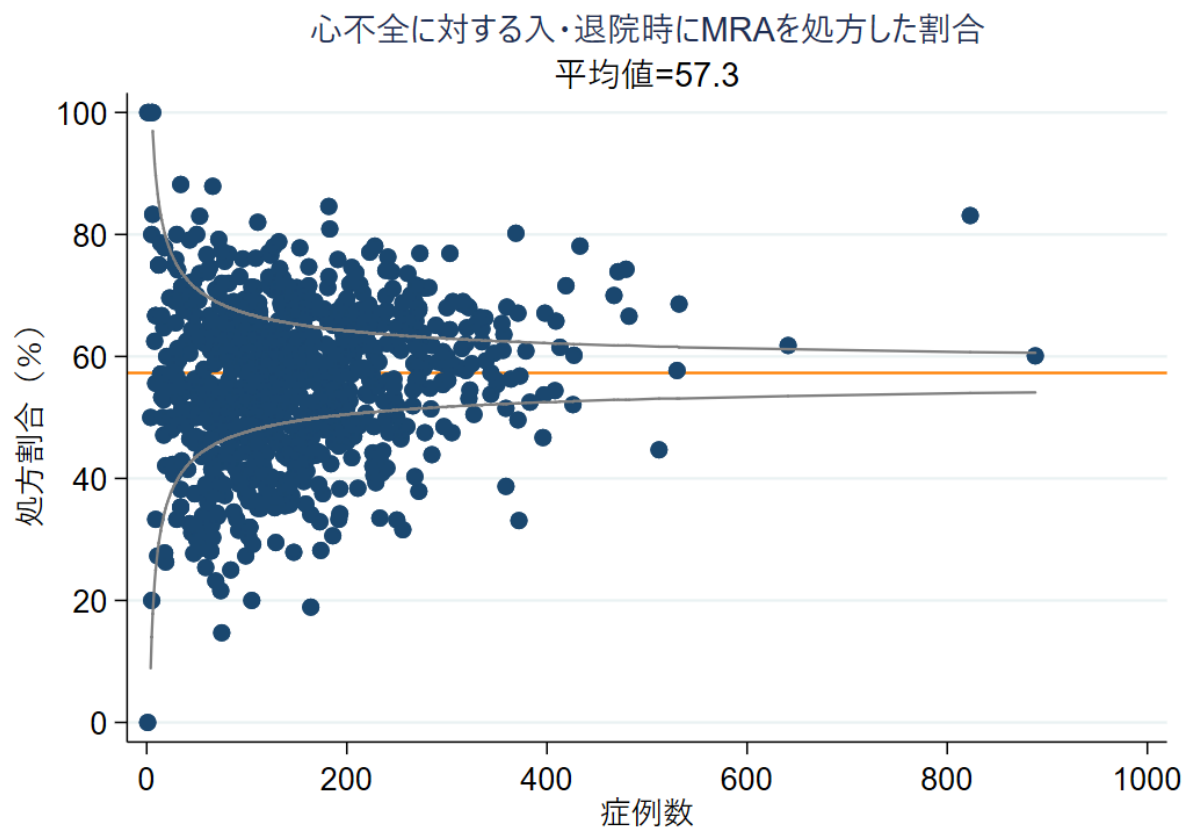




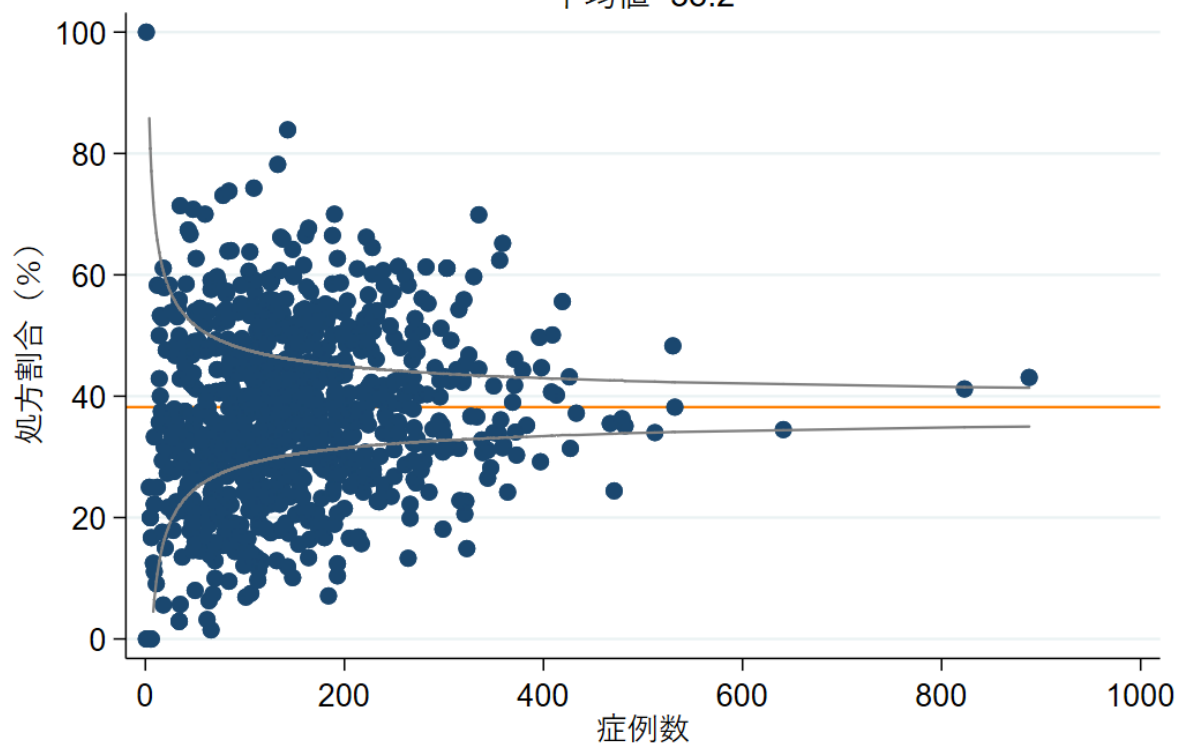




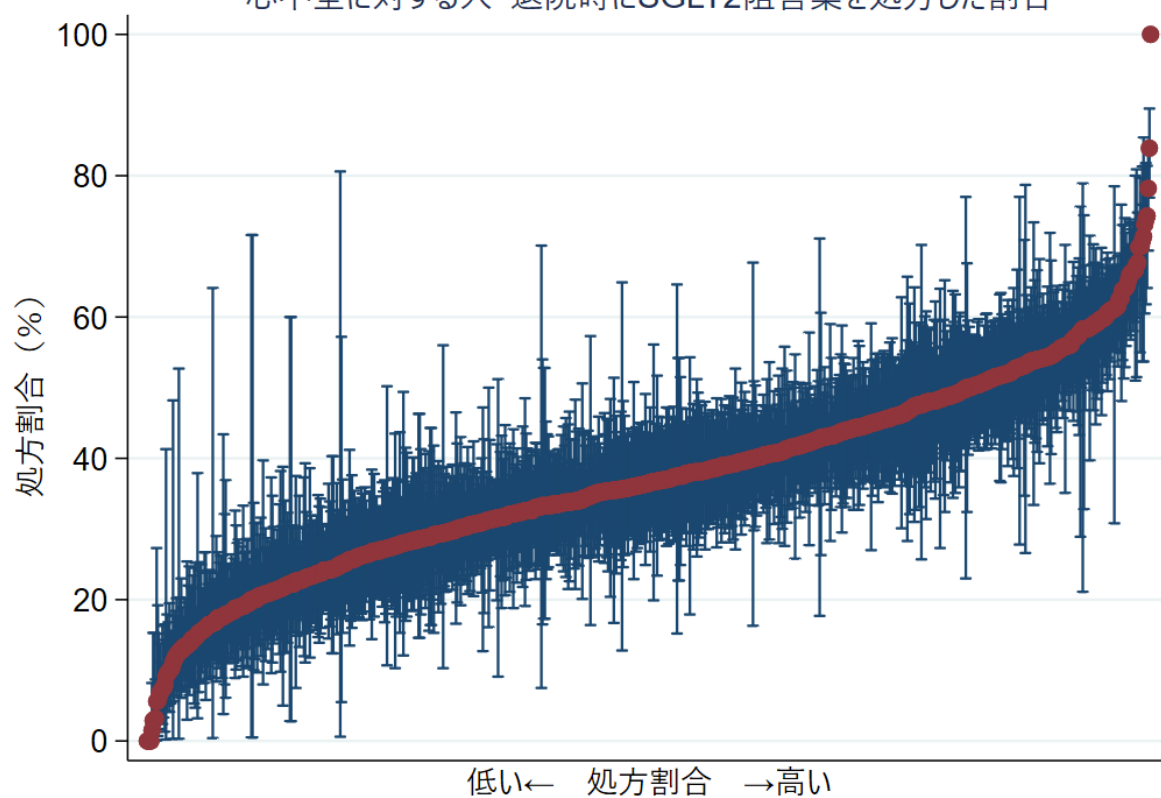


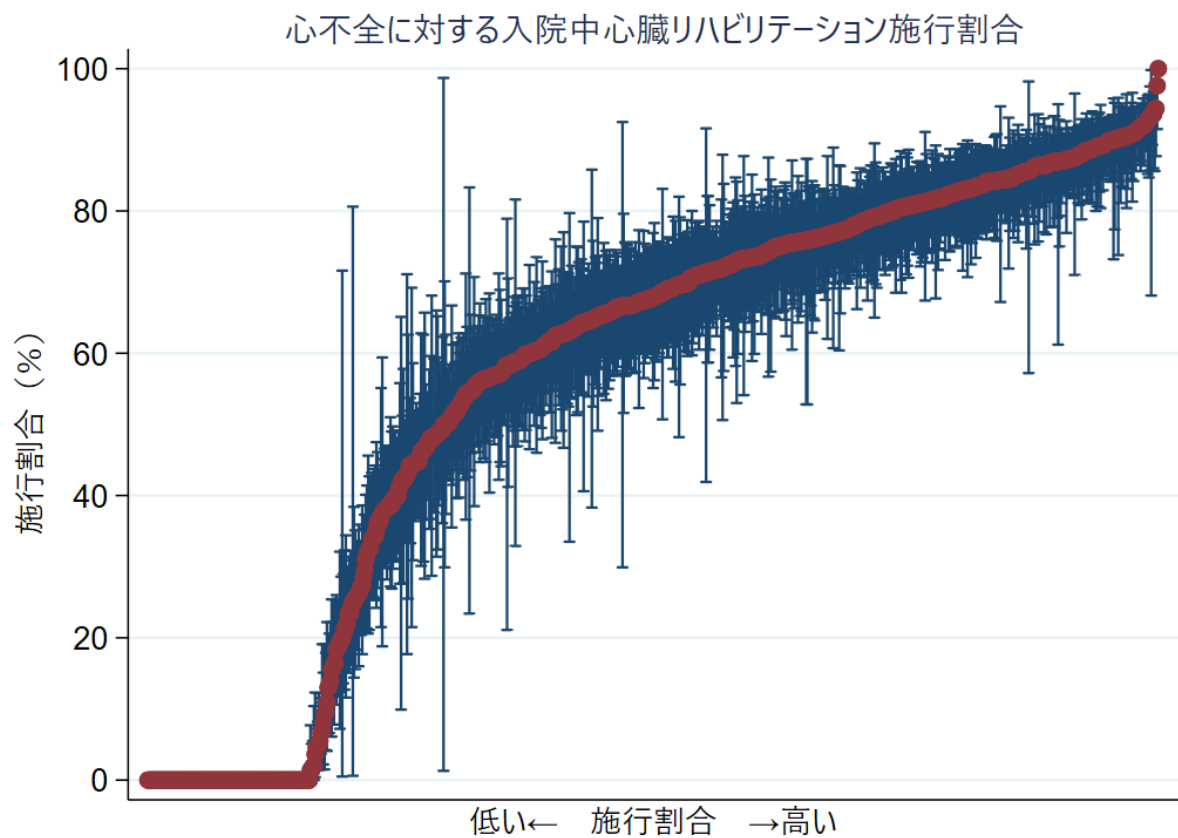
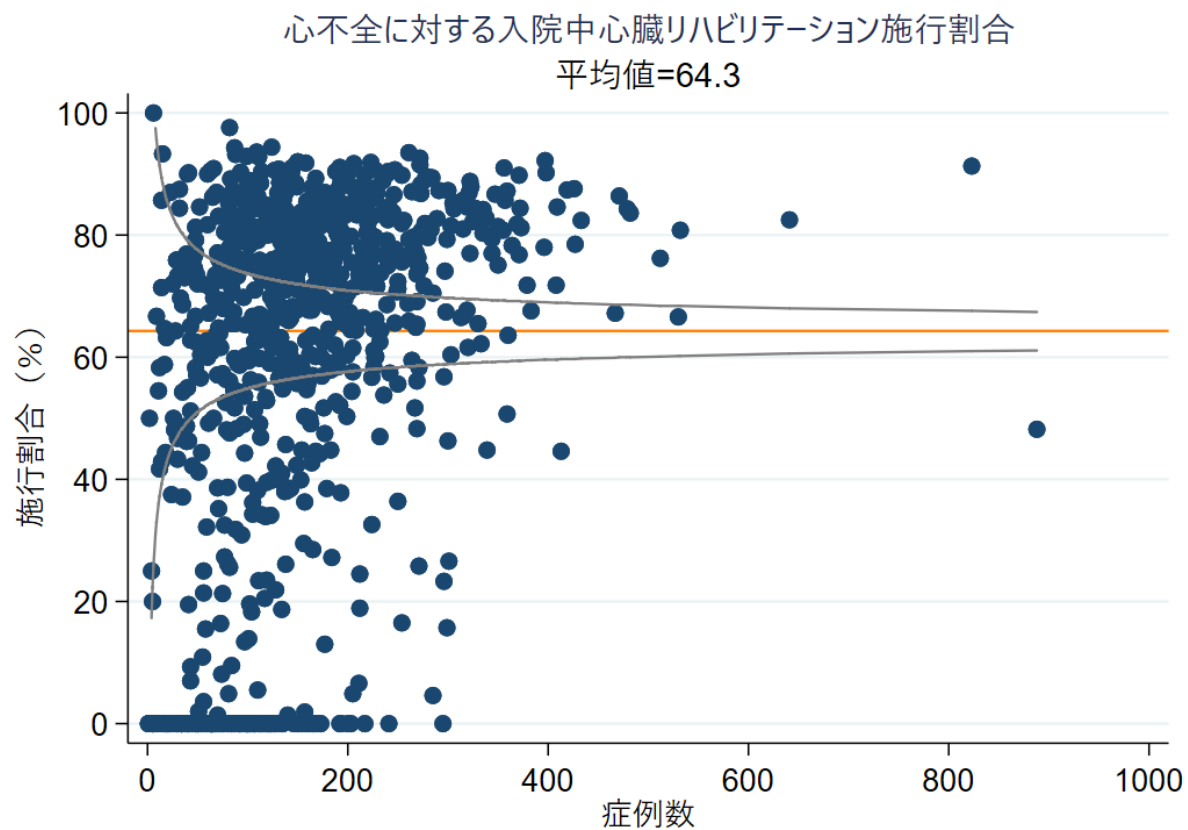


心不全に対する入・退院時にSGLT2阻害薬を処方した割合
 平均値=38.2



心不全に対する入・退院時にSGLT2阻害薬を処方した割合





以上